2017年度後期「教員による授業アンケート」

~調査結果報告~

平成 30 年 3 月

奈良佐保短期大学 自己点検評価室

目 次

基礎教養科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載へ゜ーシ゛
1	英語 I	キャンベル早川久美子	演習	1
2	英語Ⅱ	竹野内 倫子	演習	2
3	英語Ⅱ	キャンベル早川久美子	演習	3
4	基礎ゼミナールⅡ	森永 夕美	演習	4
5	基礎ゼミナールⅡ	池内 ますみ島村 知歩野間 智子	演習	5
6	基礎ゼミナールⅡ	戸田 信聡	演習	6
7	基礎ゼミナールⅡ	杉山 晋平	演習	7
8	基礎ゼミナールⅡ	古海 忍	演習	8
9	健康・スポーツ論	上田 遥菜	講義	9
10	国語表現法	宮川 久美	講義	10
11	情報処理演習Ⅱ	中田 奈月	演習	11
12	情報処理演習Ⅱ	中村 妙子	演習	12
13	情報処理演習Ⅱ	古海 忍	演習	13
14	人権と差別	馬越 かよ子	講義	14
15	奈良の伝統行事	奈良まほろばソムリエの会	演習	15
16	奈良の伝統工芸	井倉 幸太郎	演習	16
17	奈良の伝統工芸	小林 優介	演習	17
18	奈良の伝統工芸	阪本 修	演習	18
19	フランス語 Ⅱ	浅野 友子	演習	19

生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載ペーシ゛
20	医療的ケア I	東 孝至	講義	20
21	医療的ケアⅢ	水野 尚美	演習	21
22	家事支援の技法 I・被服	中村 妙子	演習	22
23	家事支援の技法Ⅱ・栄養	池内 ますみ	講義	23
24	介護過程Ⅱ	森永 夕美	演習	24
25	介護過程IV	水野 尚美	演習	25
26	介護概論Ⅱ	安永 龍子	講義	26
27	介護総合演習Ⅱ	東 孝至	演習	27
28	介護総合演習IV	水野 尚美	演習	28
29	居住環境整備の技法	北口 照美	演習	29
30	権利擁護と成年後見制度	片山 美惠子	講義	30
31	高齢者に対する支援と介護保険制度	平岡 毅	講義	31
32	こころとからだのしくみ I	解良 優基	講義	32
33	こころとからだのしくみ Ⅲ	森田 婦美子	講義	33
34	こころとからだのしくみIV	畑下 芳史	講義	34
35	コミュニケーションの基本	東 孝至	講義	35
36	児童家庭福祉	中西 真	講義	36
37	障害の理解Ⅱ	安永 龍子	講義	37
38	生活支援技術Ⅱ	東 孝至	演習	38
39	生活支援技術Ⅱ	武田 千幸	演習	39
40	セラピー概論	村本 早希	講義	40
41	専門ゼミナール	水野 尚美	演習	41
42	認知症の理解 I	水野 尚美	講義	42
43	発達と老化の理解	吉田 裕司	講義	43
44	福祉行財政と福祉計画	潮谷 光人	講義	44

生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載へ゜ーシ゛
45	運動生理学	街 勝憲	講義	45
46	栄養指導論実習 I	野間 智子	実習	46
47	応用栄養学実習	島村 知歩	実習	47
48	給食実務論	島村 知歩	講義	48
49	公衆衛生学	高尾 理樹夫	講義	49
50	社会福祉概論	武田 千幸	講義	50
51	食品加工実習	池内 ますみ	実習	51
52	食品材料学(加工学を含む)	池内 ますみ	講義	52
53	食品の官能評価・鑑別論	池内 ますみ	演習	53
54	食料経済	坊 安恵	講義	54
55	人体の構造と機能Ⅱ	毛受 真由美	講義	55
56	生化学	三浦 さつき	講義	56
57	生化学実験	坊 安恵	実習	57
58	生理学実習	三浦 さつき	実習	58
59	ゼミナールⅡ(食物栄養)	野間 智子	演習	59
60	専門調理(製菓実習)	箕山 なおみ	実習	60
61	フードコーディネート論	伊藤 知子	講義	61
62	臨床栄養学	毛受 真由美	講義	62

生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載へ゜ーシ゛
63	イラスト・画像処理 I	加来 慎太郎	演習	63
64	オフィス実務演習Ⅱ	吉村 司	演習	64
65	カラーコーディネート演習	中村 妙子	演習	65
66	経営学総論	戸田 信聡	講義	66
67	経理実務Ⅱ	谷村 真理	講義	67
68	ゼミナールⅡ (ビジネスキャリア)	上田 利博	演習	68
69	卒業研究Ⅱ	戸田 信聡	演習	69
70	地域活性化論	坊 安恵	講義	70
71	データベース	古海 忍	演習	71
72	ビジネス文書	吉村 司	講義	72
73	ホームページ作成	古海 忍	演習	73
74	ホスピタリティ論	碇 ともみ	講義	74

地域こども学科 専門教育科目

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載ページ
75	音楽科教育法	<u></u> 安田 寛	講義	75
76	音楽基礎演習 Ⅱ (ソルフェージュ)	吉田 直子	演習	76
77	音楽基礎演習Ⅱ(理論)	中島 倍代	演習	77
78	音楽Ⅱ	奥田 尚子	演習	78
79	音楽Ⅱ	玉井 奈摘	演習	79
80	音楽Ⅱ	中島 倍代	演習	80
81	音楽Ⅱ	本間 晶子	演習	81
82	音楽Ⅱ	宮田 眞理	演習	82
83	音楽Ⅱ	山下 玲子	演習	83
84	音楽Ⅱ	吉田 直子	演習	84
85	音楽IV	玉井 奈摘	演習	85
86	音楽IV	本間 晶子	演習	86
87	音楽IV	宮田 眞理	演習	87
88	音楽IV	和田 宏一	演習	88
89	家庭支援論	中田 奈月	講義	89
90	教育実習指導 a	増井 啓子	演習	90
91	教育実習指導(小)b	杉山 晋平	演習	91
92	教育方法の理論と実践	杉山 晋平	講義	92
93	教職実践演習(幼・小)	増井 啓子	演習	93
94	国語科教育法	西岡 由郎	講義	94
95	こどもの食と栄養	須谷 和子	演習	95
96	在宅保育論	北村 麻樹	講義	96
97	算数科教育法	重松 敬一	講義	97
98	社会的養護	瀬戸野 喜雄	講義	98
99	障害者福祉	李 仙恵	講義	99
100	小児保健 B	安永 龍子	講義	100
101	図工科教育法	岡田 陽子	講義	101
102	生活科教育法	小幡 肇	講義	102
103	ゼミナール I (音楽)	増井 啓子	演習	103
104	ゼミナール I (心と発達)	別所 崇	演習	104
105	ゼミナール I (こども教育)	杉山 晋平	演習	105
106	ゼミナール I (自然と遊び)	古海 忍	演習	106
107	ゼミナール I (スポーツ)	大高 千明 杉島 尚徳	演習	107
108	ゼミナール Ⅱ	杉山 晋平	演習	108

教員 アンケート No.	科目名称	教員名	授業形態	掲載べージ
109	総合演習(音楽)	増井 啓子	演習	109
110	総合演習(心と発達)	中田 奈月	演習	110
111	総合演習(自然と遊び)	古海 忍	演習	111
112	総合演習(スポーツ)	大高 千明	演習	112
113	総合演習(スポーツ)	杉島 尚徳	演習	113
114	相談援助演習Ⅱ①	梓川 一	演習	114
115	相談援助実習指導③	梓川 一	演習	115
116	体育科教育法	北澤 太野	講義	116
117	乳児保育	北村 麻樹	演習	117
118	保育(環境)	藤田 悦代	演習	118
119	保育(言葉)	増井 啓子	演習	119
120	保育実習指導Ia	梓川 一	演習	120
121	保育実習指導Ⅱ	北村 麻樹 中田 奈月	演習	121
122	保育実習指導Ⅲ	梓川 一	演習	122
123	保育心理学演習	別所 崇	演習	123
124	保育相談支援	別所 崇	演習	124
125	保育内容総論	和田 公子	演習	125
126	保育(人間関係)	北村 麻樹	演習	126
127	保育表現演習Ⅱ	藤田 悦代	演習	127
128	保育(表現·身体表現)	柳田 紀美子	演習	128
129	保育(表現·幼児造形)	増井 啓子	演習	129

教員	名	: ++>	ベル早川	<u> </u>			職	名 : 非	常勤_	<u>所</u>	禹 :	全学		
<u>科</u> 目	名称	: 英語	I				<u>科</u>	目群 : 基	基礎教	養科目				
<u>授業</u>	ミコート	: 83050	2	授業刑	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	28	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	21名
			学	年					学科•:	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答	<u> </u>		未来科	ジネス	地域こ	ども	その他	4111	回答
P	勺訳		2回土	CVAIR	無固合	生活福祉コース		ルスキュ	ャリア ース	学科	ŀ	CVAIE	////	DG*
		21	_	_	_	2		_	-		19	E	_	_ ====================================
			生の 近平均	数員の自己評価学生の評価平均1 2 3 4										
	① 兔	か強しやすい!	雰囲気づくり	4	4	.29	•							
受講態	② 事	事前学習や課	題を1週当た	30分程度	120分 以上 -	90分 程度 4.8%	60分 程度 19.0%	30分 程度 28.6%	ほとんど していない 47.6%	無回答				
度	3 4	耳後学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
授	④ 耄	(科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に			5	4	.14	19.0%	28.6%	47.6%	_
業内		の授業のレイ						適切	非常に高かった	やや 高かった	i 適切 であった	やや 低かった	非常に低かった	無回答
容								であった	9.5%	47.6%	28.6%	9.5%	4.8%	_
授業	⑥ ≒	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		.95	ある程度	あまり	全く	\
の進め	⑦ B	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>たか</i> 。		ある程度 注意していた	必要は していた		注意 していた	注意して いなかった -	全く 注意して いなかった 4.8%	無回答
方		生の理解度				こしがったもと 1.日	H) \	4	4	.33				\
総合評	9 1	すか。				ことができたと思	₽,,	4	1	.90				\Diamond
価	10 3	の授業は学	生の将来に行	安立つと思い 	ますか。			5	4	.05		1		
1 1	受業改	善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	¥										

科目名称 : 英語Ⅱ 科目群 : 基礎教養科目

<u>授業コード: 8310a 授業形態: 演習 受講者数: 24名 回答者数: 21名</u>

		学	年				学科•	コース		
□					生活未来科			116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	21	-	_		-	_	-	21	_	_

	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均			で自己 の評価 3	
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.00				\lambda
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度 - 9.5%	60分 程度 -	30分 程度 38.1%	ほとんど していない 52.4%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度 - 9.5%	60分 程度 -	30分 程度 38.1%	ほとんど していない 52.4%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.48				•
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 28.6% 14.3%		,	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.62				•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 33.3% 42.9%	していた		全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.67				♦
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.10				\
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.81				$ \diamond $

1 授業改善の工夫

授業内容が非常に難しいと感じる学生に考慮して、毎回の授業終了前に次回授業の文法事項を簡単に伝えたり、授業中に理解度を確認するようにして「次に何をするのか」、「今何が分からないのか」をより意識させることが必要だと考える。また、学生が興味のありそうな分野の英語のドラマや音楽、インターネットサイトなどのツールを紹介するなどして、家庭で英語に触れる時間をより長くし、さらに興味を持たせ、学んだことを深めて遠い将来ではなく近い将来使いたいと思う学生を増やしたい。

2 アンケート結果に対する見解

授業アンケートでは、授業の難易度が「非常に高かった」と感じた学生が前期よりも12%ほど高かったのだが、それは後期の授業内容が難しくなったためだと考えられる。宿題に関しては、毎回の宿題箇所がある程度決まっており、それをシラバスに記載していたため、取り組むべき箇所を理解して準備をしてくる学生が多かった。ただ、家庭では「30分程度の勉強」または「それ以下」の勉強時間だったと答えた学生が9割以上だった。これは家庭学習は宿題のみという学生が多かったためと考えられる。また、授業アンケートの、授業で学習した内容が実生活で役立っているかという質問には「あまり思わない」、「まったく思わない」が5割以上いたのに比べ、この授業が自分の将来に役立つと思いましたかという質問に対しては7割以上が「そう思う」、「ある程度そう思う」と答えた。このことから、現在、実生活で英語に触れる機会は多くないが、いつかは使うのではないかと考える学生が多くいることが分かった。授業内のアクティビティに関しては、後期は外国のニュース番組を見たり、学生が描いた地図をプロジェクターで見せるなど視覚を使ったものが前期よりあったため、それらが学生のモチベーションと集中力を保つことに役立ったと感じる。

松目の白コ萩畑

<u>教</u> 員	教員名: キャンベル早川久美子											<u> </u>	战名 : 3	非常	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	全学	<u>; </u>		
<u>科</u> 目	名和	<u> </u>	:	英語	百Ⅱ								<u>乖</u>	<u> </u>	基	礎教建	美科目				
授業	ミコー	-ド	:	831	0b			-	授業	<u> </u>	ž	寅習	<u>受</u>	達講者数	:	30=	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	19名
							学	年								学科・コ	コース				
	答者	î	10	回生		20	生	7	その他	無回答	-1.4 -1.4	生活福祉	1	活未来科 物栄養	ビジ	ネス	地域こ		その他	無	回答
P	习訳	-										コース	=	コース	キャ	-ス	学科				
				1	8						1]	-	4		-		13	数員	- の自己	1 評価
	教員の 学生の 自己評価 評価平均															学生の評価平均 1 2 3 4					
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。															4.	05			\Q	
受講態	受 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 態														ごい	120分 以上 -	90分 程度 5.3%	60分 程度 10.5%	30分 程度 26.3%	ほとんど していない 57.9%	無回答
度															度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 10.5%	30分 程度 26.3%	ほとんど していない 63.2%	無回答
授業	4	教	科書、	プリン	ト、視	見聴覚	教材(ビデ	オなど)を	授業の理解	解に	活用しました	٥. رو د	4		3.	95				\rightarrow
米内容	(5)	ے	の授	業のレ	/べ)	ルは	、学生	ミにと	って適り	刃でしたか	٥,			やや 高かった	÷.	非常に 高かった 15.8%		適切 であった 42.1%		非常に 低かった -	無回答
授	6	学	生に	分かり	りや	すい	説明を	を心	がけまし	たか。				5			37	12.1%	0.0%		
業の進め	7	授	業の	進行	を妨	iげる	行為は	こ対	して注意	をしている	まし	たか。		ある程度 注意してV		注意する 必要は なかった	注意 していた 42.1%	ある程度 注意 していた 52.6%		全く 注意して いなかった -	無回答
方	8									めましたな				4		3.	37				\rightarrow
総合証	9		生に まか。	斤しい名	印識	や技	術を与	え、『	問題意識や	○関心を高ぬ	かる、	ことができたと	.思い	4		3.	26				\rightarrow
評価	10	٢.	の授	業は当	学生	の将	来に	役立	つと思い	ますか。				5		3.	42				
1 1	受 <u>業</u>	<u>改</u>	<u>番の</u>	<u>工</u> 夫																	
2 7	アン	ケー	ート糸	き果る	こ対	ナす	る見角	译													

教員	名	: =	森永	夕美		職	名 : ?	<u></u> 	授_	<u>所</u>	禹 :	全学						
<u>科</u> 目	名称	: :	基礎	ゼミナール	П			<u>科</u>	目群 :	基	礎教建	美科目						
<u>授業</u>	ミコー	ド : 8	8005a	ı	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	14	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	13名		
				学	年					2	学科・コ	ュース						
	答者	1回	生	2回生	その他	無回答			未来科	ビジン	ネス	地域こ		その他	4111	回答		
P	勺訳	1 1	工	2 <u>12</u> 1 <u>-</u>	· C ♥ 기IE	無固合	生活福祉コース		<i>/// </i>	キャリコー	jァ	学科		CVJE	***	<u> 9</u> 6		
			13	_	_		_		-		-	<i>₩</i> . 🗆	_	-				
				評	教員の 自己評(生の 平均	■ ◇ 教員の自己 ■ 学生の評価 1 2 3									
	1) 5	勉強しや	すい	雰囲気づくり	に配慮しまし	4		4.	23	•								
受講態	2	事前学習	習や課	題を1週当た	上り平均でど	ほとんと 課していた		120分 以上 -	90分 程度 7.7%	60分 程度 7.7%	30分 程度 7.7%	ほとんど していない 76.9%	無回答					
度	3 1	事後学習	るや課	題を1週当た	こり平均でどれ	ほとんと 課していた		120分 以上 -	90分 程度 15.4%	60分 程度 7.7%	30分 程度 -	ほとんど していない 76.9%	無回答					
授	4	教科書、フ	プリント、	視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	活用しましたか	٠,	4		4.	31				•		
業内容	5	この授業	のレイ	ベルは、学生	にとって適り	切でしたか。			やや 低かった	Ż.	非常に 高かった 7.7%	やや 高かった 46.2%	適切 であった 46.2%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答		
授	6	学生に分	うカュりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4			31	10.2%			\		
業の進れ	7 1	受業の進	進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		注意する 必要は なかった		注意する 必要は なかった 46.2%	注意 していた 30.8%	ある程度 注意 していた 15.4%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答 7.7%		
め方	8	学生の理	里解度	を配慮しなか	ぶら授業を進	めましたか。			4		4.	38						
総合	9	学生に新し ますか。	しい知言	畿や技術を与;	え、問題意識や	♥関心を高める	ことができたと	思い	4		4.	15	-					
評価	10	この授業	は学生	生の将来に行	设立つと思V	ますか。			4		4.	31				•		
1 1	受業の	文善のこ	工夫_															
2 7	アンケ	ート結	果に	対する見角	军													

教員	教員名 : 池内 ますみ・島村 知歩・野間 智子												職名 : 所属 : 全学									
科目	名和	<u> </u>	:	基礎	ゼミナー	ル	Π			<u>科</u>	目群	: 基	礎教	養科目								
授業	ミコー	-ド	:	80051	b		授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	40:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	38名				
						学	年						学科•:	コース								
	答者 引訳		1回]生	2回生	<u>.</u>	その他	無回答	生活福祉コース	食:	未来科 物栄養 ュース	ビジ キャ コー	リア	地域こ 学科		その他	無	回答				
				37		1	_	_	_		38	-										
						評	価項目				教員 自己記			生の 舌平均	1	■ 学生	の自己 の評価 3					
	1	勉引	強しや	きすい	雰囲気で	うくり	に配慮しまし	たか。			4	:	4	.26				\				
受講態	2	事	前学習	留や課	!題を1週	当た	り平均でどえ	ほとん課してい		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 5.3%	ほとんど していない 94.7%	 無回答 							
度	3	事行	後学習	習や課	!題を1週	当た	り平均でどえ	ほとA 課してV		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 2.6%	30分 程度 5.3%	ほとんど していない 92.1%	無回答							
授業	4	教科	書、こ	プリント、	視聴覚教	材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	活用しましたか	,0	4		3	.95				\(\)				
未内容	(5)	<u></u> Ξσ.)授業	色のレイ	ベルは、	学生	にとって適り	刀でしたか。			や ³ 低か-	`	非常に 高かった 7.9%	やや 高かった 44.7%	適切 であった 36.8%		非常に 低かった 2.6%	無回答 2.6%				
授業	6	学生	生に分	分かり~	やすい説	明を	と心がけまし	たか。			4		3	.89				\langle				
果の進め	7	授美	業の近	進行を	妨げる行	為に	こ対して注意	きしていまし	たか。		注意して	ていた	注意する 必要は なかった 10.5%	していた	ある程度 注意 していた 26.3%	注意して いなかった	全く 注意して いなかった 2.6%	無回答				
方	8						ぶら授業を進				4	:	3	.95				\(\)				
総合	9	学生ます		しい知	識や技術を	と与え	え、問題意識や	·関心を高める	ことができたと	思い	2		3	3.71								
評価	10	<u>_</u> σ)授業	は学	生の将来	に往	设立つと思い と	ますか。			4	:	3	.92				\(\)				
1 书	受業	改善	蜂の	<u>工夫</u>																		
2 7	アング	ケー	·卜結	果に	対する!	見解	F															

教員	: <u>員名 : 戸田 信聡</u>							名 : 言	講師	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	全学	:	
科目	目名称 : 基礎ゼミナールⅡ							目群 :	基	礎教建	美科 目				
<u>授業</u>	ミコード	: 8005	<u>c</u>	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	6:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	5名
			学	年					À	学科・3	コース				
	答者 可訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物		ビジンキャリコー	アンファ	地域こ。 学科		その他	無[回答
		5	_	_	_	-		-		5		-	*4. 🖂		 \$16 Anr
			評	価項目				教員の 自己評価			生の 平均	1		の自己 の評価 ³	
	① 勉	遠しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			_		4.	00 <				
受講態	② 事	4前学習や課	!題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		60分程原	度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 60.0%	無回答
度	③ 事	4後学習や課	!題を1週当た	_り平均でど		60分程原	度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 60.0%	無回答		
授業	④ 教	科書、プリント、	, .	4		4.	00				\Diamond				
未内容	⑤ <u>C</u>	の授業のレー		やや 高かった	た	非常に やや 高かった 高かった - 40.0%		適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答				
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5		4.	00				•
授 ⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。 業 の 進 ⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。								任息していた。なかった			注意 していた 40.0%	ある程度 注意 していた 40.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方		生の理解度						5		4.	20				•
総合語		生に新しい知 すか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	や関心を高める	ることができたと月	思い	4		4.	00				\Diamond
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			5		4.	40				<u> </u>
<u>. 1</u> 2	文美以	養の工夫													
2 7	ンケー	ート結果に	対する見角	4											

<u>教</u> 員	名	: 杉山	晋平	職名	: 講師	<u>† </u>	<u>所</u>	<u>禹 :</u>	全学	:				
<u>科</u> [名称	: 基礎	ゼミナール	П			科目	群 : 基	礎教	養科目				
<u>授</u> 爹	ミコード	: 8005	de	<u>授業</u>	形態 :	演習	受講	者数 :	66	名_	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	53名
				年					学科•	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答			木食 キャ	ネス ・リア ース	地域こ 学科		その他	無	回答
		53	_	_	_			-			52		_	1
				価項目				教員の 自己評価		生の 西平均	1	■ 学生	の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>たか。</i>			5	4	.49				
受講態	② 事	前学習や課	見題を1週当た	り平均でどれ	hぐらい課し	ましたか。		60分程度	120分 以上 1.9%	90分 程度 1.9%	60分 程度 5.7%	30分 程度 13.2%	ほとんど していない 77.4%	無回答
度	③ 事	後学習や課	題を1週当た		hぐらい課し		60分程度	120分 以上 1.9%	90分 程度 1.9%	60分 程度 5.7%	30分 程度 11.3%	ほとんど していない 79.2%	無回答	
授業	④ 教	—— 科書、プリント、	. 視聴覚教材(i	 ごデオなど)を、	授業の理解に		5	4	.42					
亲 内 容	⑤ C	 の授業のレイ 	ベルは、学生	にとって適り	 刃でしたか。 		やや 高かった	非常に 高かった 11.3%	こ高かった	適切 であった 81.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	心がけまし	たか。		5	4	.60					
果の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>、たか</i> 。		注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 49.1%	していた	ある程度 注意 していた 20.8%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_		を配慮しなか					5	4	.60				
総合証		生に新しい知言すか。	識や技術を与え	と、問題意識や	*関心を高める	ことができたと思	(1)	4	4	.38				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。			5	4	.57				
1 1														
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	<u>單</u>										
	アンケート結果に対する見解													

<u>教員</u>	名	: 古海		職名 :	教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	全学					
<u>科</u> 目	名称	: 基礎	ゼミナール	П			科目群 :	基	礎教	美科 目				
<u>授業</u>	ミコード	: 8005	de	授業刑	珍態 :	演習	受講者数	:	66:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	53名
			274	<i>F</i> :		1			24.4V .					
			学	牛			江十十五		学科•3	コース				
	答者 引訳	1回生	2回生	その他	無回答		活未来科 食物栄養 コース	ビジキャ	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		53	-	_	_	-	_	コー	-/		52		_	1
						<u>*</u>	1		<u>'</u>		♦	数昌	の自己	評価
			≑ π'.	年15日			教員	の	学/	生の			の評価	
			評/	価項目			自己割			i平均	1	2	3	4 5
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。		4		4.49					\
受							271.2	1.0	120分	90分	60分	30分	ほとんど	無回答
講	② 事	前学習や課	題を1週当た	ましたか。	ほとん 課してい		以上	程度	程度	程度	していない			
態度								U	1.9%	1.9%	5.7%	13.2%	77.4%	-
及	③ 事	後学習や課	題を1週当た	ほとん		120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答			
)	Д, П, Т	,	, , , , , , ,	- () . , , , , ,	3.01.2.7 0	課してい	ない	1.9%	1.9%	5.7%	11.3%	79.2%	-
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(日	ごデオなど)を、	授業の理解に	4 4.4			.42				♦	
業							適切	1	非常に	やや	適切	44	非常に	無回答
内容	(5) C	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適切	りでしたか。		であっ		高かった			低かった	低かった	
	O 11/	: (I) - (I) - 2 - 20 - 6	4 1 . 3V BD 3	N 1917 7.1			+		11.3%	7.5%	81.1%	_	_	_
授業	⑥ 学	生に分かりる	やすい説明を	こ心がけました	こか。		4			.60				\limits
の進	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>たか</i> 。	注意して	いた	注意する 必要は なかった 49.1%	注意 していた 30.2%	ある程度 注意 していた 20.8%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
め方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ぶら授業を進	めましたか。		4		4.	.60				♦
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	た、問題意識や	関心を高める	ことができたと思	4		4.	.38				♦
評価	10 -	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。		4		4.	.57				•
									=				•	
1 技	受業改	善の工夫												
0 =	7 \	1 44 田)~	ムレンフロケ	a										
2)	ング	一ト結果に	対する見解	<u> </u>										

回答者数	: 48名						
回答者数	: 48名						
学科・コース E活未来科							
どもその他	1 無回答						
斗	1 無固合						
44	- 2						
	<mark>の自己評価</mark> と の評価平均 3 4 5						
	\langle						
60分 程度 程度 8 3% 8 3%	ほとんど していない 72.9% -						
60分 30分 程度 程度	ほとんど 無回答						
10.4% 8.3%	72.9% -						
適切 やや であった 低かった	非常に無回答						
64.6% 6.3%	2.1% -						
ある程度 あまり	全く・無回答						
注意 していた 29.2% 8.3%	全く 注意して たいなかった 12.5% –						
-	•						
-	•						
	•						
	44 ◆ 教員 学生 1 2 60分 30分 程度 8.3% 8.3% 60分 程度 10.4% 8.3% 応かった 低かった 64.6% 6.3% ある程度 注意 かまり していた いなかった いなかった						

教員	数員名 : 宮川 久美								教授	₹	<u>所</u>	属 :	全学	:	
<u>科</u> 目	科目名称 : 国語表現法 受業コード : 8110cd 授業形態 : 講義								基	礎教	養科 目				
授業	ミコート	: 8110c	cd	<u>授業</u>	形態 :	講義	<u> </u>	受講者数	:	77:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	74名
			学	年					;	学科•	コース				
	答者 习訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	: 食	活未来科芸物栄養コース	ビジキャコー	リア	地域こ 学科		その他	無	回答
		69	5	-	-	- 19)	44	7,-	-		9		_	2
			評	価項目				教員 自己割	の評価		生の 5平均	1		の自己 の評価 3	
	① 第	边強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4	.27				\langle
受講能	講 ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 態								是度	120分 以上 4.1%	90分 程度 1.4%	60分 程度 10.8%	30分 程度 32.4%	ほとんど していない 51.4%	無回答
度										120分 以上 2.7%	90分 程度 2.7%	60分 程度 8.1%	30分 程度 29.7%	ほとんど していない 56.8%	無回答
授	授 ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。									3	.99				(
	大									非常に 高かった 12.2%		適切 であった 58.1%	やや 低かった 2.7%	非常に 低かった 1.4%	無回答 4.1%
授	6	学生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5		4	.08				*
業の進め	⑦ 哲	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	だをしていま	したか。		注意す必要なかっ	は	注意する 必要は なかった 10.8%	注意 していた 59.5%	ある程度 注意 していた 27.0%	あまり 注意して いなかった 2.7%	全く 注意して いなかった	無回答
方	_	学生の理解度						4		4	.00				\(\)
総合		生に新しい知 さすか。	識や技術を与	え、問題意識や	P関心を高める	ることができたと	:思い	4		3	.88		\rightarrow		\Diamond
評価	10 3	の授業は学	生の将来に行	安立つと思V	ますか。			5		4	.09				<u> </u>
<u>1</u>	<u>受美少</u>	(善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に													

奈良佐保短期大学

科目名称 : 情報処理演習Ⅱ 科目群 : 基礎教養科目

授業コード : 8410cf <u>授業形態 : 演習</u> <u>受講者数 : 37名</u> <u>回答者数 : 34名</u>

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	1.16 L-4 - 1.02		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	34	_	_	-	-	17	-	17	_	_

	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均			の自己 の評価 3	
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.18				\
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 - 8.8%	60分 程度 8.8%	30分 程度 14.7%	ほとんど していない 67.6%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度	120分 以上 90分 程度 - 8.8%	60分 程度 17.6%	30分 程度 17.6%	ほとんど していない 55.9%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.09				\
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 低かった	非常に やや 高かった 高かった 8.8% 41.2%		やや 低かった 2.9%	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.76				\rightarrow
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 23.5% 44.1%	していた	あまり 注意して いなかった 5.9%	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.76				\langle
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	3	3.71			•	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.15				\

1 授業改善の工夫

課題を出さないという選択肢はないため、授業を受ける前後に30分から60分程度の課題をこなしてもらうことが必要になる。次年度は、大学は予習復習が必須であることを周知すると同時に、小テストを繰り返すなど、課題をこなすことで自分に力がついていくことを実感できるような機会をつくりたい。

2 アンケート結果に対する見解

授業では予習復習を促すため、毎回課題を出している。30分から60分程度で完成することを想定した課題であったが、今回は半数が課題それ自体をしていないという結果になった。それにもかかわらず自由記述欄には「宿題が多くて大変」「宿題を出しすぎ」といった意見が見られる。 課題は評価に直結している。課題をこなさないと次の授業に支障が出るようにあえて設定し、課題に取り組むように促す工夫をしている。別のクラスでは自分の評価を上げるため、授業に支障がでないようについていくため課題をしていこうという前向きな姿が見られ、実際に課題をしなかった学生はいなかった。しかしこのクラスは、合格最低点がとれれば課題をこなさないでよいという風潮があったようであった。課題の必要性をどのように説明するか、毎週45分程度の課題を学生が取り組むにはどうしたらよいか、課題が残る。

松目の占つ部位

科目名称 : 情報処理演習Ⅱ 科目群 : 基礎教養科目

			学	年				学科•	コース		
l _	¬ & → .						生活未来科	•	116-14-187		
	回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
		8	-	-	1	8	_	-	_	-	1

				,	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.56				♦
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 11.1% -	60分程度	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 55.6%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 11.1% -	60分 程度 22.2%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 33.3%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.67				\
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 44.4% 33.3%	適切 であった 22.2%	やや 低かった	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.56				\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	あまり 注意して いなかった	注意する 必要は なかった 77.8% 11.1%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答 -
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.67				♦
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.67				♦
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.67				\

1 授業改善の工夫

生活福祉コース1回生の希望者で9人の授業であった。それでも個人差があり、エクセルに対して理解度が高い学生と、何度説明をしても理解できない学生とがいる。また、授業中に出来ない場合、家で仕上げてくる学生がいる反面、そのままの学生もいる。 出来るだけ足並みを揃えてと思いながらも、遅れがちな学生もいるが、パソコンが好きになることからやる気がでると考え、出来るだけ計算、グラフ、データベース機能を楽しく使えるように授業を進めるように心がけている。

2 アンケート結果に対する見解

パソコンが得意な学生、不得意な学生がいる中で、概ねエクセルを楽しく学んでいることが分かり、エクセルへの興味が深まったことが読み取れた。受講生の半分以上の学生が、事前、事後学習を行っており、熱意をもって取組んでいた。高い評価が得られたのは、人数が少なく個別指導が出来たからと思われる。

教[<u> </u>								教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	全学		
<u>科</u> 目	名称	:情報	処理演習Ⅱ				<u>科</u>	目群 :	: 基	礎教	養科 目				
<u>授業</u>	ミコード	: 8410	ade	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	69:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	64名
			学	年					:	学科•3	コース				
口	答者	1回生	0回4	その他	無同然			未来科	ビジ	シっ	地域こ	ども	その他	Aur.	
P	可訳	1凹生	2回生	そり他	無回答	生活福祉コース		か栄養 ース	キャ	リア	学科		ての他	無	回答
		61	2	_	1	_		18		-		45		-	1
							ľ	教員	の	学	<u></u> 生の	♦		の自己 の評価	
				価項目				自己割			评均	1	2	3	4 5
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4			.33				\Diamond
受講	② 事	4前学習や課		ほとん 課してい		120分以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答				
態度			ほとん	13	3.1%	90分	1.6%	9.4%	85.9% ほとんど	無回答					
	③ 事	4後学習や課		課してい		以上 3.1%	程度	程度 1.6%	程度 12.5%	していない 82.8%	_				
授	授 ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。									4.	.06				\(\)
業内容	5	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適ち	刃でしたか。			非常低かっ		非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
容	@ #	54) - 1\ 2. h	シー・、※ロロ ィ	· 7 281441 .	.)/c	20.3%	1	46.9%	3.1%	1.6%	_
授業の	⑥ 学	生に分かり	~ 9 ♥ 就明る	さ心かりまし	و (لات)			4		注意する	.06	ある程度	あまり	全く	無回答
の進め	⑦ 授	と業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>たか</i> 。		注意して	こいた	必要は なかった 26.6%	していた 42.2%	注意 していた 29.7%	注意して いなかった -	全く 注意して いなかった 1.6%	**************************************
方	_	生の理解度						4		4.	.09				\Diamond
総合		生に新しい知 すか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	♥関心を高める	ことができたと	思い	4		3.	.81				\langle
評価	10 =	の授業は学	生の将来に征	安立つと思V	ますか。			4		4.	.25				\rightarrow
1 1															
2 7	2 アンケート結果に対する見解														

科目名称 : 人権と差別 科目群 : 基礎教養科目

授業コード : 8105cd <u>授業形態 : 講義</u> <u>受講者数 : 57名 回答者数 : 49名</u>

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	_	48	_	1	_	_	_	48	_	1

		•			\diamond	教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価		1	■ 学生 2	の評価 ³		5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.2	27				·	þ
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
態			8.2%	2.0%	12.2%	30.6%	46.9%	-	
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
			8.2%	2.0%	8.2%	24.5%	57.1%	-	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.4	4 5				(Ş
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
容	であった		14.3%	22.4%	59.2%	4.1%	-	-	
授業	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5		37				(Ż
業の	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して	全く 注意して いなかった	無回答	1
進め	O IXXVEHENIN OHMICATO CELECTOR SOLEN S	正派0 (1 /2	28.6%	49.0%	20.4%	2.0%	-	-	
方	学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。		4.2	27				(ļ
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.1	18				\	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.4	41				(<u>}</u>

1 授業改善の工夫

人権や差別について、最近のニュースや日常生活で起こる身近な事例等を通して考察すると共に、絵本の朗読で、学生自らが関心のある人権テーマを取り上げて他者に訴えるなど、人権文化を身につけるための様々な工夫が、人権に対する理解度を高め、自分の将来に役立つと多くの学生が評価している。しかし、まだ人権に対して固定的な考えの学生に対しては、様々な人権問題について当事者の話を聞くなど視野を広げる工夫が必要であると考える。

2 アンケート結果に対する見解

アンケート結果から、新聞や書物による人権に関する最新情報や人権とは無縁と思われる童謡や絵本などからも、日常生活の中に潜む人権課題に気付く等、人権の本質について分かりやすく理解でき、差別を生み出すメカニズムについてもよく理解したことが伺える。 授業を通して、新しい知識が得られ、問題意識や関心が高まったとしており、地域こども学科2回生にとっては、子どもの自尊感情を育むために求められることが理解できて自分の将来に役立つと思うなど、授業の狙いや目的が達成できたと考えられる。

<u> 教員名 : 奈良まほろばソムリエの会 職名 : 非常勤 所属 : 全学</u>

科目名称 : 奈良の伝統行事 科目群 : 基礎教養科目

授業コード : 8118・9154 ___ 授業形態 : 演習 ___ 受講者数 : 24名 ___ 回答者数 : 20名

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i>						生活未来科		116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	18	2	-	-	2	13	_	5	_	1

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生0 評価平		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.00)				\Diamond
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上		90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上		90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 5.0%	ほとんど していない 95.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.85	;				Ç
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	高かった高	やや かった 5.0%	適切 であった 60.0%	やや 低かった 5.0%	非常に 低かった 5.0%	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.85	;				Ç
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	必要は なかった	注意 ていた 0.0%	ある程度 注意 していた 30.0%	あまり 注意して いなかった 15.0%	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.80)				¢
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	3.75					
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.65					\langle

1 授業改善の工夫

伝統行事という授業内容のため、DVD・パワーポイント使用と、行事の解説や由緒説明との併用で今後も授業を進めていく。授業の度に理解度を確認する小テストを行っているが、予習復習は生徒たちに今後も要求しないつもりでいる。奈良の伝統行事を「知って」いただき、それぞれの行事本来の主旨を理解してもらい、これから関心をもってもらうことを目的としているのだが、学生が興味を抱くような目線での行事紹介に、さらに工夫が必要かと感じた。DVDの時間中などに私語が多くなるグループがあり、何度も注意をしたが、注意をしたときだけ一時的に静かになることもあった。今年度は学生の席の決め方に工夫を考えたい。

2 アンケート結果に対する見解

学生の自由記述のなかに、授業中の雑談(私語)に対する注意をしてほしいというのがあった。注意はその都度していたのだが、講師としてもう少し厳しい態度で叱る必要があったのかもしれないが、私語の多いグループたちとフレンドリーに会話をするように努めたこともあってか、だんだんと注意をすると静かにしてくれるようになったと思っている。京都への敵対心を持っていると誤解している学生がいたようだが、日本の文化が京都から始まっているように伝わっているが、そのルーツは奈良にある(例えば茶道や和菓子など)ことを説明したのだが、その説明の仕方が「京都は上手に宣伝するからね~」などと冗談を交えたことが誤解を招くことになったのだと思う。今後は言葉に気をつけたい。

科目名称 : 奈良の伝統工芸 科目群 : 基礎教養科目

		学	年				学科•	コース				
						生活未来科	•	116-64-187				
回答者 内訳	1回生			2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	24	_	-		2	10	5	7	_	_		

				♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	4.04	\			
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	-	120分 以上 90分 程度 	60分 程度 4.2%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない 83.3%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	-	120分 以上 程度 4.2% -	60分 程度 4.2%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 75.0 %	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	-	4.29	\			
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	-	非常に やや 高かった 高かった 4.2% 4.2%	適切 であった 87.5%	やや 低かった 4.2%	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	-	4.33				
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	-	注意する 必要は なかった 41.7% 37.5%		あまり 注意して いなかった 4.2%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	_	4.17	\			
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	-	4.00				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	-	3.67				

1 授業改善の工夫

6人で授業を担当させていただきましたが、一人につき2コマしか授業できないので、私の授業に関しては、あまり深い所まで説明できなかったと思います。生徒の興味を引いたり、もっと話を聞いてもらうには、もう少し生徒とコミュニケーションをし、お互いの事を知る時間が必要だと感じました。実際、2コマの授業では、自身の自己紹介が大部分をしめました。私たち作り手が授業をするより、伝統工芸品の使い手のスペシャリスト、例えば、茶道家や華道家の方、料理人の方や工芸品を取り扱い販売されている方等のほうが、使い手としての工芸品の魅力を私たちより伝えられると思いますし、工芸品を身近に生活に取り入れる術や魅力を教える事が出来ると思います。もっと工芸品を身近に感じてもらう事が、奈良の伝統工芸に興味を持ってもらえる事だと思います。

2 アンケート結果に対する見解

私もこのような授業をするのは初めての経験でしたので、授業の完成度は低かったと反省しております。沢山の作品に実際に触れていただきたかったのですが、一人で作品を持って行くには、数に限界があります。生徒と奈良のギャラリー等へ出かけられたら良いと思いました。 授業改善の工夫でも書きましたが、作り手よりも使い手が、この授業をする方が良いと思います。もしくは、使い手の方が加わられた方が良いと思います。工芸品は飾っておくだけでなく、使えるのも魅力です。使い手あっての工芸品ですから、その魅力や知識を伝えるのに欠かせない存在だと思います。

科目名称 : 奈良の伝統工芸 科目群 : 基礎教養科目

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	14.1-4-131		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	24	_	_	_	2	10	5	7	_	_

				_	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	_	4.04	\			
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	-	120分 90分 以上 程度	60分 程度 4.2%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない 83.3%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	-	120分 90分 以上 程度 4.2% -	60分 程度 4.2%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 75.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	-	4.29	\			
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	-	非常に やや 高かった 高かっ: 4.2% 4.2%		やや 低かった 4.2%	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	-	4.33				
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	-	注意する 必要は なかった 41.7% 37.59	していた	あまり 注意して いなかった 4.2%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	_	4.17	\			
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	-	4.00	\			
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	_	3.67	\			

1 授業改善の工夫

当該授業を担当するにあたり学生の集中力を如何に維持するかを心掛けた。スライドや配布資料を用意し、教員の話だけでなく 視覚的に内容を理解できるよう配慮した。また、製品に加え、製墨に係る道具(原料・木型)を教室に持ち込み、実際に触れてもら うことで学生自身の五感で奈良が誇る伝統工芸に触れてもらった。

2 アンケート結果に対する見解

各教員が2回ずつ担当する形式であった為、教員により進行の仕方などに差異が生じるのは致し方ないと考える。その点から考えるとアンケートにおいておおよその項目で平均に近しい評価を得たのは満足できるところだ。⑩の項目、延いてはこの科目に通ずる課題として各教員より得た知識を体系化するコーディネーターの不在が挙げられる。6名の教員よりそれぞれの伝統工芸について学ぶことはできるが、この授業の目標は各伝統工芸について知るだけではなく、それに共通する精神や課題などを見つけ出すことであると考える。それにはやはりこの科目の担当教員がコーディネーターとなり、各教員より学んだことを総括することが必要ではないだろうか。

<u>教</u> 員	名	: 阪本	修		職	洛 :	非常	勤_	<u>所</u>	禹 :	全学				
<u>科</u> 目	名称	: 奈良(の伝統工芸				<u>利</u>	·目群 :	基	礎教	養科目				
<u>授業</u>	ミコード	: 8119		授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	29	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	24名
			学	年					į	学科•:	コース				
口	答者	15.4	0급 #	7 0 114	fur: 1=1 δ:δτ		1	5未来科	ビジ	<i>→</i> ¬	地域こ	ども	7 0 114	/mt	
	勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		物栄養コース	キャ	リア	学科	-	その他	無	回答
		24	-	_	_	2		10		5		7		_	-
			評	価項目				教員@ 自己評			生の 近平均	1		の自己 の評価 3	
	 ① 勉 	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	 たか。			4	Ιμщ		.04	1		J	T
受講		前学習や課			-	ましたか。		ほとん。課してい		120分 以上 -	90分程度	60分 程度 4.2%	30分 程度 12.5%	ほとんど していない 83.3%	無回答
態度	③ 事	後学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上	90分程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	祖酶骨粉材()	·デオかり)を	授業の理解に		12	5	4.2%			4.2%	16.7%	75.0%	-
業内				0	適切		非常に 高かった	やや	適切 であった	やや 低かった	非常に低かった	無回答			
容	(5)	の授業のレイ		であっ	た	4.2%	4.2%	87.5%	4.2%	-					
授業	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4			.33) or deposits	1.33		•
の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		あまり 注意し いなかっ	て	注意する 必要は なかった 41.7%	していた	ある程度 注意 していた 16.7%	あまり 注意して いなかった 4.2%	全く 注意して いなかった	無回答
方	_	生の理解度				-1 20-2-2-1	m,	4		4	.17				
総合評	9 ±	生に新しい知i すか。				ことができたと	思い	4		4	.00				
価	10 =	の授業は学生	生の将来に往	公立つと思い	ますか。			4		3	.67				\rightarrow
1 ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケート結果に対する見解														

科目名称 : フランス語Ⅱ 科目群 : 基礎教養科目

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	主 2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	3	ı	_	-	_	_	-	3	ı	-

				, ◊	教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5	5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.00				\Diamond	İ
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 90分 程度 	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答	
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.33					>
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やや 高かった 高かった - 66.7%		,	非常に 低かった -	無回答	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.33					>
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった - 100.09	していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.33					>
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.00				>	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.00					>

1 授業改善の工夫

フランス語 II は、前期フランス語 I の積み重ねの上に、初級文法の後半を学習することになり、どうしても学生の理解度にバラつきが出てしまう。ここで置き去りにされる学生が出ないよう、A4 1枚程度のフランス語文を独自に用意し、教科書と合わせて授業を行っている。文法的な内容は、前期の復習に新しい事項を加え、毎回のテーマは、学生一人一人の興味・関心にできるだけ沿うようにしている。

2 アンケート結果に対する見解

設問④~⑧については、一人一人の学生と対話しながら、できるだけそれぞれの意向に沿うよう努力してきた授業の進め方を、学生の側でも理解し、評価してくれたものと受け取っている。さらに、設問⑩について、必ずしも就職に直結しないにもかかわらず、「将来に役立つと思う」との回答が得られ、学ぶことの価値について、独自の見解を持つ学生がいることに勇気づけられた。

教員	<u> </u>								講卸	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: 医療的	カケア Ι				<u>科</u>	目群 :	生	活未来	科生活	5福祉	ュース『	専門教	<u> </u>
<u>授業</u>	ミコード	: 1570		<u>授業</u>	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	19:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	19名
			学	年						学科・コ	ュース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養ース	ビジキャコー	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		18	_	_	1	1 17		-		-		-		_	2
			 評·	価項目				教員(自己割			生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5		4.	11				
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	_り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		30分程	建度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度	30分 程度 31.6%	ほとんど していない 68.4%	無回答
度	③ 事	び後学習や課		30分程	建度	120分 90分 以上 程度		60分 程度 5.3%	30分 程度 42.1%	ほとんど していない 52.6%	無回答				
授	授 ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。 業									4.	26				
業内容	⑤ <u></u>	の授業のレイ		やや 高かっ		非常に 高かった 15.8%	やや 高かった 26.3%	適切 であった 57.9%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答				
授業	⑥ 学	生生に分かりゃ	やすい説明を	こ心がけまし	たか。			5		4.	16				
果の進め	⑦ 授	したか。		注意して	いた	注意する 必要は なかった 26.3%	注意 していた 31.6%	ある程度 注意 していた 42.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答				
方		生の理解度						4		4.	16				•
総合語		生に新しい知言 すか。	戦や技術を与;	え、問題意識や	*関心を高める	ることができたと	思い	4		3.	95				>
評価	10 =	の授業は学生	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。			4		4.	42				•
1 #	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	<u>單</u>											

<u>教</u> 員	<u> </u>								講師	j	<u>所</u>	禹 :	生活	<u>未来和</u>	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: 医療師	的ケアⅢ				<u>科</u>	群	: 生	活未来	科 生活	舌福祉:	コース『	<u>專門教</u>	育科目
授業	ミコード	: 1585		<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u> 請	<u> </u>	:	9:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	9名
			学	年					2	学科•:	コース				
□	答者	1574	0日4	7 0 114	/m: //			未来科	ビジ	ショ	地域こ	ども	7 0 16	/mt	
	力訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		が栄養 ース	キャ	リア	学科		その他	無	回答
		_	9	_	_	9		-		-		-		_	-
							Т	教員	の	学	<u> </u>	♦		の自己 の評価	
			評	価項目				自己記			平均	1	2	3	4 5
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>たか</i> 。			4		4	.11				\Diamond
受講	② 事	4前学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		90分程	呈度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態度										44.4% 120分	90分	33.3% 60分	22.2% 30分	ほとんど	無回答
	③ 事		90分程	呈度	以上 33.3%	程度 11.1%	程度 44.4%	程度 11.1%	していない -	※四台					
授	授 ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。									4	.00				\Diamond
内	業内									非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
容							4	高かっ	った	44.4%		33.3%	-		-
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	こ心がけまし	たか。		\dashv	注意。	ナス	3 注意する	.67	ある程度	あまり	全く	\rightarrow
の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	tをしていまし	<i>たか</i> 。		必要なかっ	は	必要は なかった 66.7%	していた	注意 していた 11.1%	注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	生の理解度						4		3	.56				\langle
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	と、問題意識や	₽関心を高める	らことができたと	思い	4		4	.00				>
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い と	きすか。			4		3	.67				\rightarrow
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケート結果に対する見解														

奈良佐保短期大学

数[名	: 中村	妙子		職	名 : 教持	爱	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	 		
<u>科</u> 目	名称	: 家事	支援の技法	<u>;</u> Ⅰ •被服			<u>科</u>	目群 : 生	活未来	长科 生活	舌福祉:	コース『	<u>専門教</u>	育科目
<u>授美</u>	ミコード	: 1330		授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	10	名_	<u>回答</u>	者数	:	9名
				年		Т			学科•	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答		食物	が木食 キャ	ネス ・リア ース	地域この学科		その他	無	回答
		_	9	_	_	- 9			-/		_		_	_
			 評·	価項目				教員の 自己評価		生の 町平均	1		<mark>の自己</mark> の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			4	4	.22				•
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	_り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 77.8%	無回答 -
度	③ 事	4後学習や課	題を1週当た		ーー れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	していない			30分 程度 44.4%	ほとんど していない 55.6%	無回答
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	 ごデオなど)を、	授業の理解に	0	4		.56				•	
来 内 容	⑤ <u>C</u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。		適切であった	非常に 高かった 11.1%	高かった		やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	こ心がけました	たか。			4		.78				•
木の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>」たか</i> 。		注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 88.9%	していた	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方		生の理解度					31 \	4	4	.78				•
総合評	9 z	すか。				ることができたと思	}\ \	4	4	.56				•
価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い 	ますか。			4	4	.67				•
1 ‡	授業改善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	星										

数[名	: 池内	ますみ				職	名 : 教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	ŀ
<u>科</u>	名称	:家事	支援の技法	<u>:</u> Ⅱ·栄養			<u>科</u>	目群 : 生	活未来	科 生活	5福祉:	コース『	<u>專門教</u>	<u> </u>
<u>授美</u>	ミュード	: 1335		授業	形態 :	講義	受	講者数 :	10	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	9名
				年		T			学科•	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答		食物	未来科 勿栄養 ース ギャ	リア	地域この学科		その他	無	回答
		-	9	_	_	9		-	-		-		_	
				価項目				教員の 自己評価		生の 近平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	1強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。 			4	4	.00				\rightarrow
受講態	② 事	前学習や課	見題を1週当た	_り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 66.7%	無回答
度	③ 事	後学習や課	!題を1週当た		れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	程度 程度 - 33.3%		ほとんど していない 66.7%	無回答
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	 ごデオなど)を、	こ活用しましたか。	0	4		.44				\rightarrow	
来 内 容	⑤ C	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			やや 高かった	非常に やや 高かった 高かった - 33.3%		適切 であった 66.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		.33				♦
木の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きしていまし	<i>したか</i> 。		注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 100.0%	していた	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_		を配慮しなか				1, ,	4	4	.11				
総合評	9 z	すか。				らことができたと思	, v	4		.11				
価	10 =	の授業は字	生の将来に往	<u> 全立つと思い</u>	・ますか。 			4	4	.33				•
1 1	受業改	善の工夫												
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	星										

教員名 : 森永 夕美 職名 : 准教授 所属 : 生活未来科

科目名称 : 介護過程 II 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□						生活未来科		116-64-183		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	19	-	_		18	-	-	-	-	1

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生(評価平		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.05	5				\Diamond
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	以上	90分 程度 5.3%	60分 程度 5.3%	30分 程度 21.1%	ほとんど していない 68.4%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	以上	90分 程度 5.3%	60分 程度 10.5%	30分 程度 36.8%	ほとんど していない 47.4%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.32		1010%	1	1111/6	
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	高かった高	やや 5かった 52.6%	適切 であった 31.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	3	4.16		01.0%		\	
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	必要は なかった し	注意 ていた 52.6%	ある程度 注意 していた 21.1%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	3	4.32	2			\(\)	
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.21	1				•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.68	3				•

1 授業改善の工夫

自分たちが学んだことと利用者の状況を、点と点をつなげながら考えていく必要がありこれが正解というものも無いので、難しい教科のひとつであります。しかし、クラスメートと話し合ったり記入を繰り返したりするなかで徐々に上達すると考えます。また、この後、実習で実践することでさらに理解できると考えます。

2 アンケート結果に対する見解

・記入の方法については、初めての段階なので、今回のように教員が見本を提示しながらしていく。・これまで学んだ病気や障害、介護の知識・技術の確認を繰り返しながら、図書館等で調べる力も身につけていく必要がある。・以前の利用者事例は紙での情報のみであったが、今回からDVDで実際の利用者を見ながら情報収集をする練習ができたのは良かったと思うため、今後もよい事例を検討する必要がある。

<u>教</u> 員	<u> 教員名 : 水野 尚美</u> 科目名称 : 介護過程Ⅳ								名 :	講師	ţ <u> </u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名利	r : か)護ì	過程IV				<u>科</u>	目群	: 生	活未来	科 生剂	舌福祉	コース]	専門教	<u>育科目</u>
<u>授業</u>	ミコー	ド:1	420		<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	9.	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	9名
				学	年						学科•:	コース				
口	答者	1回4	4	2回生	その他	無回答		1	未来科	ビジ	マフ	地域こ	ども	その他	4111-	回答
P	勺訳	11612	Ľ.	2四生	-C071E	無固合	生活福祉コース		物栄養コース	キャ		学科	+	CVAIL	***	旦合
			-	Ć	_	_	- 9		_		_		_			
				割	· 価項目				教員 自己記			生の 近平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉強しや	すい	雰囲気づく	のに配慮しまり	<i>たか。</i>			4		4	.11				\
受講態	2	事前学習	や課	題を1週当	たり平均でど	れぐらい課し	ましたか。		120分月	以上	120分 以上 22.2%	90分 程度 22.2%	60分 程度 22.2%	30分 程度 11.1%	ほとんど していない 22.2%	無回答
度										以上	120分 以上 44.4%	90分 程度	60分 程度 11.1%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない -	無回答
授	受 ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。											.89	11.1/0	33.3/0		\Q
業内容	5	この授業の	のレイ	ベルは、学生	上にとって適り	刃でしたか。			きない。		非常に 高かった 22.2%		適切 であった 22.2%	やや 低かった 11.1%	非常に 低かった	無回答
授	6	学生に分	カンりゃ	やすい説明	を心がけまし	たか。			4			.44				\rightarrow
業の進め	7	授業の進	行を	妨げる行為	に対して注意	tをしていまl	したか。		注意で必要なかっ	は	注意する 必要は なかった 55.6%	していた	ある程度 注意 していた 22.2%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
め方	8	学生の理	解度	を配慮しな	がら授業を進	めましたか。			4		3	.44				\rightarrow
総合		学生に新し ますか。	い知言	織や技術を与	え、問題意識な	P関心を高める	ことができたと	思い	4		3	.56				\
評価	10	この授業に	は学生	生の将来に	役立つと思い	ますか。			4		4	.44				•
1 1	受業で	改善 のエ														
2 7	アンク	rート結り	果に	対する見り	解											

教員名 : 安永 龍子 職名 : 教授 所属 : 生活未来科

科目名称 : 介護概論Ⅱ 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

<u>授業コード : 1210 授業形態 : 講義 受講者数 : 21名 回答者数 : 21名</u>

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k/c</i> → .						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	21	-	I	ı	20	_	-	_	-	1

				<u></u>	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.90				\Diamond
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 90分 程度 9.5%	60分 程度 4.8%	30分 程度 23.8%	ほとんど していない 61.9%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 4.8% -	60分 程度 14.3%	30分 程度 19.0%	ほとんど していない 61.9%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	3.95				\rightarrow
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 23.8% 19.09		やや 低かった -	非常に 低かった 4.8%	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.90				\(\)
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 14.3% 57.19	していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった 4.8%	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.00				\lambda
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	3	3.95			\Q	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.19				

1 授業改善の工夫

介護現場で起こっている現状などを伝えるために、厚労省などから出ている報告書なども参考にしながら授業をおこなった。また、法律に基づいて行なわれているために、最新の法律の改正などを盛り込み授業をおこなった。 養成校にも国家試験が義務づけられたことをふまえ、試験問題なども授業の中に入れて、国家試験に向けての意識付けを行なった。

2 アンケート結果に対する見解

全体の評価点としては低い結果になった。自由記述に「難しかった」「スライドが小さくて見えづらい」「プリントの字が細かすぎて読めない」などがあり、授業を理解するのに活用した教材の改善が必要である。 学生への課題はほとんど課していないために、事前事後学習をしていない学生が6割いた。事前事後学習に取り組めるように課題などをかすることも検討する必要がある。

<u>教</u> 』	名	: 東 孝	至				職:	名 :	講師	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	
<u>科</u> 目	名称	:介護組	総合演習Ⅱ				<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科 生活	舌福祉:	コース]	専門教育	<u> </u>
<u>授業</u>	ミコード	: 1456a	ı	授業	形態 :	演習	受	講者数	:	19:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	19名
			学	年					:	学科・	コース				
口	答者	1回生	2回生	その他	無回答	 		未来科	ビジ	ネフ	地域こ	ども	その他	4111	回答
P	寸訳	四生	2四土	-C 07∏E	無固合	生活福祉コース		勿栄養 一ス	キャコー	リア	学科	ŀ .	ての地	***	<u></u> 国合
		19	_	_	_	19		_		-		-		-	
			評	価項目				教員 自己割			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5		4.	.16				
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		60分程	是度	120分 以上 10.5%	90分 程度 5.3%	60分 程度 21.1%	30分 程度 15.8%	ほとんど していない 47.4%	無回答
度	① 1	後学習や課	ま) たか		60/\#	中	120分以上	90分程度	60分程度	30分程度	ほとんどしていない	無回答			
	③ 事	俊子首〜珠	趣を1週目に	リ平均でと	ましたか。		5.3% 10			10.5%		31.6%	42.1%	-	
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	活用しましたか	,0	北岸に			.37	適切	44				
内容	⑤ <u>C</u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			高かった			高かった	週切 であった 52.6%	低かった	非常に 低かった	無回答
授	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		4.26		32.0%			•
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		注意して	いた	注意する 必要は なかった 26.3%	注意 していた 52.6%	ある程度 注意 していた 21.1%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	•	生の理解度						5		4.	.32				
総合		生に新しい知言 すか。	戦や技術を与;	え、問題意識々	♥関心を高める	ことができたと	思い	4		4.	.26				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			4		4.	.32				\
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	¥											

教員	<u> </u>	職/	名 :	講師	ji	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>					
<u>科</u> 目	1名称	: 介護	総合演習IV	<u>r</u>			<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科 生活	舌福祉=	ュース	<u> </u>	育科目
<u>授業</u>	をコード	: 1465		<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	9:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	9名
			学	年						学科・コ	コース				
	答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養ース	ビジキャコー	・リア	地域こる 学科		その他	無	回答
		_	9		_	- 9		-		-		_		_	_
				価項目				教員 自己割			生の 近平均	1		<mark>の自己</mark> の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。 			5		4.	.11				
受講態	② 事	前学習や課	県題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し			120分以	以上	120分 以上 33.3%	90分 程度 11.1%	60分 程度 11.1%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 11.1%	無回答
度	3 事	写後学習や課		120分以	以上	120分 以上 33.3% 11.1%		60分 程度 22.2%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない -	無回答				
授	④ 教	(科書、プリント、	,0	4		3.	.89				\(
業内容	⑤ <u></u>	の授業のレイ		適り であっ		非常に 高かった 33.3%		適切 であった 33.3%	やや 低かった 11.1%	非常に 低かった -	無回答				
授業	⑥ 学	生生に分かり	やすい説明を	心がけまし	たか。			4		3.	.56				\rightarrow
果の進め	⑦ 授	そ業の進行を	妨げる行為に	 こ対して注意	 fをしていまし	したか。		注意す 必要 なかっ	は	注意する 必要は なかった 88.9%	していた	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方			を配慮しなか					4		3.44					\rightarrow
総合語		生に新しい知言すか。	識や技術を与え	こ、問題意識や	?関心を高める	ることができたとん	思い	4		3,	.78				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。			4		4.	.00				
1 ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見解	<u>¥</u>											

科目名称 : 居住環境整備の技法 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> ⁄ →						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	_	9	_	_	9	_	-		_	_

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生(評価平		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.00)				\
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度		90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 66.7%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない		90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 44.4%	ほとんど していない 55.6%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.44	1				•
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	高かった高	やや あかった 22.2%	適切 であった 77.8%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.67	7				•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた		注意 ていた -	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.44	1				
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.33	3				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.44	1				•

1 授業改善の工夫

快適な生活には、住環境が生活の質と深く関わっていることの理解が大切である。学生自身が自分の生活を観察することで、環境整備の重要性を気づくように計画している。環境整備のための装備や機器を実際に計測するなど、体験や実技を通して学習が身につくように工夫している。日常生活空間にかかわる事項を科学的に理解できるよう、毎回の講義での小テストの在り方を工夫したい。

2 アンケート結果に対する見解

受講生の多くは受講態度もよく課題にもまじめに取り組んでいた。講義内容は日常の生活場面に直結することであり、自分の実際の生活行動を観察して、感じ、考え、理解しようとしている様子がうかがえる。学生が自分自身で体験や測定するなど、自分の身体を動かして行いレポートを書くこと、また、講義での説明はより具体的な事例で行うことなどを心掛けた。これらが、学生自身の「居住環境整備の理解」につながったと感じる。

教員名 : 片山 美惠子 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : 権利擁護と成年後見制度 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> /c →c.						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	ı	6	_	-	4	_	-	2	-	_

				\ \ \ \	教員の	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	学生 (の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33				♦
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 程度 16.7% -	60分 程度 -	30分 程度 50.0%	ほとんど していない 33.3%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 16.7% -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 50.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.33				
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やや 高かった 高かった 16.7% 50.0%	適切 であった (やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	5.00				\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 66.7% 33.3%	ある程度 注意 していた V	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	5.00				\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.50				\rightarrow
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.67				•

1 授業改善の工夫

「権利擁護と成年後見」については、学生にとって「非日常的」な授業内容と感じることが多く、内容にしても「福祉専門用語」が馴染みにくいと考えていました。そのため「日常的事例」を交えて、実感しやすいように心がけました。また、授業開始15分は、前回授業の振り返りをして理解度を図り、授業終了10分前には、当日の「まとめ」を伝え、質問や理解度の確認をしました。授業前後の勉強、課題の取り組みについてはレポート等を課すなど工夫して関心を深め、習熟度を図りたいと考えます。

2 アンケート結果に対する見解

総じて高評価を得たことに満足しています。授業内容では半数以上の学生が授業レベルを高く感じていることは工夫が必要だと思いました。学生にとって分り難い文言や福祉制度、福祉専門用語などは平易な言葉に置き換えたり、事例を用いてイメージしやすいよう工夫することで理解度や習熟度を図っていきたいと考えています。また、権利擁護の大切さを学んで、半数以上の学生が将来に役立つと感じてくれたことに、遣り甲斐を感じました。

<u>教員</u>	名_		: 平岡	毅				<u>職</u>	洛 :	<u>非常</u>	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名利	<u> </u>	: 高齢	者に対する	支援と介護	程除制度		<u>科</u>	·目群	: 生	活未来	科 生活	舌福祉:	コース	<u> </u>	育科目
<u>授業</u>	ミコー	-ド	: 1215		授業	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	24	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	24名
		\top			年		Τ				学科・3	コース				
	答者 寸訳	.]	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食	おおまれる お栄養 コース		ネス・リア	地域この学科		その他	無	回答
			19	3	_	2	2 19		_				3			2
					価項目				教員 自己割			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉強し	_やすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			5		4.	.08				<
受講態	2	事前	学習や課	R題を1週当た		れぐらい課し	ー よしたか。 		ほとん 課してV		120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 8.3%	30分 程度 20.8%	ほとんど していない 54.2%	無回答
度	3	事後	学習や課	果題を1週当た	こり平均でどれ	ーー れぐらい課し	ましたか。		60分程	呈度	120分 以上 -	90分 程度 12.5%	60分 程度 20.8%	30分 程度 25.0%	ほとんど していない 41.7%	無回答
授	4	教科書	・、プリント、	、視聴覚教材(· ビデオなど)を、	. 授業の理解に) y 0	5		4.	.46					
業内容	⑤	この拷	受業のレー	ベルは、学生	こにとって適け	刃でしたか。			きない。	•	非常に 高かった 12.5%	やや 高かった 37.5%	適切 であった 45.8%	やや 低かった -	非常に 低かった 4.2%	無回答
授	6	学生に	こ分かり	やすい説明を	<u>-</u> と心がけまし	たか。			5		4.	.46				
業の進め	7	授業の	の進行を	がげる行為に	こ対して注意	tをしていまし	したか。		注意で必要なかっ	は	注意する 必要は なかった 54.2%	注意 していた 29.2%	ある程度 注意 していた 12.5%	あまり 注意して いなかった 4.2%	全く 注意して いなかった	無回答
方)			を配慮しなな					5		4.	.42				
総合		学生に ますか		識や技術を与	え、問題意識や	-関心を高める	ることができたと	思い	4		4.	.13				
評価	10	この授	受業は学	生の将来に行	 没立つと思い	ますか。			5		4.	.30				
1 #	受業	<u>牧善</u> (の工夫													
2 7	アング	ケート	結果に	対する見角	<u>異</u>											

教 <u>員</u>	力壬	/-		 7	こしょ.	とだか	ノフ、T			1		. и.	江十十	41 上》	工/司小	 -> ¹	丰阳业	大型「
	名利 					りたの	レくみ I									コース		
授業	ţ コー	<u>-ド</u>	:	<u> 1550</u>)		<u>授業</u>	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	23:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	23名
						学	年						学科•	コース				
	答者 引訳		1回	生	2	回生	その他	無回答	生活福祉	食	舌未来科 物栄養	ビジャヤ	1	地域こ 学科		その他	無	回答
		ŀ		21		2		_	コース	-	コース -	コー	-ス 2		_		_	
															♦	教員	の自己	評価
						評	価項目				教員 自己			生の i平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4
	1	勉引	鱼しゃ	っすい	雰囲	気づくり	に配慮しま	したか。			5		4.	30				—
受講	2	事	前学習	国や調	果題を	1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分程度	ほとんど していない	無回答
態度													120分	8.7% 90分	4.3% 60分	17.4% 30分	69.6% ほとんど	無回答
	3	事行	後学習	国や調	果題を	1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分	程度	以上	程度 4.3%	程度 4.3%	程度 34.8%	していない 56.5%	**************************************
授	業												4.	35				
業内容	⑤	<u></u> Ξ0,	授業	色のレ・	ベルに	は、学生	にとって適	刃でしたか。			適けであっ		非常に 高かった 13.0%		適切 であった 60.9%	やや 低かった -	非常に 低かった	無回答
授	6	学生	生に分	ナカュり	やすい	、説明を	と心がけまし	たか。			5		4.	14				
業の進	7	授美	業の資	進行を	がげ	る行為に	こ対して注意	気をしていまし	したか。		あま 注意 いなか	して	注意する 必要は なかった 39.1%	注意 していた 34.8%	ある程度 注意 していた 21.7%	あまり 注意して いなかった 4.3%	全く 注意して いなかった	無回答
め 方	8	学生	生のE	里解度	度を配り	慮しなか	ら授業を進	めましたか。			5		4.	22				
総合	9	学生ます		しい知	職や技	技術を与え	え、問題意識を	や関心を高める	らことができたと	思い	4	:	4.	17				\Diamond
評価	10	<u>_</u> σ	授業	は学	生の料	爭来に 征	異立つと思い	ますか。			5		4.	30				
<u> </u>	文	以音	学 ()	<u>工夫</u>														
2 7	マング	アー	ト結	果に	対す	る見角	F											

教員名 : 森田 婦美子 ______ 職名 : 非常勤 _____ 所属 : 生活未来科

科目名称 : こころとからだのしくみⅢ 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

授業コード: 1560 授業形態: 講義 受講者数: 21名 回答者数: 21名

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k/c</i> ± <i>c</i> .						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	21	-	1	1	21	_	-	_	_	-

_				_	\Diamond	教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均		1	■ 学生 2	: の評価 3	-	5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.29					\	
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	以上程		i0分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 57.1%	無回答	
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	以上程	度	i0分 程度).5 %	30分 程度 38.1%	ほとんど していない 47.6%	無回答	-
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.52					,	†
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	高かった高か	ったで	適切 あった 3.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.57					(ļ
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	必要は なかった して	いたし	・ る程度 主意 ていた).5%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.33					\Diamond	
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.33					\Diamond	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.52					•	þ

1 授業改善の工夫

今年度は外国人の学生も学習していたので、授業方法の工夫をおこないました。ビデオ等を用い、視覚面から理解深めることをおこないました。結果的に、現役生も授業に興味を持ち学習の理解にも繋がったと考えられます。

2 アンケート結果に対する見解

社会人の学生が大変熱心で学習に取り組んでくれたと評価します。その影響で現役生も多少刺激され、理解を深められたと評価します。毎年のことですが、現役生は自己学習をすることは大変苦手な状態であるため、今後課題等の提出など学習環境を整えることが必要と考えています。

教員名 : 畑下 芳史 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : こころとからだのしくみIV 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

<u>授業コード: 1565 授業形態: 講義 受講者数: 21名 回答者数: 21名</u>

		学	年				学科•	コース		
□ \&\ \dag{\dag{\dag{\dag{\dag{\dag{\dag{						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	21	-	I	ı	21	_	-	_	-	_

					教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	, =		の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	3	4.00			\	
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分以上 程度	程度 程度	30分 程度 9.5%	ほとんど していない 71.4%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程序 9.5% -		30分 程度 38.1%	ほとんど していない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.10		00.1%	02.170	\
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やっ 高かった 高か 19.0% 23.	ったであった		非常に 低かった 4.8%	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.05				\(\rightarrow\)
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	あまり 注意して いなかった	注意する 必要は なかった 33.3% 33.	注意 していた		全く 注意して いなかった	無回答 4.8%
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.86				\(\)
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.00				>
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.24				

1 授業改善の工夫

昨年までの経験から、講義だけでは理解度が低いと考え、映像などを多く用いてより理解しやすいようにした。さらに昨年から相互実習に加えてマネキンを用いた実習を取り入れ、より実践的なことができるようにしている。介護職の現場では、まだまだ口腔ケアを含め歯科分野に対する関心が低いのが現状であることから、まずは興味を持ってもらうことに主眼を置いた講義を行っている。

2 アンケート結果に対する見解

受講態度については、それぞれ介護職になるという強い意識を持って入学している学生なので、講義の妨げになるような行為(私語など)については最初の講義時に注意はしたが、居眠り、遅刻については個々の自覚の問題なので特に注意は行っていない。ただ毎年のことではあるが、学生間の基礎学力の差が大きいため、すべての学生に理解できるような講義は難しいと考えている。

学年 学科・コース 世活未来科	21名
学年 学科・コース 回答者 1回生 2回生 その他 無回答 生活未来科 地域こども 学科 子の他 無回答 生活福祉 食物栄養 ビジネス キャリア コース コ	可答 严価 Z 女 1 5
回答者 内訳	平価 Z均
回答者 内訳	平価 Z均
大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田	平価 Z均
評価項目	左均 1 5 無回答
評価項目 教員の自己評価 学生の評価でありません。 ① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。 5 4.00 ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 30分程度 120分 程度 程度 上でいない。 程度 程度 していない。 20分 程度 程度 していない。 20分 程度 程度 していない。 20分程度 程度 していない。 4.8% 4.8% 4.8% 4.8% 4.8% 33.3% 52.4% 授業内容 ① 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。 5 4.24 第二の授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。 5 4.24	左均 1 5 無回答
受講態度 2 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 30分程度 120分 90分 程度 20分 20分 20分 程度 20分	
講覧 ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 30分程度 以上 程度 程度 日本度 日本度 日本度 日本度 日本度 日本度 日本度 日本度 日本度 日本	
度 30分程度 120分 別上 程度 90分 程度 60分 程度 30分 程度 投土 4.8% 4.8% 4.8% 33.3% 52.4% 授業内容 5 4.24 第 5 4.24 ま常に高かった高かった高かった高かった名かった低かった低かった低かったのかった。 12.0分 90分 程度 程度 2.00 日本	\longrightarrow
授業 内容	無回答
業内容 非常に高かった やや高かった 適切 やや ほかった 低かった 低かった 低かった しまかった いまった にあった しまかった しまかり しまかった しまかり しまかった しまかった しまかり しまかり しまかり しまかり しまかり しまかり しまかり しまかり	_
容	無回答
	_
授 ⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。 5 4.19 業 **	
ででは、	無回答 4.8%
方 8 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。 4 4.10	}
総合 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思い 4.10	}
評	
1 授業改善の工夫	
2 アンケート結果に対する見解	

教員	<u> </u>	:中西					職	洛 :	非常	<u>;勤_</u>	<u>所</u>	属 :	<u>生活</u>	未来和	<u> </u>
<u>科</u> [1名称	: 児童	家庭福祉_				<u>科</u>	·目群 :	<u></u> 生	活未来	科 生活	舌福祉:	ュース]	<u> </u>	<u>育科目</u>
<u>授業</u>	さコード	: 1655		<u>授業</u>	形態 :	講義	<u>受</u>	:講者数	:	11/	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	5名
			学	年					į	学科•=	ュース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	上食物	5未来科 物栄養 コース	ビジンキャ!	・リア	地域こ 学科		その他	無	回答
		_	5	_		- !	5	_		-				_	_
				価項目				教員の 自己評			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	 	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			4		4.	.80				♦
受講態	② 事	事前学習や課		<u>-</u> り平均でど;	れぐらい課し	しましたか。		60分程	捜	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 80.0%	無回答
度	3 事	事後学習や課		<u>-</u> り平均でど;	れぐらい課し			60分程	速	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 60.0%	無回答
授	④ 教	枚科書、プリント、	、視聴覚教材(1	 ビデオなど)を.	、授業の理解に	に活用しました	か。	5		4.	.40				
業内容	5 =	この授業のレイ	ベルは、学生	こにとって適ț		適切 であっ	-	非常に 高かった 20.0%		適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答		
授業	⑥ 学	学生に分かり~	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		4.	.25				
業の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	気をしていま!	したか。		ある程		注意する 必要は なかった 20.0%	注意 していた 60.0%	ある程度 注意 していた 20.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方		学生の理解度						4		4.	.40				•
総合		生に新しい知詞 さすか。	識や技術を与え	え、問題意識や	や関心を高める	5ことができたと	に思い	4		3.	.80				i
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思V	いますか。			5		4.	.00				
1 1	受業改	で善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見解	星											

教員	[名	: 安永	龍子				崩	战名 :	教授	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: 障害の	の理解Ⅱ				<u>彩</u>	目群	: 生	活未来	<u> 大科 生</u>	活福祉	コース]	<u> </u>	育科目
<u>授業</u>	ミコード	: 1530		<u>授業</u>	形態 :	講義	芝	講者数	:	33	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	32名
			学	年					:	学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答	4. 77 to 1	1	舌未来科	ビジ	ネス	地域こ	ども	その他	4H:	回答
P	勺訳	11417		CVAIR	W.E.	生活福祉コース	1	物栄養コース	キャコー	リア	学科	斗	CVJE	777	<u> </u>
		21	11	_	_	30		-		_		1	₩. 🗆	- <u>- </u>	1
			評	価項目				教員 自己郭			生の 西平均			の自己 の評価 3	
	① 勉	2強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4	.09				\langle
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	_り平均でど	hぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してV		120分 以上 3.1%	90分 程度 6.3%	60分 程度 6.3%	30分 程度 28.1%	ほとんど していない 56.3%	無回答
度	③ 事	「後学習や課	題を1调当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとん		120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
						-		課してい	ない	6.3%	6.3%	9.4%	37.5%	40.6%	-
授業力	4) 教	科書、プリント、	視聴見教材(!	ニアオなど)を、	授業の埋解に	二古用しました/),	4	1	非常に		適切	44	非常に	無回答
内容	⑤ <u></u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			であっ		高かった 15.6%			低かった -	低かった 3.1%	一
授	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		4	.22				
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		注意が必要なかっ	は	注意する 必要は なかった 18.8%	していた	ある程度 注意 していた 25.0 %	あまり 注意して いなかった 3.1%	全く 注意して いなかった	無回答
方	,	生の理解度						4		4	.13				\rightarrow
総合証		生に新しい知言 すか。	織や技術を与れ	え、問題意識や	·関心を高める	ことができたと	思い	4		4	.22				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思V	ますか。			4		4	.50				♦
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	4											

教員	名		: 東	孝至					耵	強名 :	講師	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	¥
<u>科</u> 目	名和	<u> </u>	: 生活	支援技行	折Ⅱ				<u>乖</u>	4目群	: 生	活未来	科 生	舌福祉	コース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコー	-ド	: 1310)a		授業	形態 :	演習	<u> </u>	2講者数	:	19	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	19名
					学	年						学科•	コース				
	答者		1回生	2回4	±	その他	無回答	生活福祉	1	活未来科	ビジ	ネス	地域こ		その他	無	回答
P	引訳		*1111			C +> E	, M L L	生活価値コース		物栄養コース	キャ		学科	 	C +> E		
			19)	-	_	_	18		_		-		-	松日		1 数位
					評	価項目				教員 自己記			生の 話平均	1	■ 学生	の自己 の評価 3	
	1	勉	!強しやすい	雰囲気~	づくり	に配慮しまし	たか。			5		4	.05				<
受講態	2	事	前学習や調	果題を1週	当た	り平均でどえ	hぐらい課し	ましたか。		60分和	呈度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 15.8%	30分 程度 36.8%	ほとんど していない 47.4%	無回答
度	3	事	後学習や詞	果題を1週	当た	り平均でどえ	hぐらい課し	ましたか。		60分和	呈度	120分 以上 15.8%	90分 程度 -	60分 程度 15.8%	30分 程度 42.1%	ほとんど していない 26.3%	無回答
授	4	教	科書、プリント	、視聴覚教	材(t	ごデオなど)を、	授業の理解に	活用しましただ	,0	5		4	.47				(
業内容	5	Ĺ	の授業のレ	ベルは、	学生	にとって適り	刃でしたか。			非常高かっ		非常に 高かった 26.3%	高かった	適切 であった 42.1%	1	非常に 低かった -	無回答
授業	6	学	生に分かり	やすい説	明を	こ心がけまし	たか。			5		4	.63				
未の進め	7	授	業の進行を	と妨げる行	う 為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		注意して	ていた	注意する 必要は なかった 31.6%	していた	ある程度 注意 していた 5.3%	あまり 注意して いなかった 5.3%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	8					ら授業を進			-	5		4	.42				— <
総合証	9	ま	すか。					ことができたと	思い	5		4	.53				— (
評価	10	۲	の授業は学	生の将来	そに名	设立つと思い	ますか。			4		4	.79				♦
1 #	受業	<u>改</u>	善の工夫														
2 7	マング	ケー	ート結果に	対する	見解	4											

科目名称 : 生活支援技術 II 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□						生活未来科		116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	19	-	ı	_	18	-	-	_	-	1

				_	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	4.05	\(\)			
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	-	120分 90分 以上 程度	60分 程度 15.8%	30分 程度 36.8%	ほとんど していない 47.4%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	-	120分 以上 15.8% -	60分 程度 15.8%	30分 程度 42.1%	ほとんど していない 26.3%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	-	4.47	\			
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	-	非常に やや 高かった 高かった 26.3% 31.69		やや 低かった	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	-	4.63	\			
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	-	注意する 必要は なかった 31.6% 57.99	していた	あまり 注意して いなかった 5.3%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	_	4.42	\			
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	-	4.53	\			
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	-	4.79	\			

1 授業改善の工夫

生活支援技術Ⅱでは、前期科目の生活支援技術Ⅰで学んだことを踏まえながら、新たな技術を習得することを目的としている。 実施する介護に対して学生が理由を説明できるよう、講義・演習をセットで展開するようにしている。授業で基本的な技術を習得し、介護現場に実習に出た際には基本から応用した技術を学び、習得するよう説明をしている。また、介護者役だけでなく利用者役も経験することで、介護を受ける側の気持ちを考えられるようにしている。

2 アンケート結果に対する見解

授業内では練習できる回数が限られているが、授業前や授業後に勉強をしたり課題に取りくんだりした学生の割合が全体的に低く、予習復習の必要性をもっと訴える必要があると感じた。自由記述では「繰り返し練習するしかない」といっている学生もいるが、全体的に行動が伴っていないように思われる。反復して行うことで自己の課題に気づくことができ、技術の向上につながるため、学習への意欲を高める仕組みを考える必要があると思われる。

科目名称 : セラピー概論 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

			学	年				学科•	コース		
	+r.						生活未来科	•	116-14-187		
回答:		1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
			10	_	_	9	_	-	_	_	1

_				- ◆	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.00				\lambda
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度 -	30分 程度 10.0%	ほとんど していない 90.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度 -	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 80.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.30				\rightarrow
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった - 40.0%			非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.30				
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 60.0% 20.0%	していた	あまり 注意して いなかった 20.0%	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.00				\lambda
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.20			—	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.20				+ •

1 授業改善の工夫

授業をより受け入れやすく、話を聞きやすくするために、プリントや質問などを増やしたり参加型の授業を行った。今学生たちが感じている疑問や不安点を見つけることで、介護者や利用者さんの不調やケアに対する意識が高ますような視点を持つことを目標とした。このような授業を行ったことで、実際の介護の現場でいかしてもらえるようなイメージを持ってもらうことができたのではと思う。

2 アンケート結果に対する見解

普段あまりかかわることのない分野の話なので、自身にうまく反映させてとらえることのできたもの、できなかったものにわかれるのかなと思った。もっと詳しく知りたい、資料が欲しいと思う学生が増えたように思うので、来年の授業の参考にしていきたいと思う。日常に沿った内容になっているので、そのあたりは非常に良かったのではないかと思う。

教員	名	:水野	職名	ጟ :	講印	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>				
<u>科</u> 目	名称	: 専門	ゼミナール				<u>科</u>	群:	: 生	活未来	科 生活	5福祉=	ュース	<u> </u>	育科目
<u>授業</u>	ミュード	: 1635		授業	形態 :	演習	<u>受</u> 請	構者数	:	9:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	9名
			学	年						学科・	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科の栄養のス	ビジキャ	リア	地域こ 学科	<u>-</u>	その他	無	回答
		-	9		-	- 9		-	コー	-X -					
			評	価項目			Ī	教員 自己部			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	.00				>
受講態	② 事	す前学習や課	題を1週当た	り平均でどだ	れぐらい課し		120分以	以上	120分 以上 11.1%	90分程度	60分 程度 22.2%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 44.4%	無回答	
度	3 事	4後学習や課	題を1週当た	り平均でどだ		120分以上 11.1%			90分 程度 -	60分 程度 22.2%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 44.4%	無回答		
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(と	ニデオなど)を、	70	4		4.	.00				\lambda		
業内容	\$ 5	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			やや 高かっ	•	非常に 高かった 22.2%		適切 であった 33.3%	やや 低かった 11.1%	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	ご心がけまし	たか。			4		3.56					\rightarrow
米の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>こたか</i> 。		注意の必要なかっ	は	注意する 必要は なかった 88.9%	注意 していた -	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方			を配慮しなか					4		3.	.56				\rightarrow
総合評	9 _±	すか。				らことができたと!	思い	4			.78				
価	10 =	の授業は学	生の将来に往	 立つと思い	ますか。			3		4.	.22			\Q	
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見解	Ž											

奈良佐保短期大学

教員名 : 水野 尚美 職名 : 講師 所属 : 生活未来科

科目名称 : 認知症の理解 I 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

授業コード: 1515 _____ 授業形態: 講義 ___ 受講者数: 21名 ___ 回答者数: 20名

		学	年				学科•	コース		
□						生活未来科		116-145-183		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	19	_	-	1	16	-	-	-	-	4

					♦	教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価 ³		1	■ 学生 2	の評価 3		5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.1	15				<	ļ
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 5.0%	90分 程度 -	60分 程度 10.0%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 45.0%	無回答	
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 30.0%	30分 程度 45.0%	ほとんど していない 20.0%	無回答	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.4	1 5				— (ļ
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 10.0%	やや 高かった 40.0%	適切 であった 45.0%	やや 低かった 5.0%	非常に 低かった	無回答	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.2		10.0%	0.0%		•	_
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 25.0%	注意 していた 45.0%	ある程度 注意 していた 30.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.3	35				♦	Ī
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.2	25				♦	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.8	30				♦	

1 授業改善の工夫

認知症の方を介護していくにあたって、そもそも私たちの生活がどのように成り立っているのかを医学的視点からとらえながら 認知症を理解していくように授業展開をおこなった。

2 アンケート結果に対する見解

認知症という言葉とイメージから考えると、どうしても生活場面が大きくクローズアップされるため、医学的視点からの授業展開は、学生にとって難しいと意識させる授業だったと思われる。昨年と同様に映像資料を多く取り入れたが、それでも専門用語を詳細に確認する時間をとることができず、それが、自由記述にあらわれていたと考える。 それでも⑪が、全体平均より下回っていたのは、毎回授業後におこなったリアクションペーパーの記述や、毎回課題を提示しなかったが②、③が高かったことから、⑩の全体平均を大きく上回る結果があったからと考える。リアクションペーパーからも、学生自身が必要と感じ、分からないことを解決したいと考えていることが伺えた。 今後は、ノートをとることが目的ではないと伝えられる授業展開を考えたい。

教員名 : 吉田 裕司 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : 発達と老化の理解 科目群 : 生活未来科 生活福祉コース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	うその他	無回答
	20		_	_	20	_	-	_	_	_

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価 ⁵		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.2	0				· ·
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 10.0%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 10.0%	90分 程度 5.0%	60分 程度 40.0%	30分 程度 30.0%	ほとんど していない 15.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.2	5				
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった		やや 高かった 40.0%	適切 であった 50.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.3	0				\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	なかった	注意 していた 15.0%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった 10.0%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.0	5				>
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	3.8	0				\rightarrow
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.4	.0				•

1 授業改善の工夫

教科書、スライド、プリントに加え、学期の途中からホワイト (W) ボードや模型を用いた説明を入れた。これはプロジェクター故障による教室変更で、たまたまWボードや模型が使用可になったためだが、授業のアクセントになり効果的と思われた。練習問題は国試問題と記述 (一題) のセットで毎回出題し、理解の向上に役立てた。記述問題については、解答例を提示し各自の参考にしてもらうように工夫した。講義にはマイクを用い、欠席者にはプリントを配布する等の配慮をした。

2 アンケート結果に対する見解

授業の雰囲気は良く、私語はほとんどなかった。居眠りは見られた。授業後の勉強時間も平均を大きく上回り、学生の意欲・努力が感じられた。授業レベルは半数が「やや高い・非常に高い」の回答であった。国試の内容を中心に解説しているが、専門用語の多さや、説明の難解さの指摘を受ける。講義の至らなさを学生の授業後勉強等の努力でカバーしてもらっているのが現状で、これを少しでも改善できるよう伝え方を工夫していきたい。

<u>教</u> 員	<u>教員名 : 潮谷 光人</u> 科目名称 : 福祉行財政と福祉計画										.:	職名	ጟ :	非常	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	生活	5未来	科			
<u>科</u> 目	名和	<u></u>	:	福祉	止行	財i	攻と福	祉	計画					:	科目	群	: 生	活未来	K科 生	舌福祉	コース	専門を	女育科目
<u>授業</u>	ミコー	ード	:	172	0			_	授業	形態	2 :	講	<u>義</u>	;	受請	構者数	: :	7	名_	<u>回名</u>	者数	:	6名
							学	: 年	<u> </u>									学科•	コース				
	答者		1 [司生		215	回生		その他	4	無回答	4	-):T. / =			未来和		ネス	地域こ	ども	その化	h 4	無回答
P	引訳		1,										活福コーン			対栄養 ース	キャ	·リア ース	学和	斗	C 42 L	- N	<u>"</u> ББ
					6		-	-	_	-	_	_				_		_		6	#4+ E	- し の自己	
							音	序価 ²	頁目							教員 自己	の 評価		生の 哲平均		■ 学生	♥の日に との評値 3	
	1	勉	強し	やすい	ハ雰	囲気	えづく	りに	配慮しま	した	か。					4		4	.00				\
受講態	# ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 													30分	程度	120分 以上 -	90分 程度 16.7%	60分 程度 16.7%	30分 程度 16.7%	ほとんと していなり	い無凹谷		
度														30分	程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 16.7%	30分程度 33.3%	ほとんと していな! 6 50.0%	い無凹谷		
授	受 ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか											たか。		4		4	.33				\langle		
業内容	り (8) この極端のいがれば、労生によって適切でしたか													おか		非常に やや 高かった 高かった 16.7% 16.7%				非常に 低かった -			
授	6	学	生に	分かり	りや	すい	説明	を心	がけまし	たカ	, ,				ı	4		4	.50				
業の進め	7	授	業の	進行	を妨	うげる	5行為	にす	けして注意	きをし	_こ ていまし	した	か。		3	ある和 注意し		注意する 必要は なかった 33.3%	していた	ある程度 注意 していた 16.79	注意していなかっ	全く 注意して たいなかっ	た 無回答
方	8								授業を進							4		4	.00				\
総合証	9		生にâ すか。	fしい タ	知識	や技	術を与	え、	問題意識、	や関	心を高める	ること	ができ	たと思い	V)	4		4	.33				
評価	10	٢	の授	業は学	学生	の将	好来に	役立	こつと思い	ハまっ	すか。					5		4	.50				<u> </u>
1 1	<u> </u>	<u>哎</u>	春 02	·工 <u>夫</u>																			
2 7	マンク	ケー	一卜糸	吉果に	之文	すす	る見	解															

奈良佐保短期大学

教員名 : 街 勝憲 _____ 職名 : 非常勤 ____ 所属 : 生活未来科

科目名称 : 運動生理学 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

授業コード: 2130 _____ 授業形態: 講義 ___ 受講者数: 35名 ___ 回答者数: 32名 ___

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> + + v.						生活未来科		116-14-183		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	2	30	_		-	32	-	-	_	

			_		♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価 ^및		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.1	3				\Diamond
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分程度	60分 程度	30分 程度 37.5%	ほとんど していない 46.0%	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上	3.1% 90分 程度	12.5% 60分 程度	30分 程度	46.9% ほとんど していない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.0	9.4%	15.6%	34.4%	40.6%	-
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった		やや 高かった 53.1%	適切 であった 34.4%	,	非常に 低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	9.4%		34.4%	3.1%	_	-
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	あまり 注意して いなかった	なかった	注意 していた 18.8%	ある程度 注意 していた 31.3%	あまり 注意して いなかった 9.4 %	全く 注意して いなかった 6.3 %	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	3.9	4				\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	3.8	8				\triangleright
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.8	8				

1 授業改善の工夫

30名程度の人数に対して、講義教室が広かったこともあり、席をあらかじめ設定しておくなどして、なるべく教卓の近くに座らせた方が、講義に集中させることができたかもしれない。レポート提出の頻度を高くすることで、予習・復習をせざるを得ない状況にし、馴染みのないであろう運動に関する知識を少しでも多く習得させるよう配慮した。しかし、実際に提出されたレポートの内容は、理解不足のものが多かったので、課題の内容をもう少し具体的にする必要があったかもしれない。

2 アンケート結果に対する見解

配布資料の文字や図表については、講義スライドと同じものを使用していたため、見にくい箇所があったところは、配布資料として適切でなかったと思う。配布用に配慮して作成すればよかったと思う。しかし、可能であればノートに書き写すなどの努力を促せばよかったのではないかとも思う。浅く広くしりたかったということに対しては、浅く広く講義しつつ、ポイント毎に掘り下げた講義内容にしていたので、恐らく進行の仕方が悪かったため、講義中に飽きさせてしまったのかもしれない。進行の仕方を工夫する必要があると感じた。

科目名称 : 栄養指導論実習 I 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□						生活未来科		116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	一 地域こども 学科	その他	無回答
	37	-	1	-	-	37	_	_	ı	ı

				♦	教員の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	学生の評価 2 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.30			\langle
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 90分 以上 程度	程度	30分 程度 はていない 19.7% 56.8%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 90分 以上 程度	程度	30分 程度 はていない 27.0% 59.5%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.08	1010%		
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 10.8% 29.7%	であった 低	やや 非常に かった 低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.84			\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 13.5% 54.1%		あまり 全く 意して 注意して なかった いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.00			\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	3.89			\(\)
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.30			+

1 授業改善の工夫

全員の理解度を確認するため、2回に1回は書き込み式のテキストを提出させ、教員がチェックを行った。また、理解できていない学生は個別に呼び出し、指導を行い、理解の定着を図った。

2 アンケート結果に対する見解

前期の栄養指導論を受けての実習であったので、授業の目的は良く理解できていた。2回生の給食管理実習につなげる内容を書き込み式のテキストを使用しながら進めた。仕上がりのスピードに個人差があり、遅い学生に合わせて行った授業の際に退屈した学生が出たようである。次回からは、仕上がりの早い学生を退屈させないように、アドバンスの課題を設定することも検討したい。

<u>教</u> 員	名	: 島村	知歩				職	名 :	教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	:応用	栄養学実習	<u> </u>			<u>科</u>	<u> 目群 :</u>	生	活未来	科 食物	勿栄養	ュース]	専門教	育科目
<u>授業</u>	ギコード	: 2180		<u>授業</u>	形態 :	実習	受	講者数	:	36:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	30名
			学	年		<u> </u>			À	学科・3	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養	ビジンキャ!	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		3	27	_	_			29	コー	1		_		_	
				価項目				教員 <i>0</i> 自己評			生の i平均	1		<mark>の自己</mark> の評価 3	
	① 勉	!強しやすい!	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	.40				♦
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		ほとん。 課してい		120分 以上 -	90分 程度 3.3%	60分 程度 10.0%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 53.3%	無回答
度	③ 事	後学習や課		60分程	度	120分 以上 -	90分 程度 10.0%	60分 程度 16.7%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 33.3%	無回答				
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(と	ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	,0	5			.72				
来 内 容	⑤ C	の授業のレイ	ベルは、学生		適切 であっ		非常に 高かった 6.7%	やや 高かった 16.7%		やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答			
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	こ心がけまし	たか。			5			.47				
木の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きしていまし	<i>」たか</i> 。		注意して	いた	注意する 必要は なかった 40.0%	注意 していた 53.3%	ある程度 注意 していた 6.7 %	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_		を配慮しなか				n.,	4		4.	.47				
総合証	9 z	すか。				ることができたと見	引い	4		4.	.27				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	全立つと思い	ますか。			5		4.	.60				
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見解	<u>‡</u>											

奈良佐保短期大学

数]	名	: 島村	知歩				職:	名 : 教	授	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> [名称	:給食	実務論				<u>科</u>	目群 :	生活未	来科 食物	勿栄養:	コース]	専門教	<u>育科目</u>
<u>授業</u>	ミコード	: 2225		<u>授業</u>	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数 :	40	名_	<u>回答</u>	者数	:	36名
			学	年					学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	が木食 キ	ジネス・ヤリア	地域こ 学和		その他	無	回答
		35	1	_	_			36	-		-			_
				価項目				教員の 自己評価		生の 西平均			の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>、たか。</i>			5		1.36				
受講態	② 事	前学習や課	見題を1週当た	<u>-</u> り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 -	90分 程度 2.8%	60分 程度 16.7%	30分 程度 8.3%	ほとんど していない 72.2%	無回答
度	③ 事	後学習や課	見題を1週当た		ましたか。		60分程度	120分 以上 -	90分 程度 8.3%	60分 程度 19.4%	30分 程度 30.6%	ほとんど していない 41.7%	無回答	
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	۰,	4		1.36				•			
来 内 容	⑤ <u>C</u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り			やや 高かった	非常に 高かった 8.3%	き 高かった		やや 低かった 2.8%	非常に 低かった -	無回答	
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		1.25				•
米の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>たか</i> 。		注意している	注意する 必要は なかった 13.99	していた	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方			を配慮しなが				ш, ,	4	4	1.11				\circ
総合評	9 z	すか。				ることができたと思	200	4		1.08				_
価	10 =	の授業は学	生の将来に行	殳立つと思い	ますか。			5	4	1.56				
1 ‡	受業改	善の工夫												
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	军										

<u>教</u> 員	名	:	高尾	理樹夫				職	名 :	非常	剪	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	ŀ
<u>科</u> 目	名和	<u> </u>	公衆	衛生学				<u>科</u>	目群	: 生	活未来	內 食物	勿栄養:	コース]	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコー	-ド :	2105		授業	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	49	<u>名_</u>	回答	者数	:	43名
					年						学科•	コース				
	答者 P訳	1E	回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食	未来科物栄養 ロース	ビジキャ	11/1	地域こ 学和		その他	無	回答
			43	_		-	. 2		41		_		_		-	-
				剖	蓝価項目				教員 自己			生の 近平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉強し	やすい	雰囲気づく	のに配慮しまし	たか。			4		4	.19				\
受講態	2	事前学	習や調	関を1週当	たり平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 4.7%	60分 程度 7.0%	30分 程度 11.6%	ほとんど していない 76.7%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたが④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用します。								30分	程度	120分 以上 -	90分 程度 2.3%	60分 程度 11.6%	30分 程度 16.3%	ほとんど していない 69.8%	無回答
授業	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましましま								4		4	.19				\
来内容	5	この授美	業のレー	ベルは、学生	とにとって適り			適けであっ		非常に 高かった 9.3%		適切 であった 74.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授業	6	学生に	分かり	やすい説明	を心がけまし	たか。			4		4	.02				\rightarrow
木の進め	7	授業の	進行を	妨げる行為	に対して注意	をしていまし	<i>したか</i> 。		ある利 注意し [*]		注意する 必要は なかった 11.6%	していた	ある程度 注意 していた 11.6%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	8				がら授業を進				4	=	3	.98				>
総合証	9	字生に剃ますか。	てしい知	識や技術を与	ス、問題意識や	P関心を高める	らことができたと <i>.</i>	思い	4		3	.98				\rightarrow
評価	10	この授業	業は学	生の将来に	役立つと思い	ますか。			5		4	.21				
1 ‡	受業	<u>改善の</u>	工夫													
2 7	アンク	ケート紹	き果に かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	対する見り	解											

<u>教</u> 員	名		: 武	H	千幸					<u> 1</u>	戦名 :	講印	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名和	<u> </u>	: 社会	<u>会</u> 社	冨祉概論					<u> 1</u>	斗目群	: 生	活未3	长科 食 物	勿栄養:	コース	<u>専門教</u>	育科目
<u>授業</u>	ミコー	-ド	: 211	0		<u>授</u>	業刑	態 :	講義	ž	受講者数	:	46	名_	<u>回答</u>	者数	:	45名
					学	年						:	学科・	コース				
	答者		1回生		2回生	その化	h,	無回答	生活福祉	т —	活未来科 食物栄養	ビジ	ネス	地域こ		その他	無	回答
P	引訳								コース	٩	コース	キャ		学科	ł —			
			4	13	2		-	_	-		44		_		-	数目	- の自己	1 郵価
					割	価項目					教員 自己記			生の 町平均	1		の評価 3	
	1	勉强	癿やす	いき	雰囲気づく	のに配慮し	まし	たか。			4		4	.04				\
受講態	2	事前	方学習や	課	題を1週当7	とり平均て	ごどえ	いらい課し	ましたか。		ほとA 課してV		120分 以上 -	90分 程度 2.2%	60分 程度 4.4%	30分 程度 4.4%	ほとんど していない 88.9%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。								30分和	呈度	120分 以上 -	90分 程度 2.2%	60分 程度 4.4%	30分 程度 8.9%	ほとんど していない 84.4%	無回答		
授	4	教科	書、プリン	小、	視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	エ活用しました) , °	4		4	.13				\
業内容										非常高かい		非常に 高かった 4.4%		適切 であった 57.8%	やや 低かった 2.2%	非常に 低かった -	無回答	
授	6	学生	こに分か	りゃ	やすい説明	を心がける	ました	こか。			4			.16	01.0%	2.270		2.270
業の進め	7	授業	美の進行	を	妨げる行為	に対して泊	主意	をしていまし	たか。		注意して	ていた	注意する 必要は なかった 20.0%	していた	ある程度 注意 していた 20.0%	あまり 注意して いなかった 4.4%	全く 注意して いなかった	無回答
方	8	学生	三の理解	度	を配慮しな	がら授業を	進	めましたか。			3		4	.00			♦	
総合語	9	学生ます		知言	戦や技術を与	え、問題意	識や	関心を高める	ことができたと	思い	` 4		3	.89				Image: Control of the
評価	10	この	授業は	学生	生の将来に	役立つと	思い	ますか。			4		4	.11				\rightarrow
1 1	受業	改善	がの工力	<u> </u>														
2 7	アンク	ケー	ト結果(とう	対する見角	解												

奈良佐保短期大学

数[名	: 池内	ますみ				職/	名 : 耄	数授	<u>所</u>	禹 :	生活	未来科	<u> </u>
<u>科</u>	名称	: 食品	加工実習				<u>科</u>	目群 :	生活未	来科 食物	勿栄養	コース]	専門教育	育科目
<u>授美</u>	ミコード	: 2425		授業	形態 :	実習	<u>受</u>	講者数	: 18	3名_	<u>回答</u>	者数	:	18名
			学	年					学科•	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	が木食 っ	ごジネス キャリア コース	地域こ。 学科		その他	無	回答
		5	13	_	_	- –		13	5		-		_	_
				価項目				教員の 自己評価		生の 画平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	2強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5	4	1.33				
受講態	② 事	前学習や課	!題を1週当た	_り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 -	90分 程度 11.1%	60分 程度 11.1%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 55.6%	無回答
度	③ 事	後学習や課	!題を1週当た		30分程度	120分 以上 11.19	程度	60分 程度 22.2%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 33.3%	無回答			
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	_ ごデオなど)を、	こ活用しましたか	, .	5		1.50					
内容	\$ 5	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り		適切 であった	非常に高かった		適切 であった 72.2%	やや 低かった 5.6%	非常に 低かった -	無回答		
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	心がけまし	たか。			5		1.61				
木の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>したか</i> 。		注意する 必要は なかった	必要はなかった	していた	ある程度 注意 していた 5.6%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方			を配慮しなか				ш, ,	5	4	1.50				
総合評	9 ±	すか。				らことができたと月	思い	4		1.28				\lambda
価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。			4	4	1.71				•
1 ‡	受業改	善の工夫												
2 7	アンケー	ート結果に	対する見解	<u>军</u>										

奈良佐保短期大学

教員名 : 池内 ますみ 職名 : 教授 所属 : 生活未来科

科目名称 : 食品材料学(加工学を含む) 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

<u>授業コード: 2150 授業形態: 講義 受講者数: 52名 回答者数: 47名</u>

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k/c</i> ± <i>c</i> .						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども 学科	その他	無回答
	45	1	I	1	2	42	2	ı	-	1

				_	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.02				\langle
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 90分 程度 - 6.4	程度	30分 程度 19.1%	ほとんど していない 68.1%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 - 2.1	程度	30分 程度 31.9%	ほとんど していない 53.2%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.28				•
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やや 高かった 高かっ 6.4% 29.8	たであった		非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.13				\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 27.7% 40.4	た していた		全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.06				\circ
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.00				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.32				•

1 授業改善の工夫

・上記のことから、1回目の授業で前期の復習になるような内容を入れながら、後期の授業につなげる必要があると考える。・パワーポイントを用いて教科書の内容のまとめを示す形で授業を進めているが、理解をスムーズにするためには事前学習で該当箇所を事前に学習させることが必要である。口頭で次回の予告と食品成分を調べる課題プリントを配付しているが、教科書ページを具体的に告げて予習する必要性をしっかり伝える。

2 アンケート結果に対する見解

栄養士免許必修科目である。今年度は栄養士1回生のほか、食の6次産業化プロデューサーを目指すビジネスキャリアコースの学生に加え、交換留学生、資格取得を目指さない生活福祉コースの学生が履修することで、50名を超える授業となった。栄養士コースのカリキュラムは前期に食品科学を履修した上での授業となるが、他コース学生は履修していないため、内容を理解することが困難な部分もあると考える。また栄養士コースの学生も理解度に差がある。また、コース外の学生の中には教科書を購入していない人もあった。

<u>教</u> 員	氢名	: 池内	ますみ				職	名 :	教授	<u>} </u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> E	名称	: 食品(の官能評価	j•鑑別論			<u>科</u>	·目群 :	: 生	活未来	K科 食	物栄養	コース	専門教	育科目
授業	ミコード	: 2415		<u>授業</u>]	形態 :	演習	<u>受</u>	:講者数	:	12	名_	<u>回答</u>	者数	:	9名
			学	年			_			学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答		l .	5未来科	ビジ	ネス	地域こ		その他		回答
P	勺訳				無四 石	生活福祉コース		物栄養コース	キャ	リア	学科	¥ 			<u></u> 四合
			9		_	-		8		1		-	-tu, 😑		
				価項目				教員(自己割			生の 断平均		■ 学生	の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			4		4	.33				\langle
受講態	② 事	4前学習や課	題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 55.6%	ほとんど していない 44.4%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。							30分程	建度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 55.6%	ほとんど していない 44.4%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1		、授業の理解に	こ活用しましたか	,0	4		4	.44				♦
業内容	© >の極業のレベルは 学生によって適切でしたか							適切であっ		非常に 高かった 22.2%	高かった		やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	こ心がけまし	たか。			4		4	.56				•
未の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	íをしていまし	したか。		注意す 必要に なかっ	は	注意する 必要は なかった 44.4%	していた	ある程度 注意 していた 22.2%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	生の理解度					m.,	4		4	.50				•
総合評	9 \$	すか。				ることができたと月	思い	4		4	.33				\lambda
価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。			5		4	67				
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	<u>军</u>											

教員	名		:	坊3	安恵							_	職	名 :	講師	fi	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u>ት</u>
<u>科</u> 目	名和	<u> </u>	:	食料	経済							_	<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科 食物	勿栄養	コース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ţ コー	-ド	:	2400)		<u>授</u>	業刑	彡態 :	Ī	講義	_	受	講者数	:	38:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	27名
						学	年								;	学科・	コース				
口	答者		1 5	J. 4-	0.5	3 #-	7-01	ıLı	4H (-) /d	4				未来科	ビジ	シっ	地域こ	ども	7-00/14	Aurr.	
	可訳		115	回生	21	回生	その何	(1).	無回答	Ž,	生活さ			物栄養	キャコー	リア	学科		その他		回答
				27		_		-		-		2		25		-		_		-	_
														教員	Д	学	 生の	\		の自己 の評価	
						評	価項目							自己割			平均	1	2	3	4 5
	1	勉	強し [、]	やすい	雰囲	気づくり	に配慮し	ょし	たか。					4		4.	.11				\Q
受講態	2	事	前学	習や課	果題を	1週当た	り平均で	ごどオ	いぐらい課	まして	ましたカ	70		30分程	是度	120分 以上 22.2%	90分 程度 7.4%	60分 程度 11.1%	30分 程度 14.8%	ほとんど していない 44.4%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。								30分程	2 亩	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答					
									3077 13	比区	25.9%	11.1%	22.2%	14.8%	25.9%	_					
授業	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか								4			.93	Note I was	-	-10-250	\Q					
内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。									適り であっ		非常に高かった			やや 低かった		無回答				
授	(6)	学	生に	分かり	やすい	、説明を	心がけ	ましか	<u></u> こか。					4		14.8%	33.3% . 59	48.1%		_	3.7%
業の														ある程	!度	注意する	注意 していた	ある程度	あまり注音して	全く注意して	無回答
進め	(7)	授	業の:	進行を	妨けん	5行為(こ対して	注意	をしている	まし	たか。			注意して		必要は なかった 25.9%		注意 していた 14.8%	注意して いなかった 7.4%	いなかった -	3.7%
方									めましただ					4		3.	.74				I
総合語	9		生に親 けか。	たい知	識や技	で術を与れ	と、問題意	識や	関心を高め	める	ことがで	きたと思	() \	4		3.	.70				$ \diamondsuit $
評価	10	<u></u> 0	り授美	業は学	生の特	ទ来に 征	2立つと	思い	ますか。					4		3.	.85				\Diamond
				工夫	対す	る見角	7														

職名 : 非常勤_ 教員名 : 毛受 真由美 所属 : 生活未来科

科目名称 : 人体の構造と機能 II 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

授業コード : 2120 _ 受講者数 : 46名_ 授業形態 : 講義 回答者数 : 41名

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> /k → .						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	40	1	-	_	_	41	-	_	_	_

			_		♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価 ⁵		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.3	39				•
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 2.4%	90分 程度 -	60分 程度 9.8%	30分 程度 31.7%	ほとんど していない 56.1%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 4.9%	90分 程度 2.4%	60分 程度 14.6%	30分 程度 34.1%	ほとんど していない 43.9%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.3					
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった		やや 高かった 36.6%	適切 であった 43.9%	やや 低かった 2.4%	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.2	27				
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	なかった	注意 していた 63.4%	ある程度 注意 していた 14.6%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.3	37				\lambda
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.0)5				>
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.2	27				\lambda

_	م عد احمالا احمالا	
1	授業改業の	1 —

0		教材の改善、	指導を行う。	

2 アンケート結果に対する見解 難解に感じる学生がいる一方で、物足りなさを感じた学生もいたようだ。多くの学生に興味をもって取り組んでもらえるよう、 教材の工夫等取り組みたい。

教員名 : 三浦 さつき 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : 生化学 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

授業コード: 2135 _____ 授業形態: 講義 ___ 受講者数: 39名 ___ 回答者数: 37名

		学	年				学科•	コース		
□ kk +v.						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	37	ı	_	ı	_	36	-	_	-	1

					\diamond	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.0	03				\lambda
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態			2.7%	5.4%	8.1%	32.4%	51.4%	-
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
	o in the state of the control of	00万压火	5.4%	5.4%	10.8%	27.0%	51.4%	-
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.8	89				
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや	非常に 高かった	やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
谷		高かった	40.5%	43.2%	16.2%	-	-	-
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	3.3	32				
業の	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して	全く 注意して いなかった	無回答
進め	O IXXVEHEND STIMICATO CELEBEO CO SOICA :	Electrical Control	8.1%	70.3%	21.6%	-	-	-
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.2	27				\Diamond
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	3.4	19				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.7	76				\rightarrow

1 授業改善の工夫

生化学は、栄養に関わる生物・化学関連の用語がいろいろ出てきて、代謝の仕組みを理解するのも難しい。そのため、授業では スライドを使って説明し、毎回書き込み式のプリントを配布して、図表の重要語句を確認しながら進めた。確認テストで自己採点 して間違いを直し、さらに課題レポートとして、問題文と解答を合わせて写すように指示したことで、何度も重要語句を書きなが ら覚えられるように工夫している。

2 アンケート結果に対する見解

多くの項目で平均を下回っており、次年度は理解度への配慮等を念頭におきながら、授業を進めていきたい。ただし、学生の半数以上が予習・復習をほとんどしていないという結果も出ており、この科目では授業を集中して受講することと合わせて、授業以外での学習についても必須であることを積極的に働きかけていくことで、学生の理解が深まっていくことを期待している。スライドについては、なるべく大きいフォントを使うように心がけていたが、スライドの見にくさについての指摘もあり、今後はさらに見やすくできるように改善していきたい。

教員	名	: 坊 岁	₹恵				職	名 :	講師	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: 生化	<u>学実験</u>				<u>科</u>	目群	: 生	活未来	科 食物	勿栄養:	コース	専門教育	<u>育科目</u>
<u>授業</u>	ミコート	: 2140a	ıb	<u>授業</u>	形態 :	実習	<u>受</u>	講者数	:	41:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	39名
			学	年						学科・コ	コース				
	答者 引訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉 コース	食物	未来科物栄養ース	ビジキャコー	リア	地域こ 学科		その他	無	回答
		39	_	_	_	_		38		-		_		_	1
				価項目				教員 自己評			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 第	 	雰囲気づくり	ー に配慮しまし	たか。			4		4.	.33				\langle
受講態	2	事前学習や課		こり平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		30分程	呈度	120分 以上 23.1%	90分 程度 2.6%	60分 程度 2.6%	30分 程度 15.4%	ほとんど していない 56.4%	 無回答 _
度	3	事後学習や課	題を1週当た	こり平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		90分程	呈度	120分 以上 64.1%	90分 程度 10.3%	60分 程度 7.7%	30分 程度 5.1%	ほとんど していない 12.8%	無回答
授	④ 耄	枚科書、プリント、	視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたが),,°	5		4.	.23				<
業内容	⑤ 3	この授業のレイ	ベルは、学生	こにとって適り	刃でしたか。			やや 高かっ	•	非常に 高かった 20.5%		適切 であった 25.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	6	学生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5		3.	.67				<
未の進め	⑦ ±	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		注意して	こいた	注意する 必要は なかった 12.8%	注意 していた 59.0%	ある程度 注意 していた 25.6%	あまり 注意して いなかった 2.6%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	学生の理解度						4		3.	.92				\langle
総合証		学生に新しい知 ぎすか。	職や技術を与 <i>;</i>	え、問題意識や 	P関心を高める	ることができたと 	思い	4		3.	.82				l
評価	10 3	の授業は学	生の将来に行	受立つと思い	ますか。			4		3.	.56				\rightarrow
1 1	受業改	(善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	军											

教員	[名	:三浦	さつき				職	名 :	非常	<u>對_</u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: 生理	学実習				<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	k科 食	物栄養	コース]	<u>専門教</u>	育科目
<u>授業</u>	ミコード	: 2125		授業	形態 :	実習	<u>受</u>	講者数	:	32	<u>名</u>	回答	者数	:	27名
			学	年					:	学科•	コース				
口	答者	15 4	0급 #	7 0 114	fπ: 1=1 δ:δτ		l	未来科	ビジ	シ っ	地域こ	ども	7 0 114	/mt	
	勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		物栄養	キャコー	リア	学和		その他	無	回答
		-	27	_	_	_		27		_		-		_	-
								教員 自己割			生の 哲平均		■ 学生	の自己 の評価	平均
	① 射	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しま1	たか。			4	ГЩ		.33	1	2	3	4 5
受講		前学習や課			-	ましたか。		30分程	建度	120分 以上	90分 程度	60分程度	30分程度	ほとんどしていない	無回答
態度	③ 事	後学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程	建度	- 120分 以上	90分 程度	3.7% 60分 程度	22.2% 30分 程度	74.1% ほとんど していない	無回答
<u>₩</u>	(1) ₩	利聿 プルル	胡 脑骨粉狀()	·デオかり)た	授業の理解に	二活用しましたか	`	5			- .48	3.7%	29.6%	66.7%	-
授業内						-伯用しましたが	10	適切	П	#常に 高かった	やや	適切であった	やや 低かった	非常に低かった	無回答
容	(5) C	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	切でしたか。			であっ		18.5%		59.3%	- ILL//14-2/C	16.//+5/C	-
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4			.44				♦
不の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		注意して	こいた	注意する 必要は なかった 11.1%	していた	ある程度 注意 していた 18.5%	あまり 注意して いなかった 3.7%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	生の理解度						4		4	.33	_			\lambda
総合証		生に新しい知言 すか。	職や技術を与れ	え、問題意識や	P関心を高める	ことができたと	思い	4		4	.22	-			\Diamond
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。			4		4	.30				♦
1 ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	¥											

教員	[名	:野間	智子				職	名 :	准勢	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: ゼミナ	ールⅡ (食	と物栄養)			<u>科</u>	目群 :	: 生	活未3	<u>K科 食</u>	物栄養	コース]	<u>専門教</u>	育科目
授業	ミコード	: 3925		<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	30	名_	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	17名
			学	年					:	学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答		1	5未来科	ビジ	ネス	地域こ	ども	その他	411	回答
P	勺訳	1凹生	2凹生	- でり他 	無凹合	生活福祉コース		物栄養	キャ	リア	学和	斗	ての他	***	当合
		-	17	_	_	_		17		_		_			
			———— 評	価項目				教員 自己割			生の 西平均		■ 学生	の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	<u></u> に配慮しまl	したか。		_	4			.35		_		•
受講	② 事	前学習や課	題を1週当た	<u>-</u> り平均でど;	れぐらい課し			60分程	呈度	120分 以上 -	90分 程度 5.0%	60分 程度	30分 程度 5.9%	ほとんど していない 76.5%	無回答
態度			1月41月17日	20 H-20 18.	1- かと 1 、3田 1	11 D.X.		20 A FI	n de	- 120分 以上	5.9% 90分 程度	11.8% 60分 程度	30分程度	76.5% ほとんど していない	無回答
	③ 事	後字智や課	:題を1週当73	_9半均でと2	れぐらい課し	ましたか。		60分程	呈度	-	5.9%	11.8%		70.6%	_
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	、授業の理解に	こ活用しましたカ	,0	4			.41	No. 1 mg			•
内容	⑤ Z	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適りであっ		非常に 高かった 11.8%	高かった			非常に 低かった	無回答
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	<u></u> と心がけまし	たか。			5			.59	10.0%			
業の進	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	意をしていまし			ある程注意して		注意する 必要は なかった 47.1%	していた	していた		全く 注意して いなかった	無回答
め方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ぶら授業を進	めましたか。			5		4	.59				
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	え、問題意識や	₹関心を高める	ることができたとん	思い	5		4	.18]			†
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思V	ますか。			5		4	.41				
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	军											

科目名称 : 専門調理(製菓実習) 科目群 生活未来科食物栄養コース専門授業コード 2301 授業形態 実習 受講者数 9名 回答者数 学年 学科・コース 生活未来科 地域こどもマトリアコース サーリアコース サーリアコース コース コース コース コース コース コース コース コース コース	無回答 ご評価 4 どない 無回答 つ% - 医答
学年	無回答 一 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
回答者 内訳	□評価 ・価平均 4 ★ 無回答 0% –
回答者 1回生 2回生 その他 無回答 生活福祉 食物栄養 ビジネス キャリア 学科 コース コース	□評価 ・価平均 4 ★ 無回答 0% –
一	価平均 4 4 をない 無回答 0% − とない 無回答
評価項目 学生の 学生の 評価平均	価平均 4 4 をない 無回答 0% − とない 無回答
受講 態度 ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 ほとんど 課していない - 16.7% 33.3% 50. 程と成 程度 程度 程度 日 10.7% 33.3% 50. 日 10.7% 50.0%	だ。 無回答 20% – が、無回答
講覧 ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 課していない 16.7% 33.3% 50. ③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 ほとんど課していない 50.0% 16.7% 33. 授業内容 ④ 教科書、ブリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。 5 4.67 事業に やや 高かった 高かった 高かった 高かった 高かった 低かった 低かった 低かった 低かった 低かった 低かった 低かった 低	ない 20% - が 無回答 ない、無回答
度 ③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 ほとんど 課していない 50.0% 16.7% 33. 授業内容 ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。 5 4.67 変容 ・ 2の授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。 *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	ない、無凹谷
業内容 ⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。 *** *** *** *** *** *** *** *** *** **	
内容 ⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。 *** 高かった 高かった 高かった 高かった 高かった 高かった 33.3%	
授業のの進歩の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。 注意していた はま意 など要はなかった はままままままままます。 注意 していた はまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	
の進め方 ② 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。 注意していた ないのた は気かのた はなかのた はなかのた はなかのた はなかのた はなかのた はなかった はながった はなな はなながった はながった はなな はななな はなななな はななななな はなななな はななななななななな	•
方 ⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。 4 4.83 総合計画 (回) この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 4 4.83 10 この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 4 5.00	、 て 無回答 った
合 野 ますか。 4 4.83 評価 ① この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 4 5.00	•
価	•
	•
1 授業改善の工夫	
2 アンケート結果に対する見解	

奈良佐保短期大学

教員名: 伊藤 知子 職名 : 非常勤_ 所属 : 生活未来科

科目名称 : フードコーディネート論 科目群 : 生活未来科 食物栄養コース 専門教育科目

16名 授業コード : 2420 授業形態 : 講義 受講者数 : 回答者数 : 12名

			学	年				学科•	コース		
	 -√-						生活未来科	•	116-14-187		
回答 内i		1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
		4	8	_		_	10	2		_	_

_					\Diamond	教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平		1	■ 学生 2	の評価 3		5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33					•	
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	以上 看	度	0分 呈度	30分程度	ほとんど していない	無回答	
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90以上 租	0分 6	.3% 0分 呈度	25.0% 30分 程度	66.7% ほとんど していない	無回答	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	- 8 4.50	.3% 8	.3%	50.0%	33.3%	-	\ \ \
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	高かった 高か	ったでも	適切 あった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.42	.770 50	7.0%			- <	
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	必要はしてなかった	いたして	程度 注意 いた 3.3%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.27					\Diamond	
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.00					\langle	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.42					♦	

1 授業改善の工夫

食器・食具、テーブルコーディネートなどについて、イメージしやすくするため、写真を多く取り入れたパワーポイントを作成した。フードサービスマネジメントの収支計画については、時間をかけて教科書の演習問題をやることにより、理解を促した。授 業記録シートを作成し、その日の授業内容について短時間ではあるが、ふりかえりができるようなシステムとした。

2 アンケート結果に対する見解 設問⑨について、新しい知識や技術を得ることと同時に、これまで得た知識や経験を統合して考えられるようになることをねら いとしたが、不十分であったように思われる。次年度は、ねらいについても十分に説明し、授業を進めていきたいと考える。

教員	名	: 毛受	真由美				職	名:	非常	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> [1名称	:臨床	栄養学				<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来	科 食物	勿栄養:	コースI	專門教	育科目
<u>授</u> 筹	ミコート	: 2185		授業	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	38	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	33名
			学	年					:	学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答		1	未来科	ビジ	ネス	地域こ		その他	4111	回答
P	勺訳	1回土	2四王	CVAIR	無固合	生活福祉コース		勿栄養 ロス	キャコー	リア	学科	 	CVJIE	7/10	
		5	28	_	_	_		33		_		_	E42 100		
			評	価項目				教員 自己部			生の 近平均	1		の自己 の評価 3	
	① 免	か強しやすい?	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。			4		4	.21				\Diamond
受講態	2 4	事前学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程	是度	120分 以上 -	90分 程度 6.1 %	60分 程度 3.0%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 57.6%	無回答
度	3 4	事後学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程	是度	120分 以上 -	90分 程度 6.1%	60分 程度 3.0%	30分 程度 36.4%	ほとんど していない 54.5%	無回答
授	④ 耄	対書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を	、授業の理解に	こ活用しましただ),	5		4	.52	0.0%	00.1%	01.0%	
業内容	5 3	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	切でしたか。			適切であっ		非常に 高かった 15.2%		適切 であった 54.5%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
授	6 =	全生に分かり	やすい説明を	心がけまし	たか。			4			.55				•
業の進め	⑦ ±	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	fをしていまl	したか。		ある程注意して		注意する 必要は なかった 42.4%	注意 していた 30.3%	ある程度 注意 していた 27.3%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	_	学生の理解度						4		4	.33				•
総合		生生に新しい知言 さすか。	識や技術を与え	え、問題意識や	や関心を高める	らことができたと	思い	4		4	.27				•
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			4		4	.55				\
1 1	受業改	(善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	¥											

科目名称 : イラスト・画像処理 I 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> / <i>c</i> ± <i>c</i> .						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	3	ı	_	-	_	_	3	-	ı	-

				- ◇	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.33				\
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	3	4.33			\(\)	
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった - 33.3%			非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.33				—
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	あまり 注意して いなかった	注意する 必要は なかった 33.3% 33.3%	していた		全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.33				•
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.00				\langle
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	3.67				\rightarrow

1 授業改善の工夫

課題の進み方が	生徒によって違うため、	もっとバランスよく	(授業を進めていきたいと思う。	その為に、	得意な事・	不得意な事な
ど生徒個々の能力	まさらに見極めていきた	- し _				

2 アンケート結果に対する見解

ある程度この授業を理解し、楽しんでもらえたのではと思う。

教員名 : 吉村 司 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : オフィス実務演習Ⅱ 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

		学	年		学科・コース								
□ <i>k</i> / ₂ → .						生活未来科	•	116-14-187					
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答			
		6	-	_	_	_	5	1	_	_			

					教員	の自己	評価
	評価項目	教員の学生の自己評価評価平均		, =	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	3.67				\langle
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90g 以上 程 		30分 程度 83.3%	ほとんど していない 16.7%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90%以上 程		30分 程度 83.3%	ほとんど していない 16.7%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.33				♦
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 高かった 33.	ったであった		非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.33				•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 16.7% 33.	たしていた		全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.17				\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.00				>
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.83				•

1 授業改善の工夫

後期はロール・プレイングやワークショップを増やして、オフィス実務上起こりえる様々な課題・問題をテーマに取り上げ、学生間で議論し、自分たちで考え、気づき、解を決めていく演習を行った。さらに講義・解説においても、テーマ=授業で行ったことがビジネス現場や実社会の仕組み、配慮、最低限必要な知識、緊急・想定外な対応法、切り返し・緩和の言葉など出来る限り、オフィス実務の現場で活用出来るよう説明を加えた。

2 アンケート結果に対する見解

50%の学生が授業レベルについて「非常に高かった」と回答し「やや高かった」を加えると83.3%が「難しい授業」の印象であったと推察。総合評価前期比においても「⑨問題意識・関心」87.5%→83.4%と微減とは言え授業内容や目的において理解が難しくなった学生が出て予復習の時間も前期比で減少した。一方「教員の説明の仕方」が「分かりやすかった」が37.5%→50.0%に増加し、授業での説明・解説が功を奏した。来期は解説スライドを増やすなど授業理解を高め、さらに授業後レポートを増やして学習時間の確保に努めたい。

<u> 教員名 : 中村 妙子 </u>								名 : 孝	<u> 教授</u>		<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>
<u>科</u> 目	名称	: カラー	ーコーディネ	、一ト演習			<u>科</u>	目群 :	生活	未来和	4 ビジネ	スキャリ	アコース	専門教	育科目
授業	ミコード	: 3430		授業	形態 :	演習	受	講者数	:	28	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	26名
		学科・コース													
	答者 可訳	1回生	2回生	その他	無回答		フース キャ			7	地域こる 学科		その他	無	回答
		26	_	_	_			23	コース	3		_		_	_
評価項目) 洒		生の i平均	1		<mark>の自己</mark> の評価 3	
	① 勉	!強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>したか</i> 。			4		4.	12				\rightarrow
受講態	② 事	前学習や課	!題を1週当た		れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していな		120分 以上 . 9.2 %	90分 程度 3.8%	60分 程度 7.7%	30分 程度 7.7%	ほとんど していない 61.5%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。							30分程度	度	120分 以上 26.9%	90分 程度 7.7%	60分 程度 3.8%	30分 程度 19.2%	ほとんど していない 42.3%	無回答
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ニデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか。	D	4		3.	92				\Diamond
亲 内 容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。							やや 高かった	高	非常に かった 19.2%		適切 であった 30.8%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答 3.8%
授業	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		3.73					\rightarrow
美の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。							ある程度 注意してV	さたなが	意する 必要は かった 19.2%	注意 していた 50.0%	ある程度 注意 していた 23.1%	あまり 注意して いなかった 3.8%	全く 注意して いなかった -	無回答 3.8%
方	_		を配慮しなか					4		3.81					\Q
総合器		生に新しい知言 すか。		え、問題意識や	*関心を高める	ことができたと思	111	4	\perp	4.	00				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い	ますか。]	4		3.	85				♦
1 抄	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	星											

<u> 教員名 : 戸田 信聡</u> <u>職</u>							名 :	講師	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	生活	未来和				
<u>科</u> 目	名称	: 経営	学総論				<u>科</u>	目群 :	生	活未来	科 ビジネ	スキャリ	アコース	専門教	育科目		
<u>授業</u>	ミコード	: 3150		授業	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	28:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	25名		
			学	年				学科・コース									
	答者	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉		活未来科		ネス	地域こ		その他	無	回答		
P	勺訳	11111		Caste	WD 6	生活価値コース		物栄養	キャリアコース		学和	ŀ					
25 22								_		4		_	*** 日	<u>-</u>	- 自己評価		
評価項目								教員の 学生の 自己評価 評価平均				1			評価平均		
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5		3	.92						
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程	建度	120分 以上 8.0%	90分 程度 8.0%	60分 程度 4.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 60.0%	無回答		
度	③ 事	後学習や課	題を1调当た	-り平均でど	hぐらい課し	ましたか。		60分程	2度	120分以上	90分程度	60分程度	30分程度	ほとんど していない	無回答		
									5/2	4.0%	4.0%	8.0%	24.0%	60.0% -			
授業	(4) 教	科書、プリント、	視聴覚教材()	ビデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたが	,0	4 ৯৯		非常に	.96 **	適切	22	非常に	無回答		
内容	⑤ <u>C</u>	5) この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。							った	高かった 16.0%		であった 48.0%	低かった -	低かった 4.0%	無凹合		
授業	⑥ 学	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。								3.84					Image: Control of the		
果の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていました							注意していた		注意する 必要は なかった 40.0%	していた	ある程度 注意 していた 28.0%	あまり 注意して いなかった 8.0%	全く 注意して いなかった 8.0%	無回答		
方	_	生の理解度						5		3	.80						
総合評	9 ±	すか。				ことができたと	思い	4		3	.58				\diamond		
価	10 =	の授業は学生	生の将来に行	设立つと思V	ますか。			5		3	.72						
1 1	<u>受業改</u>	善の工夫															
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	军													

科目名称 : 経理実務Ⅱ 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□ <i>kk</i> +⁄.						生活未来科		116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	5	1	ı	_	-	-	4	_	-	2

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.17	,				· ·
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない		90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 66.7%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度		90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 66.7%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.17	,				
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	非常に 高かった	高かった高	やや iかった 33.3%	適切 であった 33.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.50)				•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	必要は なかった し	注意 ていた .6.7%	ある程度 注意 していた 16.7%	・ あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答 -
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.67	,				\lambda
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.17	7				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.67	7				\langle

1 授業改善の工夫

・学生の興味や理解度に合わせて、適宜練習問題を取り入れ知識の定着をはかった。また、毎回ワークを取り入れ、自主性の育成にも配慮した。・既学者(商業高校出身など)とそうでない者、学力差から理解度には大きな差が生じたため、レベルにあわせて個別に課題を課すなど、きめ細やかな配慮を工夫した。・今後の改善点としては、将来どのような仕事に就いても活用できるようなベースとなる知識の習得を、サポートしていくべきと思料する。・また、資格試験受験を目指す学生に関しては、個別対応にて習熟をはかるなどの対応ができれば望ましい。

2 アンケート結果に対する見解

・概ね、納得のいく評価であった。既学者と初心者で、理解度や達成度、満足度に差がでていたものの、総じてモチベーションが高い学生が多く、吸収力も高かった。・仕訳などの複式簿記の基本については、概ね理解できたと思う。テストの成績も、ばらつきはあるものの、ほぼ想像通りのものであった。

教員名 : 上田 利博 職名 : 非常勤 所属 : 生活未来科

科目名称 : ゼミナールⅡ(ビジネスキャリア) 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	5	_	-	_	_	_	5	_	_	

				♦	教員の	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 の	ク評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.40			,	•
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 90分 程度 	60分 程度 -	程度し	ほとんど ていない 60.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 90分 程度 - 20.0%	60分 程度 -	程度し	ほとんど ていない 40.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.40				•
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 20.0% -	適切 であった 80.0%		非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.60				•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 40.0% 40.0%		あまり 注意して いなかった V	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.60				\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.20				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.40				•

1 授業改善の工夫

今回の学生の授業の取り組み姿勢は、全体的に予習不足があったものの、参加意欲や平均的な授業の理解度は高く、自分の知識として蓄積されたと思われる。全体のアンケートから、事前の勉強時間が平均より少し短く、事前課題の指示の仕方が不十分であったと思われる。これらを踏まえて、今後は今年の進め方を継続するものの、事前課題等の指示を明確にし、効果的な授業を実施したいと考えている。

2 アンケート結果に対する見解

この授業は担当教員が2名の授業であった。担当により授業内容が異なったものの、学生のアンケートへの回答は結果の項目については大きなバラつきはなかったのではないかと思われる。学生主体の授業に心がけ、課題に対する発表を組み込んでいたので、学生の理解度も高まったと思われる。しかし事前・事後の勉強時間についてはバラついており、特に「ほとんどしていない」という学生がいるので今後の参考にしたい。

科目名称 : 卒業研究Ⅱ 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

<u>授業コード: 3952 授業形態: 演習 受講者数: 7名 回答者数: 6名</u>

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> ⁄ →						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	_	6	_	_	_	_	6	_	_	_

				🔷 教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	学生 1 2	E の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	3.00			\
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90分 以上 程度	60分 30分 程度 程度	ほとんど していない	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90分 以上 程度	- 66.7% 60分 30分 程度 程度	33.3% ほとんど していない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	- 16.79 2.50	8 33.3% 50.0%	_	-
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やや 高かった 高かっ 33.3% 16.79		非常に 低かった 16.7%	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	2.67	33.3//	10.770	\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 16.7% -	ある程度 あまり 注意 していた いなかっ。 33.3% 16.7%	全く 注意して といなかった 33.3%	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	2.83			\(\)
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	2.33			\rightarrow
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	2.50			\

1 授業改善の工夫

卒業研究の意義について、更に説明を多くしていきたいと思います。また個別フォローも更に加えていきたいと思います。

2 アンケート結果に対する見解

ビジネスキャリアコースの卒業研究は必修ではありませんが、ビジネスキャリアコース短期大学士の学位の水準で、課題設定、根拠(アンケート調査orインタビュー調査)、考察(主張・提案)といったビジネスの卒業論文として、最低限のプロセスを踏んだものでなければならないようにしています。 実際に会社に入社してみると、思いつきだけのビジネス提案が簡単に評価・採用されることはなかなかありません。自分で研究課題を考え、調べたデータに基づいてアイデアを形にし、自分なりに説得力をつけてまとめないといけません。今年の2回生は基礎知識のない状態で、大変だったと思います。特に今まで自分で考えること、書くことをして来なかった何人かの学生は戸惑ったかもしれません。 しかし、今回就職活動をしっかりして各企業に進路を決めて卒業していく学生たちは、会社に入社してからも必要な能力ということに気づき、研究の進め方がわかってくると、最後には高いモチベーションで取り組んで卒論提出・発表をしてくれました。来年も学生のモチベーションを考えながら粘り強く指導していきたいと思います。 ただ、授業の初期段階では、卒業研究で必要とされる要素と、会社で必要とされる能力との関係、卒業研究の意義についての説明を多くしていきたいと思います。また考えるのが苦手なタイプの学生が何人かいますので個別フォローも多くしていきたいともいます。更に、仕上げ段階、発表練習の大変な段階については、ビジネスキャリアコースの先生で分担して励まし、個別指導を多くしていきたいと考えます。

教員	名	: 坊 岁	き恵			職	名 :	講印	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>	
<u>科</u> 目	名称	: 地域	舌性化論_				<u>科</u>	目群 :	生	活未来	科 ビジネ	スキャリ	アコース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコード	: 3310		授業	形態 :	講義	<u>受</u>	講者数	:	9	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	8名
			学	年						学科•	コース				
口	答者	1回件	加州	このは	無同然			未来科	ビジ	シ フ	地域こ	ども	その他	Aur.	同炊
P	勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		勿栄養 ロス	キャコー	リア	学科		ての他		回答
		3	5	-	_	_		2		6		-			
			平	価項目				教員 自己割			生の 町平均	1		しかり 自己評価 との評価平均 3 4	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5		3	.88				
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程	建度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 25.0%	30分 程度 25.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答
度	③ 事	後学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程	度	120分 以上	90分 程度	60分程度	30分程度	ほとんど していない	無回答
										_	12.5%	25.0%	12.5%	50.0%	-
授業	4 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ビデオなど)を、 	ご活用しましたか	,0	4		非常に	.88 **	適切	44	非常に	\(\rightarrow\)	
内容	⑤ <u>C</u>	の授業のレイ	ベルは、学生			高かった高かった高かった			高かった	であった 37.5%		低かった	無回答		
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4 4.13							\Diamond
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		注意す 必要に なかっ	は	注意する 必要は なかった 50.0%	していた	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった 12.5%	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ぶら授業を進	めましたか。			4							\Diamond
総合		生に新しい知ま すか。	識や技術を与れ	え、問題意識々	P関心を高める	ことができたと	思い	4		3	.38				\rightarrow
評価	10 =	の授業は学	生の将来に征	殳立つと思V	ますか。			4		3	.50				\rightarrow
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	军											

奈良佐保短期大学

教具	名	: 古海		職	名 :	教授	ŧ	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	ł			
<u>科</u> 目	名称	: デー	タベース				<u>科</u>	目群 :	: 生	活未来和	4 ビジネ	スキャリ	アコース	専門教	育科目
<u>授美</u>	ミコート	: 3220		<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	6:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	4名
			学	年					:	学科・コ	ュース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養ース	ビジキャコー	リア	地域こ。 学科	<u> </u>	その他	無	回答
		-	4	_	-			_		4		_			_
			評	価項目				教員 自己割			生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	か強しやすい?	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		3.	50				\langle
受講態	② 事	4前学習や課	!題を1週当た	り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答
度	③ 事	4後学習や課	!題を1週当た	り平均でどえ		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答		
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材()	70	2			50		\Q					
木内容	⑤ <u> </u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り		高かった		非常に 高かった 75.0%	やや 高かった 25.0%	適切 であった -	_	非常に 低かった -	無回答		
授業	⑥ 等	生生に分かり	やすい説明を	心がけまし	たか。			4			25				
不の進め	⑦ 挎	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>したか</i> 。		注意して	いた	注意する 必要は なかった	注意 していた 50.0%		あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった	無回答
方			を配慮しなか				ш.,	4		3.	75				\rightarrow
総合評	9 1	すか。				らことができたと.	四(,	4			50				\Diamond
価	10 =	の授業は学	生の将来に往	<u> </u>	ますか。			4		3.	00				\Diamond
1 ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見解	<u> </u>											

奈良佐保短期大学

教員	名	: 吉村		職	名 : 非常	常勤_	<u>所</u>	属 :	生活	未来和	¥			
<u>科</u> 目	名利	ケ : ビジ	ネス文書				<u>科</u>	目群 : 生	活未来	4 ビジネ	ベスキャリ	アコース	専門教	(育科目
授業	ミコー	-ド : 3134	1	授業	<u> </u>	講義	<u>受</u>	講者数 :	5:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	5名
			学	年					学科・コ	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	シネス	地域こ		その他	fff:	回答
ď	引訳	1144		CONE	WE1.E	生活福祉コース		m 未食 ハース キャ	リアース	学科	ŀ	C 42 E	,,,,,	
		Ę	5 -	_	_	-		-	5		_	±1. □		_ ====================================
			評	価項目				教員の 自己評価		生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉強しやすい	*雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4.	20				\
受講態	2	事前学習や記	果題を1週当た	こり平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 20.0%	30分 程度 40.0%	ほとんど していない 40.0%	無回答
度	3	事後学習や記	果題を1週当た	こり平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 80.0%	ほとんど していない 20.0%	無回答
授業	4	教科書、プリント	、視聴覚教材(ビデオなど)を	授業の理解に	こ活用しましたカ	, 0	4	4.	60				\
未内容	5	この授業のレ	ベルは、学生	こにとって適り	切でしたか。		やや 高かった	非常に 高かった 20.0%	やや 高かった -	適切 であった 80.0%	やや 低かった -	_	無回答	
授業	6	学生に分かり	やすい説明る	を心がけまし	たか。			4	4.	60				\
木の進め	7	授業の進行を	を妨げる行為に	こ対して注意	きしていまし	したか。		ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 40.0%	注意 していた 40.0%	ある程度 注意 していた 20.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方)	学生の理解						4	4.	60				•
総合証	9)	学生に新しい失 ますか。				らことができたと/ 	思い	4	4.	60				♦
評価	10	この授業は学	生の将来に	役立つと思い	ますか。			4	4.	60				\limits
1 ‡	受業	改善の工夫												
2 7	マング	ケート結果に	二対する見角	军										

教員	名	:古海	忍			職:	名 : 教持	爱	<u>所</u>	禹 :	生活	未来和	<u> </u>	
<u>科</u> 目	名称	: ホーノ	ムページ作	成			<u>科</u>	目群 : 生	活未来	4 ビジネ	スキャリ	アコース	専門教	育科目
<u>授業</u>	ミコード	: 3230		<u>授業</u>	形態 :	演習	受	講者数 :	9:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	8名
			学	年					学科•	コース				
口	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ネス	地域こ	ども	その他	4111-	回答
P	引訳	1凹生	2凹生	てり他	無凹谷	生活福祉コース		が木食 キャ	リアース	学科	ļ	てりが	***	凹谷
		3	5	_	_	_		3	5		-		-	-
			評	価項目			Î	教員の 自己評価		生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	3.	75				\rightarrow
受講態	② 事	4前学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 12.5%	30分 程度 25.0%	ほとんど していない 62.5%	無回答
度	③ 事	び学習や課	題を1週当た	り平均でど	hぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 12.5%	30分 程度 37.5%	ほとんど していない 50.0%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	0	4	4.	25	1210%	0110%	33.0%	\
業内容	⑤ C	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	切でしたか。		適切 であった	非常に 高かった 37.5% 37.5%			やや 低かった	非常に 低かった -	無回答	
授	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	心がけまし	たか。			4	4.63					•
業の進せ	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>、たか</i> 。		注意していた	注意する 必要は なかった	注意 していた 75.0%	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
め方	_	生の理解度						4	4.	25				\
総合	9 芽	生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	え、問題意識や	♥関心を高める	ことができたと思	い	4	3.	50				\rightarrow
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			4	3.	63				\rightarrow
1 1	受業改	善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	F										

科目名称 : ホスピタリティ論 科目群 : 生活未来科 ビジネスキャリアコース 専門教育科目

			学	年				学科•	コース		
	. [生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	Î	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
		7		_	_	_	2	5	_	_	_

			_		♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生 評価		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.1	L 4				\rightarrow
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 -	90分 程度 57.1%	60分 程度 -	30分 程度 28.6%	ほとんど していない 14.3%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 以上 14.3%	90分 程度 28.6%	60分 程度 -	30分 程度 42.9%	ほとんど していない 14.3%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.8	36				
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に 高かった 14.3%	やや 高かった 14.3%	適切 であった 71.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.8	36				
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 57.1%	注意 していた 42.9%	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.8	36				\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.4	13				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.8	36				\langle

1 授業改義の工夫

ホスピタリティを知るために、ホテル業界、テーマパーク、エアライン等馴染みがある題材を取り上げた。また、日本の伝統的なイベントや海外のおもてなしにも目を向けるようにパワーポイント資料を使用して全員参加型授業体系(アクティブラーニング)を実施した。

2 アンケート結果に対する見解

身近な題材から「自分だったらどう対処しておくか」など常に考えることができたと感じている。また、中間・期末のレポートに関して、書き方を統一化して、それを踏まえて自分が調べたことを必ずプレゼンテーションを実施するようにしたので、有意義な授業を展開できたと思う。

教員	名	: 安田	寛			職	名 : 非常	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	<u>地域</u>	こども	<u> 学科</u>	
科目	名称	:音楽	科教育法				<u>科</u>	目群 : 地	域こと	も学科	専門	教育科	∤目	
授業	ギコード	: 5303	5	<u>授業</u>	膨態 :	講義	受	講者数 :	10:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	9名
			学	年					学科・3	ュース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科 勿栄養 サママ キャ		地域この学科	ŀ	その他	無「	回答
		9	_	_	_	_		-	_		8	#4.E	_ 	1 ∌⊯ (π:
			評	価項目				教員の 自己評価		生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5	4.	11				
受講態	② 事	す前学習や課	!題を1週当た	り平均でどれ	っぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 66.7%	無回答
度	3 事	4後学習や課	!題を1週当た	り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 11.1%	30分 程度 11.1%	ほとんど していない 77.8%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	、視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	, .	1	3.	33	•			
業内容	\$ 3	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。			やや 高かった	非常に 高かった 11.1%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 33.3%	やや 低かった 22.2%	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけました	たか。			5	3.	22				
来の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	だしていまし	<i>た</i> か。		注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 33.3%	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった 11.1%	全く 注意して いなかった 11.1%	無回答
方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。			5	3.	33				\
総合		生に新しい知 すか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	>関心を高める	ことができたと	思い	5	3.	44				\ \{\
評価	10 =	の授業は学	生の将来に征	设立つと思い	ますか。			5	3.	89				1 4
<u>1 ‡</u>	受業改	善の工夫												
2 2	アンケー	ート結果に	対する見角	4										

<u>教員</u>	名_		:吉田	直子					職	名 :	講卸	fi	<u>所</u>	禹 :	地域	こども生	<u>学科</u>
<u>科目</u>	名和	<u> </u>	: 音楽	基礎演	習Ⅱ	(ソルフェ	ージュ)		<u>科</u>	目群 :	: 地	域こと	も学科	専門	教育科	目	
<u>授業</u>	ţ コー	-ド	: 5541	L0bb∙bc		授業	形態 :	演習	受	講者数	:	55:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	49名
					学	年		T				学科・コ	コース				
	答者 引訳		1回生	2回生		その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養ース	ビジキャコー	ネスリア	地域こ。 学科		その他	無	回答
			49	9	-	_	_	_		-		-		48		-	1
					評	価項目				教員 自己評			生の i平均	1		<mark>の自己</mark> の評価 3	
	1	勉	強しやすい	ッ雰囲気~	づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	49				♦
受講態	2	事	前学習や調	果題を1週]当た	り平均でどれ	hぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してV		120分 以上 14.3%	90分 程度 6.1%	60分 程度 24.5%	30分 程度 34.7%	ほとんど していない 20.4%	無回答
度	3	事	後学習や記	果題を1逓]当た	り平均でどえ	hぐらい課し	ましたか。		30分程	建度	120分 以上 16.3%	90分 程度 8.2%	60分 程度 24.5%	30分 程度 32.7%	ほとんど していない 18.4%	無回答
授	4	教科	4書、プリント	、視聴覚教	対(と	ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	٠,	5			61	_			
業内容	(5)	<i></i>)授業のレ	ベルは、	学生	にとって適り	刃でしたか。			やや 高かっ		非常に 高かった 4.1%	やや 高かった 38.8%	適切 であった 53.1%	やや 低かった 2.0%	非常に 低かった 2.0%	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。						4			35		_	_	•			
業の進め	7	授	業の進行を	を妨げる行	う 為に	ニ対して注意	をしていまし	<i>た</i> か。		注意して	いた	注意する 必要は なかった 24.5%	注意 していた 44.9%	ある程度 注意 していた 28.6%	あまり 注意して いなかった 2.0%	全く 注意して いなかった	無回答
め方	8						めましたか。			4		4.	22				\
総合	9	学生ます		口識や技術	を与え	と、問題意識や	♥関心を高める	ことができたと見	思い	4		4.	39				•
評価	10	<u>_</u> 0)授業は学	生生の将来	をに 名	设立つと思い	ますか。			5		4.	71			<u> </u>	
1 担	受業	改善	り 一大	•													
2 7	マング	ケー	ト結果に	対する	見解	F											

奈良佐保短期大学

教員名 : 中島 倍代 職名 : 非常勤 所属: 地域こども学科

科目名称 : 音楽基礎演習Ⅱ(理論) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 55410aa·ad·ba·bd 授業形態 : 演習 <u> 受講者数 :</u> 55名 回答者数 : 49名

		学	年				学科•	コース		
□ \&\ \dag{\dag{\dag{\dag{\dag{\dag{\dag{						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	49	-	_	-	_	_	-	49	-	-

_				, ◊	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.35				\rightarrow
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 8.2% -	60分 程度 10.2%	30分 程度 34.7%	ほとんど していない 46.9%	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 8.2% -	60分 程度 10.2%	30分 程度	ほとんど していない 46.9%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.55	10.2%	34.7%	40.9%	-
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やや 高かった 高かった 16.3% 30.6%		やや 低かった 2.0%	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.43	021010	1		•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 38.8% 30.69	していた	あまり 注意して いなかった 2.0%	全く 注意して いなかった	無回答 2.0%
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.53				
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.33				
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.67				•

1 授業改善の工夫

今年度も 色々してみた。毎回、ノート提出、添削、やり直し、提出。ノートに書くという実習、リズム打ちや視唱など身体を 使っての実習。その結果、次年度は 色んなアプローチを徹底しようと思う。

2 アンケート結果に対する見解 授業をよく理解している人、あまり理解出来ていない人、こちらがした質問に答える人、理解出来ていなくても意思表示をしない人など、様々なタイプの人がいる。全員が充分理解するのは難しい。自由記述欄を読んで今以上に、もっと個人個人にアプローチを細やかにしないといけないと感じている。

教員	名	: 奥田	尚子				職名	: 非常	常勤_	<u>所</u>	禹 :	<u>地域</u>	こども言	<u>学科</u>
<u>科</u> 目	名称	:音楽	П				科目郡	羊 : 地	域こと	も学科	専門	教育科	<u>- 目</u>	
授美	ミュード	: 5530	5bb	授業刑	彡態 :	演習	受講者	新 :	5:	<u>名</u>	回答	者数	<u>:</u>	4名
				年		Γ			学科•=	ュース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答		食物栄	来科 :養 ビジ キャ	ネス・リア	地域こ		その他	無	回答
	名称 : 音楽Ⅱ			_	_									
			評	価項目									の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5	4.	75				
受講態	2 事	前学習や課	題を1週当た	:り平均でどれ	いぐらい課し	ましたか。	6	0分程度	以上	程度	程度	30分 程度 75.0%	ほとんど していない -	無回答
度	3 事	4後学習や課	題を1週当た	:り平均でどれ	いぐらい課し	ましたか。	30	0分程度	以上		程度	30分 程度 75.0%	ほとんど していない 25.0%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	に活用しましたか。)	5	4.	50				
業内容	(5) C	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	『でしたか。)-		高かった	高かった	であった	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生生に分かり	やすい説明を	心がけました	たか。			5	4.	75				
来の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>た</i> か。		必要は		していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学	学年 1回生 2回生 その他 1回生 2回生 その他 4		めましたか。			5	4.	75					
総合			識や技術を与え	と、問題意識や	関心を高める	ことができたと思	(1)	4	4.	75				♦
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。			5	4.	75				
			対する見解	Ž										

教員名 : 玉井 奈摘 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科

科目名称 : 音楽Ⅱ 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 55305ad·cc 授業形態 : 演習 受講者数 : 12名 回答者数 : 12名

		学	年				学科•	コース		
□						生活未来科		116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	12	-	_	_	-	_	-	12	_	_

	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	◆ 教員の目己評価 学生の評価平均 1 2 3 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.33	•
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度	120分 90分 以上 程度	60分 30分 ほとんど 無回答 程度 程度 していない 無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度	41.7% 8.3% 120分 90分 以上 程度	16.7% 25.0% 8.3% - 60分 30分 ほとんど 無回答 程度 していない
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	41.7% 8.3% 4.92	16.7% 25.0% 8.3% -
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 16.7% 25.0%	適切 やや 非常に 無回答 低かった 低かった
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.83	00.0%
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 58.3% 25.0%	ある程度 おまり 全く 注意して
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.75	•
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.75	•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00	

1 授業改善の工夫

前半は音楽Iからの続きということもあり読譜が出来ているかの確認から入ったが、理解度に個人差があり、拍子とリズム・音符の高さと鍵盤の位置等、新しい課題へと進めながら丁寧に復習した。後半は発表会へ向けて「表現すること」に重点を置いて指導した。強弱の幅や店舗の正確性等は自身では気付き難い為、録音するなどして客観的に自分の演奏をじっくりと聴いてもらう時間を持ちたい。

2 アンケート結果に対する見解

① ⑦個人レッスンの為、私語や居眠りはなかったが、遅刻・楽譜忘れ・爪が伸びている(マニキュア含む)決まった学生に何度か見られ、注意していた。多くの学生は問題なかった。 ② ③大半の学生が前回のレッスンで注意したところをきちんと直したり、課題達成のために練習をしていた。いつも同じ学生が予習・復習をしてこないこともあり、レッスン内で練習・次の課題曲の譜読みを一緒に行う状態で少ない時間の中で困難な状況であった。この点については今後も粘り強く指導していきたい。 ⑤音楽 Π はグレード3から(バイエル60番以上)となる為、初心者がこの辺りで更に難しくなったと感じることが多い様に思うが、個人的にはそれまでの課題を理解し、練習していれば適切であると感じている。 ⑦全15回のレッスン(発表会を除けば14回)で、大体何回目のレッスンではどの曲を合格していないと困難な状況になるかを考えず、計画性のない学生が少なからずいる。ゆとりのあるレッスンができるよう指導していきたい。 ⑫一人当たりのレッスン時間は決められており延長することはできないが、もう少しレッスン時間が長ければという声はよく聞かれた。

松目の白コ萩畑

教員	名	:中島	倍代				職/	名:	非常	勤_	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	<u>学科</u>
<u>科</u> 目	名称	:音楽	П				<u>科</u>	目群 :	地	域こと	も学科	• 専門	教育科	- 目	
授業	ミコー	F : 5530	5aa•be•cd	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	<u> </u>	:	17:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	17名
			学	年					:	学科・コ	コース				
	答者 引訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科を大きる。	ビジキャコー	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		16	1	-	_	_		_		-		16		_	1
			評	価項目				教員 自己割			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 9	勉強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	41				\langle
受講態	2 1	事前学習や課	!題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		60分程	建度	120分 以上 5.9%	90分 程度 -	60分 程度 29.4%	30分 程度 41.2%	ほとんど していない 23.5%	無回答
度	3 =	事後学習や課	!題を1週当た	_り平均でど	hぐらい課し	ましたか。		-		120分 以上 5.9%	90分 程度 5.9%	60分 程度 23.5%	30分 程度 41.2%	ほとんど していない 23.5%	無回答
授業	④ 孝	数科書、プリント、	、視聴覚教材()	ごデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましただ) ₇ °	5		4.	65				(
未内容	⑤	この授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			やや 高かっ		非常に 高かった 23.5%		適切 であった 58.8%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	6	学生に分かり	やすい説明を	たか。			4			00				•	
水の進め	⑦ ‡	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きしていまし	したか。		注意す 必要に なかっ	は	注意する 必要は なかった 82.4%	注意 していた 17.6%	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	学生の理解度					m.	4		4.	88				•
総合評	9) ;	学生に新しい知 ますか。				ことかできたと	思い	4		4.	.59				•
価	10 3	この授業は学	生の将来に行	安立つと思V	ますか。			5		4.	65				<u> </u>
1 1	受業改	女善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	4											

<u>教</u> 員	名	:本間	晶子				職/	名 : 非	常勤	<u>所</u>	属 :	地域	こども	<u>学科</u>
<u>科</u> 目	名称	:音楽	П				<u>科</u>	目群 :	地域こ	ども学科	┡門	教育和	目	
<u>授業</u>	ミコート	: 55305	5ab•ce	<u>授業</u>	形態 :	演習	受	講者数	: 12	2名_	<u>回答</u>	者数	:	12名
			学	年					学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉		未来科 勿栄養	ごジネス	地域こ	ども	その他	無	回答
P	勺訳		1111	C 17 E	,	生価値位		ース ー *	キャリアコース	学科	ł	C -> C	7.50	
		12	-	_	_	-		-			12	数目	<u>-</u> の自己	
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 画平均			の評価 3	
	① 兔	か強しやすい?	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>た</i> か。			4	4	1.58				\
受講態	② 事	事前学習や課	題を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		90分程度	120分 以上 8.3%	程度	60分 程度 41.7%	30分 程度 33.3%	ほとんど していない 8.3%	無回答
度	③ 事	手後学習や課	題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		60分程度	120分 以上	90分程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
									8.3%		41.7%	25.0%	16.7%	-
授業力	④ 教	(科書、ソリント、	視腮見教材 (し	ニアオなと)を、	, 授業の埋解に	2活用しましたか	,0	5	非常に		適切	44	非常に	無回答
内容	5 3	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			やや 高かった	高かった 16.79			低かった -	低かった	
授業	⑥ 第	生生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5	4	1.42				
未の進め	⑦ 挖	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	えをしていまし	<i>た</i> か。		注意する 必要は なかった	必要はなかった	していた	ある程度 注意 していた 8.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	生の理解度						5	4	1.58				
総合証	9 ま	生に新しい知識すか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	P関心を高める	ことができたと見	思い	4	4	1.50				♦
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			4	4	1.75				\
1 1	受業改	善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	4										

教員名 : 宮田 眞理 職名 : 非常勤 所属: 地域こども学科

科目名称 : 音楽Ⅱ 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 55305bd·cb 授業形態 : 演習 <u> 受講者数 :</u> 10名 回答者数 : 10名

		学	年				学科•	コース		
□ \&\ \dag{\dag{\dag{\dag{\dag{\dag{\dag{						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	10	-	_	_	_	_	-	9	_	1

					教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.40				\
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 90分 以上 程序	程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態			10.0% 10.0	0% 10.0%	50.0%	20.0%	-
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	120分以上	120分 90分 以上 程序		30分 程度	ほとんど していない	無回答
			10.0% 10.0	0% 20.0%	50.0%	10.0%	-
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.40				\ \
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やら 高かった 高かっ		やや 低かった	非常に 低かった	無回答
容		じめつに	- 10.0	90.0%	-	-	_
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.50				•
業の進	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 50.0% 20.0	た していた	注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
め方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.56				-
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.40				\lambda
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.30				

1 授業改善の工夫

ピアノは予習、復習ができていないとなかなか課題の達成は難しい。少しでも予習がしやすくなるように譜読みや演奏のポイン ト等を的確に指導したい。 時間の経過と共に、個々の学生の課題に取り組む姿勢にばらつきが出てくるので、常に学生が前向き に取り組めるよう気を配りたい。

2 アンケート結果に対する見解 アンケートでは課した宿題の予習・復習時間をいつも重視しているが、なかなか期待している時間には達していない。自発的に ピアノ練習に取り組めるよう、授業の工夫をしたいと思う。

科目名称 : 音楽Ⅱ 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 55305ac・bc 授業形態 : 演習 受講者数 : 11名 回答者数 : 11名

		学	年				学科•	コース		
□						生活未来科		116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	10	-	_	1	-	_	-	10	_	1

					♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生(評価平		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.36	6				•
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度	以上	90分 程度 9.1%	60分 程度 27.3%	30分 程度 45.5%	ほとんど していない -	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度	120分	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	18.2% 1 4.27	18.2% 7	18.2%	36.4%	9.1%	-
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	高かった。高	やや あかった 27.3%	適切 であった 63.6%	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.73		03.0%	_		•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	必要はなかったし	注意 ていた 36.4%	ある程度 注意 していた 18.2%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.73	3				♦
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.45	5				•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.82	2				\

1 授業改善の工夫

ピアノの演奏技術の向上のために必要な事前事後の練習時間を十分に取って、学生が意欲を持ち取り組んでいくように指導していきたい。次の授業までの目標をより具体的に示し、努力したことへの達成感を得られるように工夫する。家庭での事前事後レッスンの環境は、学生一人一人異なるのでそれに応じた効果的なアドバイスをしていきたい。

2 アンケート結果に対する見解

今回の「学生による授業アンケート」の結果は、これまでに比べて一週間あたりの事前事後のレッスン時間が全体に短くなっている。演奏技術の向上は、授業でのレッスンに向けて日々練習を積み重ねることによるものが大きい。総合的には、学生は関心が高くなり自分の将来に役立つと考えたようなので、さらに日々の練習時間を取って演奏技術を向上させていくように授業内容を考えたい。

教員	名	: 吉田	直子				<u> </u>	<u>師</u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	<u>学科</u>
<u>科</u> 目	名称	:音楽	П				科目群 : :	地域こと	も学科	専門	教育科	目	
<u>授業</u>	ミコード	: 55309	ba•ca	授業刑	珍態 :	演習	受講者数 :	11:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	10名
			学	年		<u> </u>		学科•3	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答		マース キ		地域この学科		その他	無	回答
		10	_	-	_	_	-	-		10			_
			評	価項目			教員の 自己評価		生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	2強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。		4	4.	.70				\
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	いぐらい課し	ましたか。	120分以上	120分 以上 30.0%	90分 程度 30.0%	60分 程度 10.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 10.0%	無回答
度	③ 事	び後学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	いぐらい課し	ましたか。	120分以上	120分 以上 30.0%	90分 程度 40.0%	60分 程度 -	30分 程度 30.0%	ほとんど していない -	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材()	ごデオなど)を、	授業の理解に	5	4.	.80					
業内容	\$ 3	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	切でしたか。	やや 高かった	非常に 高かった 10.0%		適切 であった 70.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	心がけました	たか。		4	4.	.40				\
業の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 50.0%	注意 していた 30.0%	ある程度 注意 していた 20.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。		4	4.	.70				\
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	え、問題意識や	関心を高める	ことができたと思	4	4.	.60				♦
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	ひ立つと思い	ますか。		5	4.	.80				
		一ト結果に	対する見解	¥									

教員	名	: 玉井	<u> 奈摘</u>		職/	名 :	非常	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	<u>地域</u>	こども	<u>学科</u>		
<u>科</u> 目	名称	: 音楽	<u>IV</u>				<u>科</u>	目群	: 地	域こど	も学科	専門	教育和	目	
授業	ミコート	: 5532	5a	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	<u>講者数</u>	:	5/	<u>各</u>	<u>回答</u>	<u>者数</u>	:	4名
			学	年					:	学科•=	ュース				
	答者 P訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養ース	ビジキャコー	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		_	4	_	_			-		-		4		_	_
				価項目				教員 自己評		学生 評価	生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	が強しやすい:	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	75				\
受講態	② 事	事前学習や課	関を1週当た	り平均でどえ	hぐらい課し	ましたか。		120分点	以上	120分 以上 75.0%	90分 程度 -	60分 程度 25.0%	30分 程度 —	ほとんど していない -	無回答
度	3 4	事後学習や課	具題を1週当た		120分具	以上	120分 以上 75.0%	90分 程度 -	60分 程度 25.0%	30分 程度 -	ほとんど していない -	無回答			
授	④ 耄	対書、プリント、	、視聴覚教材(1	٠.	5		5.	00							
業内容	\$ 3	の授業のレー	ベルは、学生		やや 高かっ		非常に 高かった 25.0%	やや 高かった 25.0%		やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答			
授業	6 5	生に分かり	やすい説明を	心がけまし	たか。			4		5.	00				\
来の進め	⑦ B	受業の進行を	妨げる行為に	<i>た</i> か。		注意して	こいた	注意する 必要は なかった 75.0%	注意 していた 25.0%	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答		
方	_		を配慮しなか					4		5.	00				\
総合語		生に新しい知 さすか。	識や技術を与え	た、問題意識や	P関心を高める	ことができたと思	まい	4		5.	00			-	\
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。			5		5.	00				
		一ト結果に	対する見解	2											

教員名 : 本間 晶子 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科

科目名称 : 音楽IV 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

<u>授業コード : 55325ab 授業形態 : 演習 受講者数 : 5名 回答者数 : 4名</u>

			学	年				学科•	コース		
							生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳		1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
		-	4	_	-	_	_	-	3	_	1

					\diamond	教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生(評価平		1	■ 学生 2	: の評価 3		5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.75	5				\langle]
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度		90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
態			50.0%	25.0%	25.0%	-	_	-	
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度		90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
			50.0%	25.0%	25.0%	-	_	_	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.75	5				(þ
業内	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや		やや 高かった	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答	Ī
容		高かった	25.0% 2	25.0%	50.0%	-	_	_	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.75	5				(Ş
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった		注意 ていた -	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.75	5				(Ş
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.75	5				♦	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.75	5				\	

1 授業改善の工夫

この授業はピアノが好きで上手くなりたい、という学生が受講しているケースが多いので、比較的充実した内容となる。ただ、 授業も後半時期になると、他の課題で忙しかったり、単位は足りていてもう要らないから試験は受けないと言い出したり、少々意 気の下がる学生も出現した。最後までモチベーションを維持する工夫はないものか。最後のピアノ実技試験に向けて盛り上がれる ような工夫を考えたい。連弾などのアンサンブルを課題に加えるなども一考かと考える。

2 アンケート結果に対する見解

もともとピアノ実技に積極的な学生が受講しているので、アンケートも程良い結果が出ていると思う。

<u>教</u>	名	: 宮田	眞理		職/	名 :	非常	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	<u>地域</u>	こども	<u>学科</u>		
<u>科</u> 目	名称	: 音楽	<u>IV</u>				<u>科</u>	目群 :	: 地	域こど	も学科	専門	教育和	目	
授業	ミコード	5532	5ad	授業刑	形態 :	演習	<u>受</u>	<u>講者数</u>	:	3/	<u>名</u>	<u>回答</u>	<u>者数</u>	:	2名
			学	年		I			:	学科・3	ュース				
	答者 P訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養ース	ビジキャコー	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		_	2	_	_			_		-		2			-
				価項目				教員 自己割		学 評価	生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	2強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5		5.	00				
受講態	② 事	前学習や課	!題を1週当た	り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		120分以	以上	120分 以上 100.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない -	無回答
度	③ 事	後学習や課	!題を1週当た	り平均でどえ		120分以	以上	120分 以上 100.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない -	無回答		
授業	④ 教	科書、プリント、	、視聴覚教材(E	,	5		5.	00							
来内容	(5) Z	の授業のレー	ベルは、学生		適り であっ		非常に 高かった -	やや 高かった -	適切 であった 100.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答			
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	こ心がけまし	たか。			5		5.	00				
未の進め	⑦ 授	· 業の進行を	妨げる行為に	したか。		注意す 必要 なかっ	は	注意する 必要は なかった 100.0%	注意 していた -	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答		
方	_		を配慮しなか					5		5.	00				
総合語		生に新しい知言か。	識や技術を与え	え、問題意識や	P関心を高める	ことができたと	思い	4		5.	00				\
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。			5		5.	00				
		善の工夫	対する見解	¥											

教員	名	:和田					職/	<u> </u>	常勤_	<u>所</u>	禹 :	<u>地域</u>	こども	<u>学科</u>
科目	名称	: 音楽	<u>IV</u>				<u>科</u>]群 : 地	地域こと	も学科	専門	教育和	∤目	
授業	ミコード	: 5532	5ac	授業	珍態 :	演習	<u>受</u>	構者数 :	6:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	5名
			学	年					学科・コ	ュース				
	答者 可訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科 7栄養 ドジ キャ		地域こぞ科		その他	無	回答
		_	5	_	_	_		-	_		5			
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	2強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4.	20				\
受講態	② 事	前学習や課	県題を1週当た	り平均でどれ	パらい課し	ましたか。		60分程度	120分 以上 60.0%	90分 程度 -	60分 程度 20.0%	30分 程度 20.0%	ほとんど していない -	無回答
度	③ 事	び後学習や課	県題を1週当た	り平均でどれ	パらい課し		30分程度	120分 以上 40.0%	90分 程度 40.0%	60分 程度 -	30分 程度 20.0%	ほとんど していない -	無回答	
授	④ 教	科書、プリント、	、視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	, .	4	4.	20				\rightarrow	
業内容	⑤ <u></u>	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り		適切 であった	非常に 高かった 40.0%	やや 高かった -	適切 であった 60.0%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答		
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	心がけました	たか。			4	4.	60				\langle
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		あまり 注意して いなかった	注意する 必要は なかった 100.0%	注意 していた -	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	_		を配慮しなか					4	4.	80				\
総合	9 ま	生に新しい知 すか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	*関心を高める	らことができたと	思い	5	4.	20				
評価	10	の授業は学	生の将来に征	设立つと思い	ますか。			5	4.	60				— <
1 担	受業改	善の工夫												
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	¥										

無回答
無回答
無回答
1
1
)自己評価)評価平均 3 4 8
まとんど 無回答 22.5% -
ほとんど 無回答
30.0% -
非常に無回答
低かった 無回答
全く生意して無回答

教員	名	: 増井	啓子		職	名 :	教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	<u> 学科</u>		
科目	名称	:教育	実習指導a				<u>科</u>	目群 :	地	域こど	も学科	専門	教育和	目	
<u>授業</u>	ニート	: 57103	3	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	49/	<u> </u>	<u>回答</u>	者数	:	48名
			学	年						学科・コ	ュース				
	答者 引訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養ース	ビジ	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		47	ı	_	1	_		_	コー			47			1
			評	価項目				教員(自己評		学生 評価		♦	■学生	の自己の評価	平均
	① \$	放強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しま	たか			4	Щ		<u>∞</u> 56	1	2	3	4
受講態		手前学習や課			-	ましたか。		60分程	度	120分 以上 8.3%	90分 程度 6.3%	60分 程度 18.8%	30分 程度 18.8%	ほとんど していない 47.9%	無回答
度	③ 事	手後学習や課		60分程	度	120分 以上 10.4%	90分 程度 6.3%	60分 程度 18.8%	30分 程度 18.8%	ほとんど していない 45.8%	無回答				
授	授 ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。									4.	71				
業内容	5 3	の授業のレイ		適 切 であっ		非常に 高かった 22.9%	やや 高かった 20.8%	適切 であった 56.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答				
授業	⑥ 労	生生に分かり	やすい説明を	を心がけまし	たか。			5		4.	65				
来の進め	⑦ 挎	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	えをしていまし	したか。		注意して	いた	注意する 必要は なかった 22.9%	注意 していた 60.4 %	ある程度 注意 していた 16.7%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	生の理解度						5		4.	65				
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与	え、問題意識や	や関心を高める	ることができたと. 	思い	4		4.	67				♦
評価	10 3	の授業は学	生の将来に行	设立つと思V	ますか。			5		4.	81				
1 #	受棄攻	善の工夫													
2 7	マンケ	ート結果に	対する見角	军											

教員	全	: 杉山	晋平			職/	名 :	講師	fi	<u>所</u>	属 :	地域	こども	<u> 学科</u>	
<u>科</u> 目	1名称	: 教育	実習指導(/	小)b			<u>科</u>	目群 :	: 地	域こと	も学科	- 専門	教育科	目	
<u>授業</u>	ミコード	: 57151	1	授業	形態 :	演習	<u>受</u> i	講者数	:	10:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	9名
			学	年						学科・コ	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科を栄養して	ビジキャ	リア	地域こ 学科		その他	無	回答
		9	_	_	_			_		-		9		_	-
				価項目				教員(自己評			生の f平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	か強しやすい かんしゅん	雰囲気づくり	に配慮しまし				5		4.	.67				
受講態	2 事	事前学習や課	題を1週当た	こり平均でどれ	れぐらい課し	いましたか。		120分以	以上	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 22.2%	30分 程度 55.6%	ほとんど していない 11.1%	無回答
度	3 事	写後学習や課	題を1週当た	こり平均でどれ		120分以	以上	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 22.2%	30分 程度 55.6%	ほとんど していない 11.1%	無回答		
授業	④ 教	対書、プリント、	視聴覚教材()	ビデオなど)を、	170	5		5.	.00						
来内容	5 =	の授業のレイ	ベルは、学生	こにとって適り		やや 高かっ	•	非常に 高かった 11.1%		適切 であった 11.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答		
授業	⑥ 学	生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。		\Box	5			.00				
米の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	ぽをしていまl 	したか。		注意す 必要/ なかっ	は	注意する 必要は なかった 44.4%	注意 していた 55.6%	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方		生の理解度						5		5.	.00				
総合証		生に新しい知言すか。	戦や技術を与え 	え、問題意識や	₽関心を高める	ることができたとん	思い	4		4.	.89				♦
評価	10 =	の授業は学	生の将来に行	殳立つと思い	ますか。			5		5.	.00				
1 ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	異											

奈良佐保短期大学

<u>教</u> 員	<u> </u>	: 杉山	晋平				戦名 :	講師	<u>î</u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こどもき	<u>学科</u>
<u>科</u> 目	1名称	: 教育	方法の理論	と実践		<u></u>	斗目群 :	地	域こと	も学科	· 専門	教育科	·目	
授業		· : 5410	lab	授業	形態 :	講義	受講者数	:	57:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	53名
				年				Ē	学科・:	ュース				
	答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉 食	活未来科	ビジンキャリコー	リア	地域こ 学科	-	その他	無	回答
		_	52	_	1	_	_				50			3
				価項目			教員 0 自己評			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	 	雰囲気づくり	に配慮しまし	したか。 		4		4.	.40				♦
受講態	② 事	事前学習や課	!題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し	ょしたか。	ほとん。課してい		120分 以上 5.7%	90分 程度 3.8%	60分 程度 3.8%	30分 程度 15.1%	ほとんど していない 71.7%	無回答
度	③ 事	事後学習や課	!題を1週当た		れぐらい課し	ましたか。	ほとん。課してい		120分 以上 5.7%	90分 程度 3.8%	60分 程度 3.8%	30分 程度 18.9%	ほとんど していない 67.9%	無回答
授	④ 教	対書、プリント、	視聴覚教材(t	 ビデオなど)を、	授業の理解に	に活用しましたか。	4		4.	.48				<u> </u>
業内容	5 3	この授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。		おかっ		非常に 高かった 17.0%	やや 高かった 17.0%		やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 芎	学生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。		4		4.	.73				\
業の進め	⑦ B	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意		したか。	ある程度注意して		注意する 必要は なかった 52.8%	注意 していた 32.1%	ある程度 注意 していた 11.3%	あまり 注意して いなかった 1.9%	全く 注意して いなかった -	無回答 1.9%
方		学生の理解度					4		4.	.67				\
総合語		生に新しい知 さすか。	識や技術を与え	え、問題意識や	学関心を高める	ることができたと思い	3		4.	.40			\langle	
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い 	ますか。		4		4.	.58				♦
1 ‡	受業改	(善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	星										

<u>教</u> 員	名	:増井	啓子	職	名 : 🤻	教授		<u>所</u>	禹 :	地域	こども言	学科			
<u>科</u> 目	名称	: 教職	実践演習(<u>幼·小)</u>			<u>科</u>	目群 :	地址	或こど	も学科	· 専門	教育和	目	
<u>授業</u>	ミコート	: 5430	1	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	524	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	49名
			学	年					学	△科•□	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉		未来科	ビジネ	;z	地域こ	Ŀも .	その他	無	回答
P	勺訳					コース		ース	キャリコー		学科				
		1	45	2	1	_		_		_		44	数昌	2 の自己	3 評価
			評	価項目				教員の 自己評価			生の 平均	1		の評価 3	
	① 兔	並強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	24				•
受講態	② 事	耳前学習や課	!題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程原	度	120分 以上 4.1%	90分 程度 2.0%	60分 程度 6.1%	30分 程度 4.1%	ほとんど していない 83.7%	無回答
度	③ 事	耳後学習や課	!題を1週当た	<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程原	度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
授	④ 剗	が科書 プリント	視聴覚教材(t	,	5	-	4.1%	2.0% 24	8.2%	6.1%	79.6%	-			
業内			ベルは、学生	0	適切	ř	非常に 高かった	44	適切 であった	やや 低かった	非常に低かった	無回答			
容					であった	Ž	12.2%	26.5%	61.2%	-	-	_			
授業の	⑥ 与	生に分かり	やすい説明を	<u></u>	ردي. موري:			5	Ž	注音する	29	ある程度	あまり	全く注意して	無回答
の進め	⑦ B	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>たか</i> 。		注意してい		必要は なかった 24.5%	していた 57.1%	注意 していた 16.3%	注意して いなかった -	注意して いなかった -	2.0%
方	ردر		を配慮しなか			5ことができたと見	Hı.	5		4.	27				
総合評	9 1	すか。)	±, ∧	4			18				
価	10 3	の授業は学	生の将来に往	安立つと思い 	ますか。			5		4.	43				
1 1	受業改	養の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	星											

科目名称 : 国語科教育法 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード: 53010 _____ 授業形態: 講義 ___ 受講者数: 10名 __ 回答者数: 10名

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> ⁄~ ±⁄.						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	10	-	_	-	_	_	-	10	_	1

					\Q		の自己	
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平		1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.50					•
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度		0分 呈度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
態			10.0% 10	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	-
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	90分程度		0分 呈度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
	•		10.0% 10	0.0%	20.0%	50.0%	10.0%	-
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	5.00					
業内	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや		さや うった ・	適切 であった	やや 低かった	非常に 低かった	無回答
容	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	高かった	20.0% 70	0.0%	10.0%	_	_	-
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	5.00					\
業の	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は		注意で	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
進め	O DONE SIZETY ENSTRUMENTS CHARGES CONTROLLING	なかった		0.0%	-	-	-	-
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	5.00					\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.80					•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00					\

1 授業改善の工夫

初めて経験する専門教科の授業は、戸惑いのあるところである。しかしながら、今日求められている学修内容の水準維持は図られなければならない。今後とも、高等学校までの学習経験を生かすとともに、教科書に掲載されている作品や学習指導案等の具体物を用いたり、質疑応答の時間を確保したり、授業を振り返る時間を設定したりするなどして、分かる授業に努めたい。また、次回に用いる資料を事前に配布し、事前学習の充実を図りたい。

2 アンケート結果に対する見解

学生の受講態度は概ねよく、授業の妨げになるような行為は見られなかった。本学に入学し大学生になったとはいえ、大学での学び方全般について、あるいは特色を有する専門科目への取組み方についての理解が不十分な学生が見受けられる。授業科目が過密な中、目新しいことが増える一方で、その理解と対応に戸惑っている学生に対する手立てが必要である。そこで、これまで授業の受け方やレポート対策、授業内容のまとめ方などについて指導してきた。引き続き、困り感を有している学生の負担感の軽減につながる助言や支援に努める必要がある。

教員	名	: 須谷	和子				職	名 :	非常	勤_	<u>所</u>	禹 :	地域	こども言	学科
<u>科</u> 目	名称	: こども	の食と栄養				<u>科</u>	<u> 目群 :</u>	地	域こど	も学科	· 専門	教育科	目	
<u>授業</u>	ミコート	· : 5213	1ab	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	57/	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	51名
			学	年						学科・コ	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ビジ	ネス	地域こ	ども	その他	4m:	回答
ď	勺訳			CVAIR	<u> </u>	生活福祉コース		勿栄養 ロス	キャコー	リア リア	学科		CVIE	2001	□.Đ.
		_	50		1	_		-		-		48	₩. 🗆	<u>-</u>	3
			評	価項目				教員の 自己評			生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 第	边強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	20				\Diamond
受講態	2	事前学習や調	果題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとん。 課してい		120分 以上 7.8%	90分 程度 2.0%	60分 程度 5.9%	30分 程度 5.9%	ほとんど していない 78.4%	無回答
度	3	事後学習や調	果題を1週当た	ましたか。		ほとんど 以上 課していない 7.8%			90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答		
授	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しました ④ 教科書、ブリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用し							7.8% 2.0 5 4.47			2.0%	5.9%	9.8%	74.5%	-
業内					0	適切		非常に やや		適切 であった	やや 低かった	非常に低かった	無回答		
容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。							であっ		高かった 高かった 21.6% 25.5%		52.9%	-	- -	_
授業	6	学生に分かり	やすい説明を	心がけまし	たか。			4			35				
の進め	⑦ ±	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		注意して	いた	注意する 必要は なかった 29.4%	注意 していた 52.9%	ある程度 注意 していた 17.6%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_		を配慮しなか					4		4.	29				•
総合評	9 3	ミ すか。				ことができたと	思い	4		4.	20				
価	10 3	上の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			4		4.	51				•
1 1	受業改	を 番の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に													

教員	名	: 北村	麻樹				職名 :	講印	j <u> </u>	<u>所</u>	禹 :	<u>地域</u>	こども	<u>学科</u>
<u>科</u> 目	名称	:在宅	保育論				科目群	: 地	域こと	も学科	専門	教育科	目	
<u>授業</u>	ミコード	: 53319	5	授業刑	珍態 :	講義	受講者数	:	17:	<u>名</u>	回答	者数	<u>:</u>	11名
			学	左		<u> </u>			学科・3	フ <u>ー</u> フ				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答		活未来科 食物栄養 コース		ネスリア	ュース 地域こ。 学科		その他	無	回答
		_	11	_	-		-		-		11		_	
			評	価項目			教員 自己割			生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。		4		4.	45				♦
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	:り平均でどれ	1ぐらい課し	ましたか。	ほとん 課してV		120分 以上 9.1%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 18.2%	ほとんど していない 72.7%	無回答
度	③ 事	び後学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	1ぐらい課し	ましたか。	ほとん 課してV		120分 以上 9.1%	90分 程度 -	60分 程度 9.1%	30分 程度 18.2%	ほとんど していない 63.6%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(と	ごデオなど)を、	授業の理解に	に活用しましたか。	4		4.	73				♦
業内容	5	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	りでしたか。		適りであっ		非常に 高かった 27.3%	やや 高かった 9.1%	適切 であった 63.6%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	心がけました	たか。		4		4.	55				•
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。	ある程注意して		注意する 必要は なかった 36.4%	注意 していた 45.5%	ある程度 注意 していた 18.2%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。		4		4.	45				•
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	と、問題意識や	関心を高める	ことができたと思	4		4.	45				♦
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。		4		4.	64				•
		善の工夫												
2	アンケー	一ト結果に	対する見解	<u>¥</u>										
Ì														

教員名 : 重松 敬一 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科

科目名称 : 算数科教育法 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k⁄</i> → .						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	8	-	1	-	_	_	-	8	ı	-

		_		_ ◇ 教員の自己評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	学生の評価平均 1 2 3 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.50	
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 30分 ほとんど 無回答 4程度 程度 していない 一 12.5% 62.5% 25.0% -
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90分 以上 程度	60分 程度 30分 程度 ほとんど していない 無回答 12.5% 50.0% 37.5% -
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	5.00	
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やや 高かった 高かった 25.0% 50.0%	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.88	•
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 37.5% 37.5%	していた いなかったいなかった
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.88	
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.75	•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00	

1 授業改善の工夫

社会人入学や社会人入学でない学生にとっても、学習方略を十分習得せず、座学や理解・記憶中心の学びの態度が大きいこともあったが、算数科教育の身近な実践に興味・関心と問題意識をもたせ、自ら活動するように講義中に教科書の調べ学習等を課し、学生同士で小学校教員としての意識で物事を考え、議論し、探究したりするなどの具体的な活動を促すように授業の改善を図った。

2 アンケート結果に対する見解

授業者の期待する算数科教育法への学びの達成と学生の実感した学びの内容には、説明の方法や工夫だけでは限界があるようなので、学生の意識できる算数科教育の具体的な状況や課題を手がかりに、具体的な学習内容と、学習方法としての調べ学習や探究学習、受講生同士の対話のある学びの環境作りに一層心がけてきた。それでも、学生の諸活動の多忙さのためか、講義後の自学的な学びの取組の増加にはつながりにくかった。

科目名称 : 社会的養護 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 51061ab 授業形態 : 講義 受講者数 : 75名 回答者数 : 66名

		学	年				学科•	コース		
□						生活未来科		116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	65	-	1	1	-	_	_	65	ı	1

				\ \ \	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.05				\
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 - 1.5%	60分 程度 6.1%	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 75.8%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 - 3.0%	60分 程度	30分 程度 15.2%	ほとんど していない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.97	4.5%	15.2%	11.5%	
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かっ: 16.7% 36.4°			非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	3.56	0 12.1%	1.0%		\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 16.7% 36.4	していた		全く 注意して いなかった 1.5%	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	3.80				\Q
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	3.62				\rightarrow
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.83				

1 授業改善の工夫

授業レジメを作成し、前回の授業の振り返り、授業の質問・意見の回答を、授業の前に再度確認している。授業は教科書について説明したあと穴埋めで重要語句を確認している。穴埋めの語句はあえて板書せず、教科書で確認させている。また、授業の終わりに子どもの発達に関わる絵本を朗読して、授業終了後、授業で深まったこと、分からなかったこととともに感想と学びを記載させている。適宜、教科書の関連分野の新聞記事を配布して、幅広い知識の習得に努めている。

2 アンケート結果に対する見解

毎回授業のあとに、「今日の授業で深まったこと、分からなかったこと」の記載をするように要請しているので、日々学生との意見交換ができていると思っている。出された見解については、授業に対する貴重な意見として受けとめて更に授業改善を工夫していきたい。また、そのことが未来の日本を担う子どもの成長・発達に寄り添う職に就く優秀な人材の育成に繋がることを認識したい。また、講師間の連携も深めて個々の学生の対応もきめ細かく対応したい。

<u>教員</u>	名	: 李 仙	山恵				職:	<u>名 :</u>	非常	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こども生	学科
<u>科</u> E	名称	:障害	者福祉				<u>科</u>	目群 :	: 地	域こど	も学科	専門	教育科	目	
<u>授業</u>	ミコード	: 51020	0	授業刑	形態 :	講義	受	講者数	:	12:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	10名
			学	年		Τ				学科・コ	フーフ				
回	答者						生活	未来科			地域こ	レ は、			
	分訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		勿栄養 ロス	ビジーキャ	リア	学科		その他	無	回答
		_	10	_	_	- 1		-				8		_	1
								教員			生の	♦		の自己 の評価	
			рТІ				_	自己割	平価	評価	i平均	1	2	3	4 5
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4			.70				♦
受講態	② 事	前学習や課	!題を1週当た	:り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		-		120分 以上 30.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 20.0%	ほとんど していない 50.0%	無回答
度	③ 事	 「後学習や課	題を1週当た		ーーーー れぐらい課し		T	30分程	星度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
							4			20.0%	-	-	30.0%	50.0%	_
授業	4) 教	科書、プリント、	視聴覚教材(と	ごデオなど)を、 	授業の理解に	こ活用しましたか。	0	5		4. 非常に	.70 **	適切	44	非常に	
内容	⑤ <u>C</u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。			適切であっ		高かった 30.0%			低かった	低かった	無回答
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	こ心がけました	たか。			4		4.	.70				•
業の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		ある程注意して		注意する 必要は なかった 40.0%	注意 していた 30.0%	ある程度 注意 していた 20.0%	あまり 注意して いなかった 10.0%	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学	生の理解度	を配慮しなか	ら授業を進	めましたか。			4		4.	.70				•
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	ご、問題意識や	*関心を高める	ることができたと思	まい	4		4.	.60				♦
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	建立つと思い	ますか。			4		4.	.70				\langle
	- NO -1	** 1.													
	<u>X</u> **\(\frac{1}{2}\)	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見解	<u>‡</u>											

教員	名	: 安永	龍子				職	名 :	教授	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	地域	こどもき	学科
科目	名称	: 小児(保健B				<u>科</u>	目群 :	: 地	域こど	も学科	┡ 専門	教育科	目	
<u>授業</u>	ミコー	· : 52110	Dab	授業	形態 :	講義	受	講者数	:	65	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	45名
			学	年					<u>,</u>	学科・3	コース				
	答者 可訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養	ビジキャ	リア	地域こ 学科		その他	無	回答
		45	_	_	_	_		_		-		44		-	1
			評	価項目				教員 自己割			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	1) 9	勉強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	09				\rightarrow
受講態	2	事前学習や課	題を1週当た	こり平均でどえ	hぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.7%	30分 程度 13.3%	ほとんど していない 80.0%	無回答
度	3	事後学習や課	題を1週当た	こり平均でどえ	hぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 6.7%	30分 程度 15.6%	ほとんど していない 77.8%	無回答
授	④ *	数科書、プリント、	視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	,0	4		4.	49				•
業内容	⑤ 3	この授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。			適り であっ		非常に 高かった 8.9%	やや 高かった 33.3%	適切 であった 57.8%	_	非常に 低かった -	無回答
授業	6	学生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		4.	22				•
未の進め	⑦ ±	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きしていまし	したか。		注意して	いた	注意する 必要は なかった 11.1%	注意 していた 64.4%	ある程度 注意 していた 24.4%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	学生の理解度						3		4.	24			\	
総合間		学生に新しい知 ますか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	P関心を高める	うことが <i>できたと</i> 。	思い	3		4.	00			\langle	
評価	10 3	の授業は学	生の将来に行	设立つと思V	ますか。			4		4.	33				♦
<u>1</u>	受業改	弦善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	4											

奈良佐保短期大学

100

科目名称 : 図工科教育法 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
						生活未来科	•	116-14-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	10		_	_	_	_	-	10	_	

				, ◊	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.60				· ·
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 90分 程度 - 10.0%	60分 程度 -	30分 程度 30.0%	ほとんど していない 60.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 以上 90分 程度 - 10.0%	60分 程度 -	30分 程度 30.0%	ほとんど していない 60.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.90				¢
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 10.0% 20.0%			非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.90				Ç
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 70.0% 20.0%	していた	注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.90				¢
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.90				•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	5.00				· ·

1 授業改善の工夫

図工科教育法の指導における大切な事を講義や知識だけを教えるのではなく、実際にまず学生が体験する事で実感させる事がより求められると思った。ただ表現活動するのではなく、クラスの仲間と協力して授業を進める事、対話や全体のディスカッションが大切であった。今後は、指導案や模擬授業づくりをどのように計画し実施するか、教材研究の時間など15回の中で組み立てるか、その工夫が必要である事が分かった。

2 アンケート結果に対する見解

受講者数が10名だったので、学生一人ひとりの発言回数が増え、活気のある授業となった事がアンケートに反映されたのかもしれない。中でも、10名の学生の中でリーダー的存在がクラスのムードや意欲を盛り上げていたように思う。学生の学ぶ意欲や教師志望の熱い意欲のある学生が入学してくれる事、又、入学してからのモチベーションを上げる学生指導を学内全体で取り組む事の大切さを感じた。

教員名 : 小幡 肇 ______ 職名 : 非常勤 ____ 所属 : 地域こども学科

科目名称 : 生活科教育法 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード: 53030 _____ 授業形態: 講義 ___ 受講者数: 10名 __ 回答者数: 9名

回答者 内訳	学 年				学科・コース						
		2回生	その他	無回答	生活未来科			116-14-183			
	1回生				生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答	
	9	-	ı		-	_	-	9	_	_	

		_	◇ 教員の自己評価					
評価項目			学生の 評価平均		■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5	
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.67					
態 _	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度 11.1% -		30分 程度 55.6%	ほとんど していない 11.1%	無回答	
	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度 11.1% -	60分	30分 程度	ほとんど していない 22.2%	無回答	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	5.00	22.270	44.470	22.270	•	
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やや 高かった 高かった	たであった	,	非常に 低かった	無回答	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	11.1% 33.3 4.89	% 55.6%	55.6%			
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 66.7% 33.3	た していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.78				\	
総合	合 ⁽⁹⁾ ますか。		4.78				♦	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.89				•	

1 授業改善の工夫

第一に、学生が主体的に取り組むことを目ざして、教科書使用頁を予習しワークシートに記入することや、課外で球根を育て、球根に話しかけたことを記録する等の授業を工夫しました。第二に、双六を制作して遊んだり、グループ面接時の方法を取り入れたディスカッションを行ったりして対話的で深い学びを生み出す授業改善に取り組みました。第三に、学生が日常生活で見かける人になりきってロールプレイを行い、表現活動と言語活動を学ぶことができるようにしました。

2 アンケート結果に対する見解

学生の高い数値をいただいている背景の一つめは、今年で最後となることへの配慮が大きいかとうかがえます。二つめは、グループワークを多く取り入れ、活動を通して学ぶことが学生の楽しさを生み出したと考えます。逆に、「指導案をしっかりと書きたかった」と指摘があるように、授業計画に指導案作成にかかえる比重が少なかったことは大きな反省材料であると考えます。今後の課題としたいです。

教員	名	: 増井					職:	名 :	教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こども言	学科
<u>科</u> E	名称	: ゼミナ	└ール I (音	<u>î楽)</u>			<u>科</u>	目群 :	地	域こと	も学科	· 専門	教育科	目	
授業	ミコート	: 56100)a	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	14:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	11名
				年						学科・コ	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答		食物	未来科物栄養ース	ビジキャコー	リア	地域こる 学科		その他	無	回答
		10	1		_	_		_				11		Ξ	
				価項目				教員(自己割			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	か強しやすい?	雰囲気づくり	に配慮しまし	<i>」たか。</i>			4		4.	.45				\langle
受講態	② 事	手前学習や課	題を1週当た		 れぐらい課し	ましたか。		30分程	建度	120分 以上 27.3%	90分 程度 -	60分 程度 18.2%	30分 程度 18.2%	ほとんど していない 36.4%	無回答
度	③ 事	耳後学習や課	題を1週当た	_ _り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		30分程	達	120分 以上 27.3%	90分 程度 -	60分 程度 18.2%	30分 程度 18.2%	ほとんど していない 36.4%	無回答
授業	④ 教	対書、プリント、	視聴覚教材(1	_ ごデオなど)を、	, 授業の理解に	,	4			.45				•	
来 内 容	⑤ 乙	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			やや 高かっ		非常に 高かった -	やや 高かった 9.1%	適切 であった 90.9%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 等	生生に分かりゃ	やすい説明を	と心がけまし	たか。		┙	5			.73				
米の進め	⑦ 挖	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	きしていまし	<i>」たか</i> 。		注意して	いた	注意する 必要は なかった 36.4%	注意 していた 45.5%	ある程度 注意 していた 18.2%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	生の理解度						5		4.	.55				
総合証	9 1	すか。				ることができたと思	, 11 i	4		4.	.55				\Q
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思い 	ますか。			5		4.	.64				
1 技	受業改	善の工夫					_								
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	星											

教員	名	:別所	崇				<u>職</u>	名:	講印	fi	<u>所</u>	禹 :		こども言	<u> </u>
科目	名称	: ゼミナ	トール I (心	」と発達)			<u>科</u>	·目群 :	地	域こど	も学科	専門	教育和	目	
授業	ミコー]	ド : 5610	0b	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	7:	<u>名</u>	<u>回答</u>	<u>者数</u>	:	6名
			学	年					;	学科・コ	コース				
	答者 习訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食	を表来科 物栄養 コース	ビジキャ	小 へ	地域こ 学科		その他	無	回答
		6	_	_	_	_		-		-		6		_	_
			評	価項目				教員(自己割			生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 9	勉強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	50				\rightarrow
受講態	2 =	事前学習や課	関を1週当 た	こり平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとん 課してい		120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 100.0%	無回答
度	3 1	事後学習や課	関を1週当た		ほとん 課してい	どない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 83.3%	無回答			
授業	④ 孝	数科書、プリント、	、視聴覚教材(),	1		4.	33	\Diamond						
米内容	5 3	この授業のレー	ベルは、学生		適 切 であっ		非常に 高かった -	やや 高かった 16.7%	適切 であった 83.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答			
授業	6	学生に分かり	やすい説明る	を心がけまし	たか。			5		4.	67				
への進め	⑦ ł	受業の進行を	妨げる行為は	こ対して注意	fをしていま!	したか。		注意して	いた	注意する 必要は なかった	注意 していた 66.7%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	学生の理解度						3		4.	50			\langle	
総合語		学生に新しい知 ますか。	識や技術を与.	え、問題意識や	P関心を高める	らことができたと 	思い	4		4.	17				
評価	10 3	この授業は学	生の将来に	役立つと思い	ますか。			5		4.	67				
<u>1</u> ‡	受業改	女善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	军											
1															

教員	名	: 杉山	晋平				職/	名:	講師		<u>所</u>	属 :	地域	こども	学科
<u>科</u> 目	名称	: ゼミナ	ール I (こ	ども教育)			<u>科</u>	目群 :	地	域こど	も学科	┣ 専門	教育和	目	
授業	ミコード	: 5610	0f	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	<u> </u>	:	10=	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	9名
			学	年					=	学科・=	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科が栄養してス	ビジネキャリコー	ア	地域こ 学科		その他	無	回答
		9	-	_	_	_		_		-		8		_	1
			評	価項目				教員の 自己評			生の i平均			の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし				5		4.	.56				
受講態	② 事	事前学習や課	!題を1週当た	上り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		60分程	度	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 33.3%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 33.3%	無回答
度	③ 事	4後学習や課	!題を1週当た	_り平均でど		60分程	度	120分 以上 11.1%	90分 程度 -	60分 程度 33.3%	30分 程度 22.2%	ほとんど していない 33.3%	無回答		
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材()	ごデオなど)を	こ活用しましたか	,°	5		4.	.89					
業内容	(5) C	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り		やや 高かっ?		非常に 高かった 55.6%		適切 であった -	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答		
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5		4.	.89				
未の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		注意する 必要は なかった	ţ	注意する 必要は なかった 77.8%	していた	ある程度 注意 していた 11.1%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	,	生の理解度				· = 1 .) % de & .) . [5		4.	.89				
総合証	9 _‡	すか。				ことができたと	思い	4		5.	.00				\
評価	10 =	の授業は学	生の将来に行	设立つと思V	ますか。			5		5.	.00				
<u>1</u> ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	4											

教員	名	: -	占海	忍				職	名 : 教	授	<u>所</u>	属 :	地域	こども	<u>学科</u>
科目	名利	<u>ቱ : ተ</u>	ビミナ	ール I(自	然と遊び)			<u>科</u>	目群 : :	地域こど	も学科	専門	教育科	目	
授業	ミコー	·ド : 5	6100)d	<u>授業</u>	杉態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	9:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	6名
				学	年					学科•	コース				
	答者 引訳	1回	生	2回生	その他	無回答	生活福祉	食物	勿木食 ょ	ジネスャリア	地域こ 学科		その他	無	回答
			6	_	_	_	コース	7	<u> </u>			6		_	_
			<u> </u>		l		l					• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	教員	の自己	評価
				評	価項目				教員の 自己評価		生の 平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	1	勉強しや	すい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4.	50				•
受講態	2	事前学習	や課	題を1週当7	こり平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 16.7%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 66.7%	無回答
度	3	事後学習	や課	題を1週当力	こり平均でど	1ぐらい課し		ほとんど 課していない	120分 以上 16.7%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 16.7%	ほとんど していない 66.7%	無回答	
授	4	教科書、プ	リント、	視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	, .	1	4.	17	\				
業内容	(5)	この授業の	のレ^	ベルは、学生	こにとって適り	刀でしたか。		適切 であった	非常に 高かった 33.3%	やや 高かった -	適切 であった 66.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授	6	学生に分	かりや	やすい説明	を心がけまし	たか。			4	4.	67				•
業の進め	7	授業の進	行を妨	妨げる行為	に対して注意	をしていまし	たか。		注意していた	注意する 必要は なかった 50.0%	注意 していた 16.7%	ある程度 注意 していた 33.3%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	_				がら授業を進				4	4.	33				•
総合		学生に新し ますか。	い知証	畿や技術を与	え、問題意識や	·関心を高める	ことができたと	思い	3	4.	50			\langle	
評価	10	この授業	は学生	生の将来に	役立つと思い	ますか。			4	4.	83				♦
1 ‡	受業	改善のコ													
2 7	マング	ァート結り	果に	対する見角	裈										

教員名 : 大高 千明・杉島 尚徳 職名 : 非常勤 所属: 地域こども学科 : ゼミナール I (スポーツ) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目 科目名称 授業コード : 56100c 回答者数 : 授業形態 : 演習 <u> 受講者数</u> : 19名 15名 学科・コース 学 年 生活未来科 地域こども 回答者 ビジネス 1回生 2回生 その他 無回答 その他 無回答 食物栄養 生活福祉 学科 内訳 キャリア コース コース 15 15 0 教員の自己評価 ■ 学生の評価平均 教員の 学生の 評価項目 自己評価 評価平均 3 1 4 ① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。 4 4.80 120分 ほとんど していない 無回答 ほとんど ② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 講 課していない 80.0% 6.7% 13.3% 態 度 120分 無回答 ほとんど ③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。 課していなり 6.7% 13.3% 80.0% 授 ④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。 4.73 業 非常に 適切 非常に 無回答 内 GG. 高かった であった 低かった 低かった ⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。 容 高かった 6.7% 93.3% 授 ⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。 4 5.00 業 注意する 必要は なかった 注意 していた \mathcal{O} 無回答 注意していた ⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。 進 33.3% 33.3% 26.7% 6.7% X 方 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。 4.93 4 学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思い 総 5 4.60 9 合 評 この授業は学生の将来に役立つと思いますか。 5 4.87 価 1 授業改善の工夫 2 アンケート結果に対する見解

教員	名		: 杉山	晋平				職	名 : 講師	<u>市</u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こどもき	学科
科目	名和	东	: ゼミナ	ールⅡ				<u>科</u>	目群 : 均	地域こと	も学科	専門	教育科	月	
授業	ミコー	-ド	: 5620	Oa	授業刑	珍態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	24	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	13名
				学	年					学科•	コース				
	答者 引訳		1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食	初末後 7ース キャ	ネス ・リア ース	地域こる学科		その他	無	回答
			13	_	_	_	_		-			13		_	_
				評	価項目				教員の 自己評価		生の 西平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4	.46				\
受講態	2	事	前学習や課	題を1週当た	_り平均でどれ	いぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 7.7%	ほとんど していない 92.3%	無回答
度	3	事	後学習や課	題を1週当た	上り平均でどれ	いぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 7.7%	ほとんど していない 92.3%	無回答
授業	4	教	科書、プリント、	視聴覚教材()	ビデオなど)を、	授業の理解に	活用しましたか	, .	4	4	.85				•
未内容	5	ک	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	りでしたか。			やや 高かった	非常に 高かった 7.7%		適切 であった 23.1%	_	非常に 低かった -	無回答
授業	6	学	生に分かり	やすい説明を	と心がけました	たか。			3	4	.85			\	
木の進め	7	授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		注意していた	注意する 必要は なかった 69.2%	していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった 7.7%	無回答 7.7%
方	8				ドラ授業を進		-1.28-2-1-1	П.	4	4	.92				\
総合語	9		生に新しい知言	識や技術を与え	て、問題意識や	·関心を局める	ことができたと	思い	3	4	.54			♦	
評価	10	۲	の授業は学	生の将来に行	没立つと思い	ますか。			4	4	.77				\
<u>1</u>	受業	<u>改</u>	善の工夫												
2 7	アング	ケー	-ト結果に	対する見角	4										

教員	名	:增井	啓子				職	名 : 教	受	<u>所</u>	禹 :	地域	こども言	学科
科目	名称	: 総合	演習(音楽))			<u>科</u>	目群 : 均	也域こと	も学科	専門	教育科	目	
授業	(コー	· : 5420	1a	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	10:	<u>名</u>	<u>回答</u>	<u>者数</u>	:	7名
			学	年					学科•=	コース				
	答者 可訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食	70年後 キャ	ジネス アリア ース	地域こ 学科		その他	無	回答
		_	7	_	_	_		_	_		7		_	_
			評	価項目				教員の 自己評価		生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 9	边強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4.	86				\
受講態	2 1	事前学習や調	限題を1週当た	こり平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 28.6%	90分 程度 -	60分 程度 28.6%	30分 程度 14.3%	ほとんど していない 28.6%	無回答
度	3 1	事後学習や調	果題を1週当た	こり平均でど	れぐらい課し	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 28.6%	90分 程度 -	60分 程度 28.6%	30分 程度 14.3%	ほとんど していない 28.6%	無回答
授業	④ 孝	枚科書、プリント	、視聴覚教材()	ビデオなど)を	、授業の理解は	こ活用しましたか	,0	5		.86				
内容	5 3	この授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適切 であった	非常に 高かった 42.9%	やや 高かった -	適切 であった 57.1%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	6	学生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5	1	57				
への進め	⑦ t	受業の進行を	がげる行為に	こ対して注意	fをしていまし	したか。		注意していた	注意する 必要は なかった 57.1%	注意 していた 42.9%	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	学生の理解度					ш, ,	5	4.	86				
総合評	9 3	ミ すか。				らことができたと	思い	4	4.	57				♦
価	10 3	上の授業は学	生の将来に行	设立つと思い	ますか。			5	5.	.00				· ·
<u>1</u>	受業改	(善の工夫												
2 2	アンケ	一ト結果に	対する見角	4										

教員	名	: 中田	奈月				職名	名 : 教	授	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	学科
<u>科</u> 目	名称	:総合	演習(心と乳	隆達)			<u>科</u>	群 :	地域こと	化学科	- 専門	教育和	目	
<u>授業</u>	ミコート	: 5420	1b	授業	形態 :	演習	<u>受</u> 計	<u> </u>	12	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	8名
			学	年					学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ジネス	地域こ	ども	その他	4	回答
P	勺訳	1四工	2回王	- C V / IE	無固合	生活福祉コース		7木食 キ ーマ キ	ヤリア	学科	ŀ	CVAIE	//// /	<u> </u>
		_	8		_	_		-	_		8	±1. □	-	- -
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 近平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	 強しやすい	雰囲気づくり	- に配慮しまl	たか。			5	3	.88				
受講態	② 事	事前学習や課	県題を1週当た	り平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 -	90分 程度 12.5%	60分 程度 -	30分 程度 12.5%	ほとんど していない 75.0%	無回答
度	3 4	事後学習や課	県題を1週当 た		れぐらい課し		30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
授	④ 耄	対書、プリント、	、視聴覚教材()	 ごデオなど)を、	授業の理解に		1	- 4	12.5%	-	12.5%	75.0%	_	
業内容			ベルは、学生					 適切 であった	非常に高かった	やや 高かった		やや 低かった	非常に低かった	無回答
授	⑥ 当	を生に分かり	やすい説明を	<u></u> -心がけまし	たか。		\dashv	3	12.5% 4	.25	87.5%	-	-	_
業の進			妨げる行為に			<i>た</i> か。		注意する 必要は なかった	注意する 必要は なかった 12.5%	注意 していた	ある程度 注意 していた 50.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
め方	8 =	学生の理解度	を配慮しなが	 ぶら授業を進	めましたか。		+	5	-1	.13	30.0%			
総合	9 第	生に新しい知	識や技術を与れ	と、問題意識や	₽関心を高める	ことができたと思	思い	4	4	.00				\Diamond
評価			生の将来に往	・ 安立つと思い	ますか。			5	4	.25				
1 1	受業改	(善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	星										

教員	名	: 古海	忍				職	名 : 教	授	<u>所</u>	属 :	地域	こどもき	学科
科目	名称	:総合	演習(自然。	と遊び)			<u>科</u>	目群 :	地域こ	ども学科	事門	教育科	目	
授業	ミュード	: 5420	1d	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	17	<u>'名</u>	<u>回答</u>	者数	:	12名
			学	年					学科•	コース				
	答者 P訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	の木食 キャーカー オーター キャーカー キャーカー キャーカー キャーカー キャーカー カー・カー カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	ジネス・ヤリア	地域こ 学科		その他	無	回答
		_	12	_	_	_		-	-		12		_	_
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 西平均	♦		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	 たか。			4		1.17				4 0
受講態			関を1週当た			ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 16.7%	90分程度	60分 程度 8.3%	30分程度	ほとんど していない 75.0%	無回答
度	③ 事	手後学習や課	思を1週当た	り平均でど	ましたか。		ほとんど 課していない	120分 以上 16.79	程度	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 75.0%	無回答	
授	④ 教	科書、プリント、	、視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	二活用しましたか	, .	1	:	3.83	•			
業内容	(5) Z	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適切 であった	非常に 高かっ7		適切 であった 83.3%	やや 低かった	非常に 低かった 8.3%	無回答
授業	⑥ 学	生生に分かり	やすい説明る	と心がけまし	たか。			4	4	1.50				•
不の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>たか</i> 。		注意してい	注意する 必要は なかった 25.0%	していた	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	,		を配慮しなか			~1.1°~+2.1	п.	4	4	1.50				♦
総合評	9 _‡	すか。				ことができたと	恐い	-	4	1.17				
価	10 =	の授業は学	生の将来に行	设立つと思V	ますか。			4	4	1.67				\
<u>1</u> ±	受業改	善の工夫												
2 2	アンケ	ート結果に	対する見角	4										

教員名 : 大高 千明 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科

科目名称 : 総合演習(スポーツ) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> + + v.						生活未来科		116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	ı	10	_	_	-	_	-	10	_	_

				♦	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.40				\
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 程度 20.0% -	60分 程度	30分 程度 10.0%	ほとんど していない 70.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度	60分 程度	30分程度	ほとんど していない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	2	4.80	-	10.0%	70.0%	-
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	やや 高かった	非常に やや 高かった 高かった 30.0% 10.0%		やや 低かった -	非常に 低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	4	4.90	00.0%			♦
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 50.0% 50.0%	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.80				\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	5	4.90				\
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.90				\

1 授業改善の工夫

70%の学生が事前学習および事後学習をほとんどしていないと回答していたことから、毎回の授業を踏まえた課題や、次週に向けた事前の課題を設定することで、さらに授業内容の理解が深まることが考えられる。また運動遊びのプログラムについては、教員がある程度アイデアを提示した上で、詳細を学生たちが考えているので、学生が考える割合を少しずつ多くしていくことが授業改善に繋がると考える。

2 アンケート結果に対する見解

一年間通して、附属幼稚園の子どもたちに対して運動遊びのプログラムを企画し、実践するという非常に実践的な授業内容であった。学生たちは子どもたちが実際に動く様子をイメージしながら、緊張感を持って毎回のプログラムに挑んでいた。予測能力や臨機応変さなど、保育現場に限らず一つの活動を企画運営する際の実践力を養うことが出来たと考える。アンケート結果から、彼らの保育に対する意識の向上、また実践力の向上を感じている様子が窺える。

教員名 : 杉島 尚徳 職名 : 非常勤 所属 : 地域こども学科

科目名称 : 総合演習(スポーツ) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> ⁄ →						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	-	10	_	-	_	_	-	10	-	-

				♦	教員の	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生の 2	の評価 : 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	-	4.40				
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	-	120分 以上 90分 程度 20.0% -	60分 程度 -		ほとんど っていない 70.0%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	-	120分 以上 90分 程度 20.0% -	60分 程度 -		ほとんど していない 70.0%	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	_	4.80	\			
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	-	非常に やや 高かった 高かった 30.0% 10.0%		やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	-	4.90				
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	-	注意する 必要は なかった 50.0% 50.0%	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった I	・ 全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	_	4.80				
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	_	4.90	1			
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	-	4.90				

1 授業改善の工夫

後期は専門的な知識や技術を高めることと、保育者・教員として求められる人間力を高めることを意識して授業を行った。学生の授業態度を観察していると、前期には個々で授業に対するモチベーションの差があり意識の高い学生が全体を引っ張る形であった。そこで誰もがリーダシップをとれるよう全員が1度は実践場面でのリーダーを務める内容にした。すると個々差はあれど、前期に比べより自主的に発言・行動をしている姿が見られた。

2 アンケート結果に対する見解

授業アンケートを確認したところ、概ねどの評価項目も前期からは向上した。前期のアンケートで気になっていたアンケート評価項目®については、授業改善によって向上した部分もあると思う。次年度の授業計画でも引き続き改善を行っていく。

教員	名	<u>: 梓川</u>	_				職/	名 : 准拳	姓	<u>所</u>	属 :	<u>地域</u>	こども	<u> 学科</u>
科目	名称	: 相談	援助演習 🏻	<u>. (1)</u>			科	目群 : 地	域こと	も学和	専門	教育科	4目	
授業	ミコード	: 5334	1	<u>授業</u>	膨態 :	演習	受	講者数 :	7:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	<u>:</u>	7名
				年		1			学科・3	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科 効栄養 ース ^{ビジ} キャ	ネス	地域こ	+	その他	無	回答
		7	_	_	_	-		-	-		7	粉 目	- の自己	_ \$\overline{L} \(\overline{L} L
			評	価項目				教員の 自己評価		生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	3.	86				\Q
受講態	② 事	す前学習や課	!題を1週当た	_り平均でどれ	っぐらい課し	ましたか。		90分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 14.3%	30分 程度 28.6%	ほとんど していない 57.1%	無回答
度	③ 事	4後学習や課	!題を1週当た	_り平均でどれ	っぐらい課し		90分程度	120分 以上 -	90分 程度 -	60分 程度 14.3%	30分 程度 28.6%	ほとんど していない 57.1%	無回答	
授	④ 教	科書、プリント、	、視聴覚教材()	ごデオなど)を、	授業の理解に	0	5	4.	00				(
業内容	(5) <u>C</u>	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。		やや 高かった	非常に 高かった 14.3%	やや 高かった -	適切 であった 85.7%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答	
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5	3.	86				(
業の進め	⑦ 授	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		注意していた	注意する 必要は なかった 57.1%	注意 していた 14.3%	ある程度 注意 していた 28.6%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	_		を配慮しなか				5	4.	14				 	
総合	9 ま	生に新しい知 すか。	識や技術を与	え、問題意識や	>関心を高める	ことができたと思	思い	4	4.	14				\
評価	10 =	の授業は学	生の将来に行	 安立つと思い	ますか。			3	4.	29			\	
<u>1</u> #	受業改	善の工夫												
2 2	アンケー	ート結果に	対する見角	4										

数]	名	: 梓川					職	名 : 消	生教授	<u>所</u>	属 :	地域	こども生	<u>学科</u>
<u>科</u> 目	名称	: 相談	援助実習指	導③			<u>科</u>	目群 :	地域ご	ども学科	斗 専門	教育科	目	
授業	ミコード	: 1758	•57303	授業	珍態 :	演習	受	講者数	:	3名	回答	者数	:	2名
			学	年					学科	・コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	の木食 '	ごジネス キャリア コース	- 地域こ 学和		その他	無	回答
		_	2	_	_	1		_		_	1		_	-
			評	価項目				教員の 自己評価		学生の 価平均		■ 学生	の自己 の評価 3	
	① 勉	2強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5		4.50				
受講態	② 事	前学習や課	!題を1週当た	_り平均でどえ	てくらい課し	ましたか。		90分程度	120 以 50.	土 程度	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 50.0%	無回答
度	3 事	後学習や課	!題を1週当た	_り平均でどれ	1ぐらい課し	ましたか。		90分程度	120 以 50.	程度	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 50.0%	無回答
授	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	0	5		5.00					
業内容	\$ 5	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。			やや 高かった	非常 高か。 100	った 高かった	適切 であった -	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明る	と心がけまし	たか。			5		5.00				
未の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>たか</i> 。		ある程度 注意してい		はしていた	ある程度 注意 していた -	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_		を配慮しなか					5		5.00				
総合語		生に新しい知 すか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	·関心を高める	ことができたと凡	思い	4		5.00				\
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	公立つと思い	ますか。			5		5.00				
1 ‡	受業改	善の工夫												
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	4										

<u>教</u> 員	名	: 北澤	太野				職	洛 :	非常	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	学科
<u>科</u> 目	名称	:体育	科教育法_				<u>科</u>	·目群 :	: 地	域こと	ども学科	専門	教育和	4目	
<u>授業</u>	ミコード	: 53050)	<u>授業</u>]	形態 :	講義	<u>受</u>	:講者数	:	10	名_	<u>回答</u>	者数	:	9名
			学	年						学科•	コース				
	答者 勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食	舌未来科 物栄養 コース	ビジキャ	リア	地域こる 学科	ども	その他	無	回答
		8	_	_	. 1	1		-	コー	-ス -		8		_	1
				価項目				教員(自己割			生の 西平均	♦	■ 学生	の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	<u></u> に配慮しまし	 したか。			5	1 II—		.33		-		+ 3
受講態	② 事	前学習や課			れぐらい課し	 よしたか。		90分程	建度	120分 以上 33.3%	90分 程度 5 11.1%	60分 程度 22.2%	30分 程度 11.1%	ほとんど していない 22.2%	無回答
度	③ 事	後学習や課		<u>-</u> り平均でど	れぐらい課し		30分程	建度	120分 以上 22.2%	90分 程度 -	60分 程度 33.3%	30分 程度 11.1%	ほとんど していない 33.3%	無回答	
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材()	ごデオなど)を.	、授業の理解に	٥,	5		4	.78					
業内容	⑤ C	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。		適切であっ		非常に 高かった -		適切 であった 33.3%		非常に 低かった -	無回答	
授業	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	と心がけまし	たか。			5			.44				
未の進め	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	意をしていまし	<i>したか</i> 。		注意す 必要/ なかっ	は	注意する 必要は なかった 66.7%	していた	ある程度 注意 していた	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	,	生の理解度						5		4	.56				
総合評	9 z	すか。				ることができたと	さい	4			.44				•
価	10 =	の授業は学	生の将来に行	殳立つと思V	ますか。			5		4	.89				
1 ‡	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	星											

教員	名	: 北村	麻樹				職:	名 :	講師	<u>i</u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	<u> </u>
科目	名称	:乳児	保育				<u>科</u>	目群 :	地	域こど	も学科	専門	教育科	·目	
<u>授業</u>	コート	: 53200	Dabc	授業	珍態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	75 <i>×</i>	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	62名
			学	年					Ä	学科・3	コース				
	答者 引訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科の栄養	ビジンキャ!	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		60	_	_	2	_		-		-		61		_	1
			評	価項目				教員(自己評			生の 平均	1		の自己 の評価 3	
	① 兔	 	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	35				\
受講態	② 事	事前学習や課	題を1週当た	こり平均でどえ	てぐらい課し	ましたか。		30分程	!度	120分 以上 1.6%	90分 程度 -	60分 程度 12.9%	30分 程度 24.2%	ほとんど していない 61.3%	無回答
度	③ 事	事後学習や課	題を1週当た	こり平均でどえ	っぐらい課し	ましたか。		30分程	!度	120分 以上 1.6%	90分 程度 1.6%	60分 程度 12.9%	30分 程度 22.6%	ほとんど していない 61.3%	無回答
授業	④ 教	対書、プリント、	視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	,°	5		4.	55				· C
来内容	5 3	この授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。			適切 であっ		非常に 高かった 4.8%	やや 高かった 21.0%	適切 であった 74.2%	_	非常に 低かった -	無回答
授業	⑥ 第	学生に分かり~	やすい説明を	と心がけまし	たか。			4		4.	65				\
不の進め	⑦ 扬	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	したか。		ある程 注意して		注意する 必要は なかった 30.6%	注意 していた 43.5%	ある程度 注意 していた 25.8%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	学生の理解度						4		4.	53				\rightarrow
総合語		生に新しい知言 さか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	·関心を高める	Sことができたと	思い	4		4.	26				
評価	10 3	の授業は学	生の将来に行	设立つと思V	ますか。			5		4.	63				<u></u>
<u>1</u>	受業改	(善の工夫													
2 7	マンケ	ート結果に	対する見角	军											

教員	名		: 藤田	日 化	兑代				職	名:	教授	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こどもき	<u> </u>
科目	名利	尓	: 保育	育(罗	環境)				<u>科</u>	目群 :	地	域こと	も学科	専門	教育科	·目	
<u>授業</u>	ミュー	-ド	: 531	20a	b	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	77:	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	•	66名
					学	年					į	学科・3	コース				
	答者 引訳		1回生		2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科物栄養	ビジキャ	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		-	6	5	_	_	1	_		-	コー	-ス -		64		_	2
					評	価項目				教員(自己割			生の i平均	1		の自己 の評価 3	
	1	勉	強しやすい	ハ雰	囲気づくり	に配慮しまし	<i>したか。</i>			4		4.	29				\
受講態	2	事	前学習や	課題	夏を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程	建度	120分 以上 -	90分 程度 3.0%	60分 程度 9.1%	30分 程度 31.8%	ほとんど していない 56.1%	無回答
度	3	事	後学習や	課題	夏を1週当た	_り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程	度	120分 以上 -	90分 程度 1.5%	60分 程度 10.6%	30分 程度 31.8%	ほとんど していない 56.1%	無回答
授	4	教	科書、プリン	ト、視	地東美教材()	ごデオなど)を	、授業の理解に	こ活用しましたか	,°	5		4.	53				\
業内容	⑤	ے	の授業のレ	、べ ,	ルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適 切 であっ	-	非常に 高かった 6.1%	やや 高かった 15.2%	適切 であった 77.3%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	6	学	生に分かり	りや	すい説明を	と心がけまし	たか。			5		4.	59				\
果の進め	7	授	業の進行	を妨	げる行為に	こ対して注意	fをしていまし	したか。		注意して	いた	注意する 必要は なかった 33.3%	注意 していた 37.9%	ある程度 注意 していた 27.3%	あまり 注意して いなかった 1.5%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_						めましたか。			5		4.	56				\
総合			生に新しいタ すか。	印識	や技術を与	え、問題意識や	や関心を高める	ことができたと	思い	4		4.	38				\lambda
評価	10	ے	の授業は特	学生	の将来に行	 安立つと思い	ますか。			5		4.	59				\
1 技	受業	<u>改</u>	善の工夫	=													
2 7	マング	アー	ート結果に	こ対	する見角	4											

教員	名	:増井	啓子				職名	:	教授	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	地域	こども言	<u> </u>
科目	名科	:保育	(言葉)				<u>科目</u>	群 :	地	域こど	も学科	専門	教育科	目	
授業	ミコー	ド : 5313	0ab	授業	形態 :	演習	<u>受講</u>	者数	:	81	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	68名
			学	年					Ä	学科・3	コース				
	答者 引訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	生活オ食物コー	栄養	ビジンキャ!	リア	地域こ 学科		その他	無	回答
		67	_	_	1	1		_	コー	- -		67		_	_
			評	価項目				教員 (自己評			生の 平均	♦		の自己 の評価 3	
	1	勉強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4		4.	43				•
受講態	2	事前学習や調	果題を1週当た	こり平均でどれ	れぐらい課し	ましたか。		30分程	渡	120分 以上 4.4%	90分 程度 4.4%	60分 程度 2.9%	30分 程度 22.1%	ほとんど していない 66.2%	無回答
度	3	事後学習や調	果題を1週当た	こり平均でどれ	hぐらい課し	ましたか。		30分程	:度	120分 以上 4.4%	90分 程度 4.4%	60分 程度 -	30分 程度 29.4%	ほとんど していない 61.8%	無回答
授	4	教科書、プリント	、視聴覚教材(ビデオなど)を、	授業の理解に	こ活用しましたか	,°	5		4.	49				\
業内容	5	この授業のレ・	ベルは、学生	こにとって適り	切でしたか。			やや 高かっ		非常に 高かった 8.8%	やや 高かった 17.6%	適切 であった 73.5%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	6	学生に分かり	やすい説明る	を心がけまし	たか。			5		4.	63				\
未の進め	7	授業の進行を	対げる行為に	こ対して注意	だをしていまし	したか。	差	注意して	いた	注意する 必要は なかった 39.7%	注意 していた 42.6%	ある程度 注意 していた 16.2%	あまり 注意して いなかった 1.5%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	_	学生の理解度						5		4.	54				\rightarrow
総合に		学生に新しい知 ますか。	識や技術を与	え、問題意識や	P関心を高める	うことができたと	思い	5		4.	53				\rightarrow
評価	10	この授業は学	生の将来に	役立つと思い	ますか。			5		4.	76				\
1 技	受業可	牧善の工夫													
2 7	マンク	ート結果に	対する見角	军											

教員	名		:梓川	_				職	名 : 准羲	姓	<u>所</u>	禹 :	地域	こども <u>"</u>	<u>学科</u>
科目	名	<u></u>	:保育	実習指導 I	a			<u>科</u>	目群 : 地	域こと	も学科	専門	教育科	目	
授業	ミコー	ード	: 57203	3	<u>授業</u>	彡態 :	演習	<u>受</u>	講者数 :	66:	<u>名</u>	<u>回答</u>	者数	:	64名
				学	年				;	学科•=	コース				
	答者 引訳	ŕ	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物	未来科 勿栄養 ドン キャ コー	リア	地域こ 学科		その他	無	回答
			64	_	-	_	_		-	-		63		_	1
				評	価項目				教員の 自己評価		生の i平均	1		<mark>の自己</mark> の評価 3	
	1	勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			5	4.	39				
受講態	2	事	前学習や課	題を1週当た	り平均でどれ	いぐらい課し	ましたか。		90分程度	120分 以上 6.3%	90分 程度 1.6%	60分 程度 23.4%	30分 程度 18.8%	ほとんど していない 50.0%	無回答
度	3	事	後学習や課	l題を1週当た	り平均でどれ	いぐらい課し	ましたか。		120分以上	120分 以上 4.7%	90分 程度 1.6%	60分 程度 25.0%	30分 程度 23.4%	ほとんど していない 45.3%	無回答
授業	4	教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、	授業の理解に	エ活用しましたか	0	5	4.	69				\ \
来内容	5	IJ	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	りでしたか。			やや 高かった	非常に 高かった 17.2%	やや 高かった 34.4%	適切 であった 48.4%	やや 低かった -	非常に 低かった -	無回答
授業	6	学	生に分かり	やすい説明を	と心がけました	たか。			5	4.	39				\downarrow
来の進め	7	授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	たか。		注意していた	注意する 必要は なかった 20.3%	注意 していた 57.8%	ある程度 注意 していた 20.3%	あまり 注意して いなかった 1.6%	全く 注意して いなかった -	無回答
方	8			を配慮しなか					4	4.	25				\langle
総合	9		生に新しい知 すか。	識や技術を与れ	え、問題意識や	関心を高める	ことができたと	思い	5	4.	48				\rightarrow
評 価	10	۲	の授業は学	生の将来に往	设立つと思い	ますか。			5	4.	64				\Diamond
1 ±	受業	<u>改</u>	善の工夫												
2 7	アン・	ケー	ート結果に	対する見角	4										

教員	名_		: 北村	・麻樹・中	田 奈月			<u>職</u>	洛 :	講師	•教授	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	<u>学科</u>
<u>科</u> [名利	<u> </u>	:保育	実習指導Ⅱ	[<u>科</u>	·目群	: 地	域こと	も学科	専門	教育和	∤目	
授業	ミコー	<u>-ド</u>	: 5721	2	授業刑	形態 :	演習	<u>受</u>	:講者数	:	32	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	31名
		Т			年		T				学科・コ	コース				
	松业	f					<u></u>	生活	5未来科				1 8.7			
	答者 勺訳		1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		物栄養コース	ビジキャ	リア	地域こ。 学科		その他	無	回答
		-		- 31	_			-	-	コー	-ス -		30		_	1
<u> </u>		_											♦		の自己	
				評	価項目				教員 自己訂			生の i平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	<u> </u>	勉	強しやすい	雰囲気づくり	 に配慮しまし	たか。			4			26	1		J	4
受						-					120分	90分	60分	30分	ほとんど	無回答
講態	2	事	前学習や課	果題を1週当た	<u>-</u> り平均でどえ	れぐらい課し	<i>、</i> ましたか。		30分和	呈度	以上 6.5%	程度 6.5%	程度	程度 12.9%	していない 74.2%	-
度	(3)	事	後学習や調	果題を1週当た	- n 亚 均 で <i>ど</i>	ーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	すたか。		60分科	甲庫	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答
											6.5%	6.5%	-	12.9%	74.2%	
授業	4	教科	‡書、プリント、	、視聴覚教材(1	ビデオなど)を、 	、授業の理解に	こ活用しましただ	7,0	4			35	₩ lan	4.30		\rightarrow
八内容	5	20	り授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適りであっ			やや 高かった		やや 低かった		無回答
授	(6)	尝	生に分かり	やすい説明を	シハがけまし	たカン			4		12.9% 4	19.4% 42	64.5%	-	3.2%	-
文業の			-						ある程		注意する	注意	ある程度	あまり	全く注意して	無回答
進	7	授	業の進行を	対げる行為に	こ対して注意	iをしていまし	したか。		注意して		必要は なかった 16.1%	していた 61.3%	注意 していた 19.4%	注意して いなかった -	注意して いなかった 3.2%	**************************************
め方	8	学	 生の理解度	度を配慮しなか	ごら授業を進	めましたか。	,		4		4.	32				\rightarrow
総合			生に新しい知 けか。	識や技術を与え	え、問題意識や	や関心を高める	3 ことができたと	思い	4		4.	23				\Q
評価				生の将来に往	- 没立つと思い	ますか。			5		4.	45				
	- 116.		·											1		
1 1	受業の	改	善の工夫													
	<u> </u>		7 44 田) =	- L L Z D &												
2)	アンク	<u>アー</u>	-ト結果に	対する見角	<u>¥</u>											

 121
 奈良佐保短期大学

 - 121 - 121

<u>教</u> 員	名	: 梓川	_				職	名 : 准	<u> </u>	<u>所</u>	禹 :	地域	こどもき	学科
<u>科</u> 目	名称	:保育	実習指導Ⅲ	[<u>科</u>	目群 : 均	也域こと	も学科	┣ 専門	教育科	- 目	
<u>授業</u>	ミコート	: 5722	2	授業	形態 :	演習	受	講者数 :	11	<u>名_</u>	<u>回答</u>	者数	:	11名
			学	年					学科•	コース				
	答者	1回生	2回生	その他	無回答	1		未来科	ジネス	地域こ	ども	その他	4111	回答
P	勺訳	1617	2回王	· C • 기匝	無四合	生活福祉コース		が木食 キー	ャリア ース	学科	ŀ	CVJE	////	<u> 16</u>
		_	11	_	_	_		_	-		10	E42 100		1
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 近平均			の自己 の評価 3	
	① 兔	 強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4	.55				\
受講態	② 事	手前学習や課	!題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		60分程度	120分 以上 27.3%	90分 程度 -	60分 程度 —	30分 程度 9.1%	ほとんど していない 63.6%	無回答
度	3 事	写後学習や課	!題を1週当た	り平均でど	れぐらい課し		60分程度	120分 以上 27.3%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 9.1%	ほとんど していない 63.6%	無回答	
授	④ 剗	対書、プリント、	視聴覚教材(t	ごデオなど)を、	授業の理解に	٠,	5	+	.82		01170	1		
業内容	5 3	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。		非常に 高かった	非常に 高かった 18.2%	高かった	適切 であった 54.5%	やや 低かった 18.2%	非常に 低かった	無回答	
授	⑥ 等	生生に分かり	やすい説明を	心がけまし	たか。			5	+	.09				Ç
業の進め	⑦ 挖	受業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	をしていまし	<i>たか</i> 。		注意していた	注意する 必要は なかった 36.4%	していた	ある程度 注意 していた 27.3%	まり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	_		を配慮しなか					4	3	.64				\rightarrow
総合	9 ま	生に新しい知 すか。	識や技術を与え	え、問題意識や	♥関心を高める	ことができたと凡	思い	2	3	.64		\Q		
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			3	4	.00			♦	
1 ‡	受業改	(善の工夫												
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	¥										

科目名称 : 保育心理学演習 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

		学	年				学科•	コース		
□ <i>k</i> ⁄ →						生活未来科	•	116-64-187		
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答
	66	ı	1	1	_	_	-	66	1	1

				_ ◇ 教員の自己評価	6
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	学生の評価平均 1 2 3 4	5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.25		
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 - 1.5%	60分 30分 ほとんど 無回 程度 程度 していない 無回 7.4% 29.4% 61.8% -	
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	60分程度	120分 90分 以上 程度 - 1.5%	60分 30分 ほとんど 無回 程度 程度 していない 無回 8.8% 23.5% 66.2% -	
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.49		
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 8.8% 57.4%		
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.24		\
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 10.3% 61.8%	していた いなかったいなかった	回答 5%
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.16		\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	5	4.12		\rightarrow
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.37		\rightarrow

1 授業改善の工夫

当該科目は演習科目のため、講義のほかにグループワークを随時取り入れた。グループワーク後には、そこでの学びと考察・質問を記入する用紙(コメントシート)を渡し、受講生本人の振り返りを求めると共に、教員もコメントシートを読むことで、学生の理解度や考察の深浅などについて、把握することができ、自らの講義の振り返りをすることができた。また、昨年度より一層、教科書と補助プリントからなる教材の使い方を研究し、学生にわかりやすい形で提示できた。

2 アンケート結果に対する見解

上記に挙げたことは、質問項目④に学生の意見として反映されているようだ。今後も講義内容にリンクした最新の知見が網羅された補助資料が配布できるようにしていきたい。一方、教員の説明のわかりやすさ(⑥)、教員の学生の理解度の把握(⑧)、学生の問題意識の喚起(⑨)の項目に、全く思わないという回答が2.9%もあった。当該科目は、前期配当の「学習・発達論」の延長上にある科目ゆえ、前期の内容を確実に学生が理解した上で、講義が展開されるため、いわゆる積み上げ残した学生へのケアが今後の課題である。

<u>教</u> 員	[名	: 別所	. 崇				職	洛 :	講師	fi	<u>所</u>	禹 :	地域	こども	<u> 学科</u>
<u>科</u> 目	1名称	:保育	相談支援				<u>科</u>	·目群 :	: 地	1域こと	ども学科	· 専門	教育和	目	
<u>授業</u>	ミコード	: 53311	lab	授業	形態 :	演習	<u>受</u>	:講者数	:	<u>57</u>	<u>'名</u>	<u>回答</u>	者数	:	54名
			学	年					:	学科•	コース				
口	答者	1日生	2回4	20/H	無同炊		1	5未来科	ビジ	'	地域こと	ども	このは	4m.	回炊
	勺訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース		物栄養コース	キャコー	リア	学科		その他	***	回答
		_	54	_	_			-		_		54			
				価項目				教員(自己割			生の 西平均	1		の自己 の評価 3	
	① 勉	 <u>!</u> 強しやすい!	雰囲気づくり	に配慮しま1	したか。		$\overline{}$	5			3.93				
受講能	② 事	前学習や課	関を1週当た	<u>-</u> り平均でど;	れぐらい課し	ましたか。		30分程	建度	120分 以上 3.7%	90分 程度 3.7%	60分 程度 7.4%	30分 程度 13.0%	ほとんど していない 72.2%	無回答
態度	(a) to		1日子 1 7日 小子	· 554-518	1- かと1 (温田)	21 2 A		20 /\ 1	n ota	120分 以上	90分程度	60分程度	30分程度	12.270 ほとんど していない	無回答
	③ 事	後字督や課	!題を1週当た	_り半均'でとス 	れぐらい課し		60分程	建度	3.7%	1.9%	7.4%	22.2%	64.8%	_	
授業	④ 教	科書、プリント、	、視聴覚教材(日	ごデオなど)を.	、授業の理解に) ₀	5			.33	*-du Lug				
八内容	⑤ <u>_</u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適け	刃でしたか。			やや 高かっ	•	非常に 高かった 22.2%	高かった	適切 であった 48.1%	やや 低かった -	非常に 低かった	無回答
授	⑥ 学	生に分かり	やすい説明を	<u></u> と心がけまし	たか。		\dashv	5			.26	40.1%		_	
業の進	⑦ 授	業の進行を	妨げる行為に	こ対して注意	 ぎをしていまし	したか。		注意して	こいた	注意する 必要は なかった 18.5%	していた	ある程度 注意 していた 13.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
め方	8 学	生の理解度	を配慮しなか	バら授業を進				5			.15				
総合		生に新しい知言 すか。	識や技術を与え	え、問題意識や	♡関心を高める	ることができたと見	思い	4		4	1.17				
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思v	ますか。			5		4	.44				
1 ½	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見解	<u>军</u>											

 124
 奈良佐保短期大学

 - 124 - 124

<u>教</u> 員	名	:和田	公子				職	名 :	非常	<u> </u>	<u>所</u>	属 :	地域	こども	<u> 学科</u>
<u>科</u> E	名称	:保育	为容総論_				<u>科</u>	目群:	: 地	」域こと	も学科	専門	教育科	目	
<u>授業</u>	ミコード	: 53090)ab	<u>授業</u>	形態 :	演習	<u>受</u>	講者数	:	<u>58</u>	名_	<u>回答</u>	者数	:	52名
			学	年			学科・コース								
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			5未来科 	ビジ	ネス	地域こ		その他		回答
P	勺訳	1回王 2回王		C V / IEI	WH D	生活福祉コース	止 食物栄養 キャリュース コース コース		·Jア 字科		+		,,,,	<u> </u>	
		-	50	_	2	2 –		-		_		50	数目	<u>-</u>	2 ₹7
	評価項目							教員(自己割						の自己 の評価 3	
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし				5		4	.12				
受講態	② 事	前学習や課	題を1週当た	-り平均でどえ	れぐらい課し	ましたか。		-		120分 以上 5.8%	90分 程度 1.9%	60分 程度 11.5%	30分 程度 19.2%	ほとんど していない 61.5%	無回答
度	③ 事	後受習や課	題を1週当た	- - n 亚	ーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	すったか		_		120分以上	90分程度	60分程度	30分程度	ほとんど していない	無回答
										3.8%	1.9%	13.5%	19.2%	61.5%	
授業	④ 教	科書、プリント、	視聴覚教材(1	ごデオなど)を、 	授業の理解に	こ活用しましたが	70	5		4 非常に	:.21 ***	適切	44	非常に	11
内容	⑤ <u>C</u>	の授業のレイ	ベルは、学生	にとって適り	刀でしたか。			やや 高かっ	•	高かった	高かった			低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。							5			.10		3.2	21212	
業の進め	⑦ 授	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。						ある程注意して		注意する 必要は なかった 23.1%	していた	ある程度 注意 していた 25.0%	あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	•		を配慮しなか					4		4	.17				•
総合証		生に新しい知i すか。	歳や技術を与える。	え、問題意識や	・関心を高める	ることができたと	思い	4		3	.98				
評価	10 3	の授業は学	生の将来に往	殳立つと思V	ますか。			5		4	29				
1 ½	受業改	善の工夫													
2 7	アンケー	ート結果に	対する見角	军											

科目名称 : 保育(人間関係) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 53110ab <u>授業形態 : 演習</u> <u>受講者数 : 77名</u> <u>回答者数 : 66名</u>

		学	年		学科・コース							
□						生活未来科		116-14-187				
回答者 内訳	1回生	2回生 そ	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答		
	66	-	_	-	-	_	-	66	-	_		

				¬ ◇		の自己	
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	学生0 2	の評価 : 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	4	4.20				\Diamond
受講	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度		程度し	ほとんど っていない	無回答
態度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 90分 以上 程度	60分	30分	77.3% ほとんど っていない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	4.65	7.6%	24.2%	66.7%	1.5%
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった			非常に 低かった	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	1.5% 12.1% 4.68	86.4%	-	-	_
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 13.6% 62.1%	注意としていたい	あまり 主意して なかった い 1.5%	全く 注意して ハなかった -	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	4	4.52				\Diamond
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.27				\Diamond
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	4	4.68				\lambda

1 授業改善の工夫

毎回授業では学生にレジュメを配布し、パワーポイントに映し出された内容を書き写すというように進めている。書き写す内容が多いと時間内に書き写せない学生が出てきてしまい、授業後に、「写せなかったのでもう一度見せてください」と言われる事が多々あった。あらかじめ、書き写す内容をこちらで決めていたが、今後は学生が大切だと思う箇所を書き写せるようなレジュメの形式を取れるように工夫していこうと考えている。

2 アンケート結果に対する見解

演習科目ではあるが、3分の2は理論である。演習ではグループワークを行っているが、グループによってはなかなか話が進まないグループ、やる気が感じられないグループなど様々である。事前課題や事後課題をグループでの課題にすることが多いのだが、完成度に大きな差がある。学生の授業アンケートで、極端に学習時間が短かったが、このグループでの課題への取組が学生の身になっていないように感じた。毎回、グループを替えてワークを行ってきたので、今後はグループを固定し、学生自身がグループでの自分の役割を認識できるように進めていこうと考えている。

数目の占つ部位

教員	数員名 : 藤田 悦代 職名					名 : 教	授	<u>所</u>	属 :	地域	こども	学科			
<u>科</u> 目	名称	:保育	表現演習Ⅱ				<u>科</u>	目群 :	地域こと	も学科	専門	教育和	目		
授業	ミコード	: 5316	7ab	<u>授業</u>	形態 :	演習	受	講者数 :	40	<u>名</u>	回答	者数	:	25名	
			学	年				学科・コース							
	答者	1回生	2回生	その他	無回答			未来科	ジネス	地域こ	ども	その他	£	回答	
P	勺訳	11111		工作 圃 匝 及				ツ木食 キ	ャリア	リア 学科		+ (-)			
		1	24	_	_	_		-	_		22	松 巨	<u>-</u>	3 ≥v. /= :	
			評	価項目				教員の 自己評価		生の 年の F平均	1		の自己 の評価 3		
	① 勉	強しやすい	雰囲気づくり	に配慮しまし	たか。			4	4	.48				\	
受講態	② 事	す前学習や課	関を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上 12.0%	90分 程度 -	60分 程度 -	30分 程度 -	ほとんど していない 88.0%	無回答	
度	3 事	4後学習や課	関を1週当た	り平均でど	れぐらい課し	ましたか。		30分程度	120分 以上	90分 程度	60分 程度	30分 程度	ほとんど していない	無回答	
								-	8.0%	4.0%	-	-	88.0%	_	
授業	④ 教	科書、ブリント、	、視聴覚教材(日	ニテオなど)を、	授業の埋解に	2活用しましたか	•	5	非常に		適切	22	非常に	無回答	
内容	5 3	の授業のレー	ベルは、学生	にとって適り	刃でしたか。			適切 であった	高かった 16.0%		であった 72.0%	低かった -	低かった -	無凹合 -	
授業	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。						5	4	.80						
果の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。							ある程度注意している	注意する 必要は なかった 52.0%		ある程度 注意 していた 16.0%	あまり 注意して いなかった -	全く 注意して いなかった -	無回答	
方	_		を配慮しなか					5	4	4.68					
総合証	9 ま	生に新しい知	識や技術を与え	え、問題意識や	P関心を高める	ことができたと見	思い	4	4	4.56				\langle	
評価	10 =	の授業は学	生の将来に往	设立つと思V	ますか。			5	4	.88					
1 1	受業改	善の工夫													
2 7	アンケ	ート結果に	対する見角	¥											

所属: 地域こども学科 教員名 : 柳田 紀美子 職名 : 非常勤

: 保育(表現・身体表現) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目 科目名称

授業コード : 53161abc 受講者数 : 授業形態 演習 61名 49名 回答者数 :

		学	年		学科・コース							
						生活未来科	•	116-14-187				
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答		
	48	-	_	1	_	_	-	48	ı	1		

				_	教員	の自己	評価	
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3		5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.14				•	angle
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度 - 2.0%	60分 程度 -	30分 程度 12.2%	ほとんど していない 85.7%	無回答	
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度 -	30分 程度 14.3%	ほとんど していない 85.7%	無回答	-
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	5	3.10					-
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かっ: 6.1% 24.50		,	非常に 低かった 12.2%	無回答	
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	2.67				-	-
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	ある程度 注意していた	注意する 必要は なかった 22.4% 18.49	していた		全く 注意して いなかった 6.1%	無回答	
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	2.69				•	\Diamond
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	2.96				\rightarrow	
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	3.18					\Diamond

1 授業改善の工夫

保育者として、子ども独自の表現世界を共感的に理解し、即時的に関わり援助できる身体的感性を養うには、保育者自身がまず 身体表現をたのしいと感じることが最も大切である。しかしながら多くの学生は、これまでの学校教育で、スポーツや体育の経験 はあるものの、身体表現の授業を経験したことがなく、苦手意識が強かった。学生の戸惑いや不安を少しでも和らげるような授業 の導入方法を今後一層工夫していきたい。

の内容に必ずしも即しているわけではないと考える。もちろん学生の理解度への配慮、説明のし方についてはさらに丁寧な対応に 向けて努力が必要であると考えるが、わからないけれどもまずはやってみようという精神も実技授業では必要な時もあると考え る。

科目名称 : 保育(表現・幼児造形) 科目群 : 地域こども学科 専門教育科目

授業コード : 53151abc 授業形態 : 演習 受講者数 : 77名 回答者数 : 68名

		学	年		学科・コース							
□						生活未来科		116-14-187				
回答者 内訳	1回生	2回生	その他	無回答	生活福祉コース	食物栄養コース	ビジネス キャリア コース	地域こども学科	その他	無回答		
	66	1	1	1	_	_	_	67	ı	1		

				\ \ \	教員	の自己	評価
	評価項目	教員の 自己評価	学生の 評価平均	1	■ 学生 2	の評価 3	平均 4 5
	① 勉強しやすい雰囲気づくりに配慮しましたか。	5	4.47				\rightarrow
受講態	② 事前学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	30分程度	120分 以上 1.5% 90分 程度	60分 程度 -	30分 程度 13.2%	ほとんど していない 85.3%	無回答
度	③ 事後学習や課題を1週当たり平均でどれぐらい課しましたか。	ほとんど 課していない	120分 90分 以上 程度	60分 程度 1.5%	30分 程度 10.3%	ほとんど していない	無回答
授	④ 教科書、プリント、視聴覚教材(ビデオなど)を、授業の理解に活用しましたか。	4	4.54	1.0%	10.0%	00.0%	•
業内容	⑤ この授業のレベルは、学生にとって適切でしたか。	適切 であった	非常に やや 高かった 高かった 10.3% 13.2%		,	非常に 低かった -	無回答
授	⑥ 学生に分かりやすい説明を心がけましたか。	5	4.75				
業の進め	⑦ 授業の進行を妨げる行為に対して注意をしていましたか。	注意していた	注意する 必要は なかった 38.2% 41.2%		あまり 注意して いなかった	全く 注意して いなかった	無回答
方	⑧ 学生の理解度を配慮しながら授業を進めましたか。	5	4.71				\
総合	学生に新しい知識や技術を与え、問題意識や関心を高めることができたと思いますか。	4	4.62				•
評価	⑩ この授業は学生の将来に役立つと思いますか。	5	4.76				—

1 授業改善の工夫

15回の授業の中で季節や行事を通した制作遊び、造形の素材、道具の扱い方、保育者としての製作技術、作品の環境構成などの内容を盛り込んでいくと時間が足りないと感じる。このことを補うために配布資料を毎回配っている。 また、造形活動の授業では作品を完成させるだけではなく片付けも大切な要素である。それぞれの材料の始末の仕方を知ってそのものの特性を知ることになる。造形活動の片づけが感性を育てる大切な時間であることを学生自身が意識できるよう表示した。

2 アンケート結果に対する見解

学生自身が主体となって積極的に活動できるよう、特に造形表現を促す環境づくりを工夫した。身近な素材等造形活動の内容に応じて材料や用具を自分で選択できるように物的な環境を整えておくことを意識した。また、出来上がった作品を学生同士で鑑賞しあえるよう作品の展示スペースを設けお互いの学びを広げることを心がけた。授業では保育者自身の感性を育てることと、子どもの活動としてどのように展開していくのか等、視点を持って取り組んだ。特に、造形の基礎【表現に生かすいろいろな技法】材料経験【紙、粘土、自然素材、身近な素材等を生かした造形】幼児の造形表現の理解、幼児の造形表現の特質や発達の特徴、幼児画の見方など実技を中心とした総合的な表現力を目標とした。